

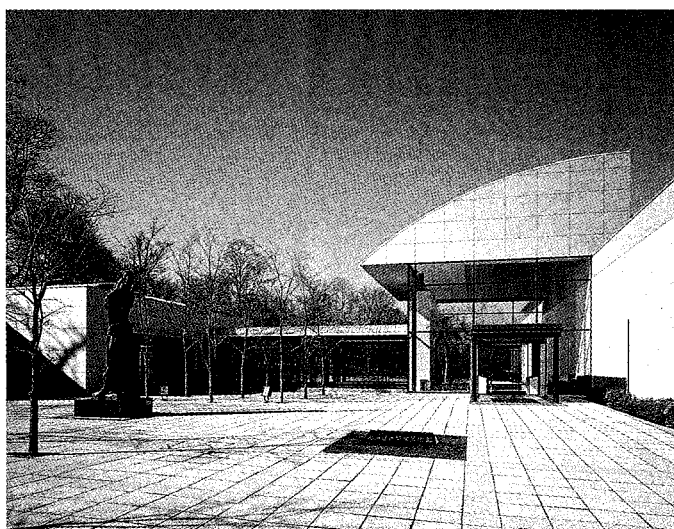


2021-22



北海道立帯広美術館年報
令和3年－4年度

北海道立帯広美術館年報
2021(令和3)年－2022(令和4)年度



目 次

目次	3
展覧会事業	
コレクション・ギャラリー一覧	4
子どものイメージ	5
版の王国	6
コレクション・セレクション～立体～	7
バルビゾンの風景／十勝の風景	8
版画 1970年代	9
新収蔵品展	10
そら	12
アニマル・キングダム	13
特別展一覧	14
手島圭三郎 絵本原画展	16
カッサンドル・ポスター展	22
水木しげる 魂の漫画展	28
道東アートファイル2022+道東新世代	32
アートの中の風景	38
竹久夢二 小林かいち	42
銀の匙 Silver Spoon展	49
香川軍男・景川弘道と北見の美術	53
教育普及事業	
美術講演会／アーティスト・トーク等	59
特別展セミナー	60
ギャラリー・ツアー	60
トーク&レクチャー	61
ミュージアム・ミステリー	62
キッズ・ツアー	63
キッズ・ミュージアム	64
ワークショップ等	65
映写室	66
コンサート	66
芸術週間	67
冬の美術館フェスタ／おびひろ氷まつり協賛事業	68
団体オリエンテーション	70
セルフガイド（クイズ）	71
教員研修プログラム	72
出張アート教室／オンラインアート教室	73
学校教育との連携	74
開館30周年記念事業	75
他団体との連携	76
その他	76
美術作品の収集	
2021（令和3）年度作品収集状況	77
受贈	77
購入	78
2022（令和4）年度作品収集状況	78
図版目録	79
美術作品の貸出	84
特別観覧	85
貸館事業	85
名簿	86
館内案内図	87
建築概要	88
設備概要	88
沿革	89
観覧者数一覧	90

コレクション・ギャラリー一覧

2021（令和3）年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	備 考
1	子どものイメージ	4月17日(土)～6月27日(日)	62	5月18日～6月20日臨時休館
2	版の王国	7月17日(土)～9月26日(日)	62	
3	コレクション・セレクション～立体～	10月9日(土)～12月19日(日)	63	
4	バルビゾンの風景／十勝の風景	1月12日(水)～3月13日(日)	53	1月12日臨時休館

2022（令和4）年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	備 考
1	版画 1970年代	4月16日(土)～6月26日(日)	62	
2	新収蔵品展 荒井善則作品と荒井コレクション	7月9日(土)～9月4日(日)	50	
3	そら	9月17日(土)～12月4日(日)	69	
4	アニマル・キングダム	12月17日(土)～3月12日(日)	69	

子どものイメージ

会期＝2021(令和3)年4月17日(土)－6月27日(日)
62日間

*ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月18日(火)－6月20日(日)まで臨時休館し、実際の開館期間は4月17日(土)－5月16日(日)、6月22日(火)－6月27日(日)の32日間

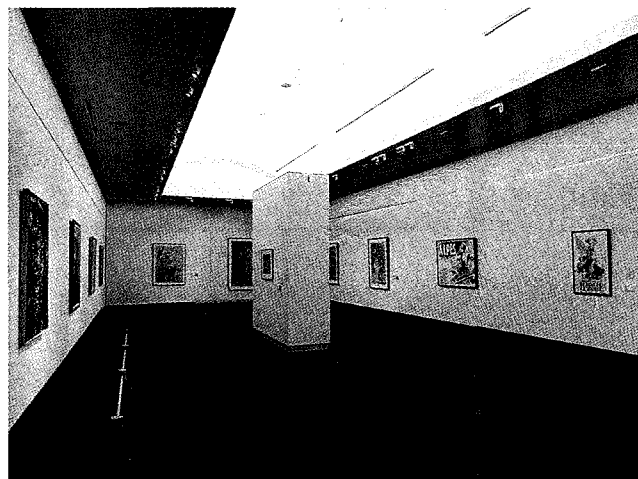
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日、こどもの日(5月5日)は無料
()内は10名以上の団体の割引料金

当館の所蔵品の中から、子どもをテーマとしたポスター・油彩画・版画を展示した。ヨーロッパで19世紀末から20世紀初頭に制作されたポスターには、家族や他の子どもたちと共に微笑むかわいらしい姿や、生き生きとした表情や身振りをした子ども像が表現されている。一方で、道東地域ゆかりの画家が手がけた油彩画と版画には、感情が明確には読み取れない曖昧な表情をした子どもや、視線をまっすぐ前に向ける子どもなど、あどけなさとは別の一面があらわれている。子どもたちの様々な表情・しぐさが描かれた作品を鑑賞いただいた。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	ホセ・モレル	レバンテの海岸	1940頃	リトグラフ、紙	95.9×61.4
2	ロベール・ボンフィス	アルプスーフランス国鉄	1939	リトグラフ、紙	97.0×122.0
3	レオネット・カピエロ	「全国子ども週間」厚生省	1939	リトグラフ、紙	39.0×26.5
4	ジュール・シェレ	帽子の館	1892	リトグラフ、紙	118.5×83.4
5	ジュール・シェレ	プチ・サン＝トマーおもちゃ、本	1889	リトグラフ、紙	117.5×82.2
6	フィルマン・ブイセ	「プーラン・チョコレート」	1898	リトグラフ、紙	180.0×115.5
7	クレマンティーヌ＝エレーヌ・デュフォー	児童画展「時を超える子ども」 プティ・パレ	1901	リトグラフ、紙	139.0×100.0
8	作者不詳	「ムニエ・チョコレート」	1929	リトグラフ、紙	112.4×72.5
9	ポール・ベルトン	ノルマンディ、ブルターニュー西部鉄道	1895頃	リトグラフ、紙	106.1×78.8
10	寺島春雄	堅穴	1942 (昭和17)	油彩、キャンバス	130.3×97.1
11	渋谷栄一	楽園の子供達	1971 (昭和46)	エッチング、シュガーアクアチント、ドライポイント (ルーレット、ハーフトーンコウム)、紙	36.5×50.0
12	植原武正	子供	1976 (昭和51)	油彩、キャンバス	135.0×110.0

* 寸法は縦×横。

* 作品は全て帯広美術館蔵。

版の王国

会期＝2021(令和3)年7月17日(土)－9月26日(日)

62日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日無料

北海道みんなの日(7月17日)と開館記念日(9月22日)
は観覧無料

()内は10名以上の団体、リピーター、相互割引料金

帯広美術館のコレクションを構成する主な分野の一つに「プリントアート」があげられる。分類上は「プリントアート」の一言でまとめられているが、一点一点の作品に表われた描写や主題は多岐にわたり、異なる個性を見せている。これらの作品は、現代の「版」による制作が、豊かな表現世界をつくりあげてきたことを示すものといえよう。

本展は、木版、銅版、孔版、フロタージュなど多様な技法によって表現された当館の版画コレクションにより、技法のもたらす表現効果と、国内外で活躍する作家たちの挑戦をご紹介します、鑑賞いただいた。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	小林敬生	蘇生の刻 一緑の星一	1990 (平成2)	木口木版、紙	85.6×80.0
2	佐藤克教	夜の箱	1993 (平成5)	木版、紙	182.0×150.0
3	池田良二	Time of frozen ground (凍土の時)	1990 (平成2)	フォトエッチング・エッチング・アクアチント・ドライポイント・メゾチント、手漉き雁皮	114.0×180.0
4	野田哲也	日記 1987年9月22日 柏市亀甲台	1987 (昭和62)	木版・シルクスクリーン、紙	57.0×110.0
5	渋谷栄一	H8-B	1996 (平成8)	凹版凸刷・透明水彩、紙	81.7×122.7
6	矢柳 剛	地球人間	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙	77.7×78.0
7	矢柳 剛	あなたのハートがであろうとき	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙	60.0×53.0
8	磯辺行久	江戸障壁	1965 (昭和40)	ミクストメディア (シルクスクリーン・レリーフプリント・紐・アクリル板・木・紙)	200.2×299.0
9	岡部昌生	オビヒロ・マトリックス1991の10ピース	1991 (平成3)	フロタージュ 鉛筆、紙	50.9×39.4
10	中谷有逸	碑・古事記 (二人)	2009 (平成21)	ステンシル版、キャンバス	162.0×130.4
11	一原有徳	SY (A)	1989 (平成元)	アルミニウム版、紙	80.0×121.5
12	島 州一	CONSTRUCTION OF FINGER PRINTS No.38	1982～1985 (昭和57～60)	チョーク・シルクスクリーン・フィンガープリント・スチレンボード・アクリルボックス	90.0×98.0×11.3
13	百瀬 寿	Square-Vertical Blue to Magenta	1981 (昭和56)	スクリーングラフィック (NECO)、キャンバス	180.0×180.2
14	森村泰昌	寒雀寒鳩 (御舟)	1990 (平成2)	カラー写真プリント、印画紙	132.9×97.8

* 寸法は縦×横。

* 作品は全て北海道立帯広美術館蔵

コレクション・セクション～立体～

会期＝2021(令和3)年10月9日(土)－12月19日(日)

63日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料

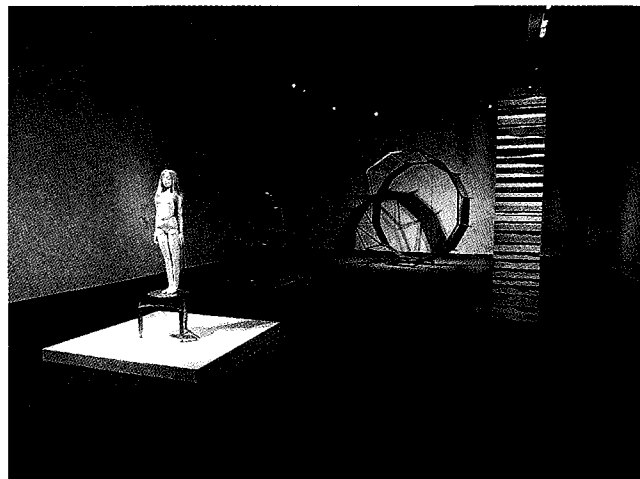
高校生は毎週土曜日が無料

芸術週間(11月1日～11月7日)はすべての方が無料

()内は10名以上の団体の割引料金

立体の美術作品の魅力は、絵画や版画などと比べてどのあたりにあると言えるだろうか。それは、物としての量塊感(ボリューム)や光を当てた時の陰影、表面の質感、前後左右からみた時の変化などにあると言えるだろう。時に立体作品は周囲の空間に働きかけ、“場”そのものを変化させる力を有している。

本展覧会では、800点を超える所蔵作品のうち20点を占める立体作品の中から、6点を選んで紹介した。木による柔らかなフォルムとつややかな表面やざらざらした表面の違い、また木目の美しさ。みる人の心を揺さぶりざわめかせる、人間の形に似せられた人ならぬ存在。あるいは、金属による堅牢な質感と構成の抽象的な造形。立体作品ならではの表現を楽しんでいた。



会場風景

関連事業

ミュージアム・ミステリー2021 オータム「いったい？ りったい！ 何なんだい!？」

日時＝10月23日(土) 午前10時～12時

会場＝当館コレクション・ギャラリー、講堂(小学生の参加無料、応募制、定員10名)

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	富谷道信	雲は切れて晴れるかも知れない	1973 (昭和48)	ブロンズ	45.0×13.5×43.0
2	富谷道信	WAVE	1972 (昭和47)	木	96.7×36.1×15.7
3	伽井丹彌	人形譚	1996 (平成8)	桐塑、アクリル絵具	高さ110.5
4	岡沼淳一	雨のち晴れ	2017 (平成29)	埋もれ木 (ニレ)	49.0×22.0×265.0
5	中江紀洋	HAHA (祈り)	1994 (平成6)	木 (スプルース)、金属	107.0×91.5×156.0
6	富谷 智	shell-shelter	2001 (平成13)	鉄、ボルト	260.0×130.0×250.0

*寸法は特記以外は幅×奥行×高さ。

*No.6 は作者寄託。その他は北海道立帯広美術館蔵。

バルビゾンの風景／十勝の風景

会期＝2022(令和4)年1月12日(水)－3月13日(日)

53日間

*ただし、大雪の影響で、1月12日(水)に臨時休館し、
実際の開館期間は1月13日(木)－3月13日(日) 52日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

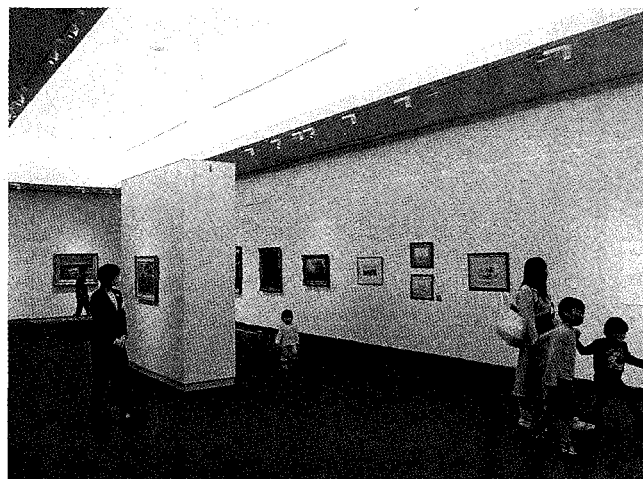
中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日は無料

()内は10名以上の団体の割引料金

フランス北部の小さな村・バルビゾン。かつて貴族たちの狩
猟地であったフォンテーヌブローのはずれに位置し、森や草原、
溪谷など変化に富む自然に恵まれている。19世紀のフランス魅
了された画家たちが風景画を描いた。十勝もまた、山々と平原
が作り出す雄大な景色、雪の積もった静かな木立、緑豊かな森
の眺めといった、豊かな自然に囲まれた土地である。

当館所蔵品の中から、バルビゾンと十勝の風景をテーマとし
た油彩画、版画、写真、日本画を紹介。バルビゾン派を代表す
る画家の一人であるジャン＝フランソワ・ミレーの銅版画や、
シャルル＝エミール・ジャックの油彩画の他、バルビゾンの自
然を撮影した19世紀の写真を展示。また、十勝ゆかりの画家た
ちによる十勝の風景を描いた油彩画、日本画を楽しんでいただ
いた。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	ジャン＝フランソワ・ミレー	耕す人	1855頃	エッチング、紙	24.0×34.0
2	テオドール・ルソー	ビオーの平原	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	21.8×27.7
3	テオドール・ルソー	ビオーのサ克蘭ボの木	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	22.1×27.7
4	シャルル＝フランソワ・ドービニー	羊の柵囲い	1860	エッチング、紙	18.4×34.3
5	シャルル・ファマン	羊の群れ	1874頃	鶏卵紙プリント	11.4×16.4
6	シャルル・ファマン	ダニョーの沼	1874	鶏卵紙プリント	19.3×25.0
7	アシーユ・キネ	フォンテーヌブローの森	1868頃	鶏卵紙プリント	24.9×19.3
8	レオン・リッシュ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	43.8×59.7
9	シャルル＝エミール・ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	1865～70頃	油彩、キャンバス	81.2×65.0
10	カール・ボドメール	鹿の呼び声	19世紀後半	油彩、キャンバス	101.0×81.0
11	コンスタン・トロワイヨン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	80.6×99.7
12	ジャン＝フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	油彩、キャンバス	65.4×100.4
13	栗谷川健一	家路	1963(昭和38)	ポスターカラー、紙	103.0×72.5
14	長尾栄三	山脈の見える風景	1977(昭和52)	油彩、キャンバス	145.4×112.4
15	中西堯昭	凍林	1988(昭和63)	油彩、キャンバス	130.3×162.1
16	能勢眞美	樹草	1973(昭和48)	油彩、キャンバス	97.0×145.5
17	八鍬一郎	糠平の風景	1956(昭和31)	油彩、キャンバス	50.0×60.6
18	小林満枝	水辺	1977(昭和52)	紙本彩色	96.8×145.4

* 寸法は縦×横。

* No.8～11、17は帯広市寄託、他は北海道立帯広美術館蔵。

版画 1970年代

会期＝2022(令和4)年4月16日(土)－6月26日(日)

62日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日、こどもの日(5月5日)は無料
()内は10名以上の団体、リピーター、相互割引料金

20世紀の日本美術において、豊かな版画表現が創造された。
とりわけ戦後は数々の国際展で日本人作家が高く評価され、
1970年代には技法、表現においてそれぞれ幅広い作品が見られるようになる。

道東ゆかりの作家においても、この時期に制作した表現が国内で注目を浴びた矢柳剛や多賀新、十勝に移住し独自の版画表現を生み出した中谷有逸など様々な作家の活動が見られるようになった。本展では1970年代に焦点をあて、所蔵作品から多彩な表現をご紹介します。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	手島圭三郎	病める老馬	1972 (昭和47)	木版、紙	75.0×53.0
2	手島圭三郎	冬の顔	1975 (昭和50)	木版、紙	54.5×74.5
3	渋谷栄一	月明りのピエロ	1980 (昭和55)	エッチング、シュガーアクアチント、紙	36.4×20.2
4	渋谷栄一	カーニバル B	1971 (昭和46)	エッチング、シュガーアクアチント、紙	49.5×36.5
5	渋谷栄一	モニュマン C	1979 (昭和54)	シュガーアクアチント、エッチング、紙	55.3×40.1
6	渋谷栄一	モニュマン H	1979 (昭和54)	シュガーアクアチント、エッチング、紙	61.3×38.4
7	一原有徳	木の葉 (楮)	1970頃	木の葉版、紙	18.5×32.0
8	一原有徳	木の葉 (辛夷)	1970頃	木の葉版、紙	14.5×27.6
9	一原有徳	木の葉 (柏)	1970頃	木の葉版、紙	18.6×12.0
10	多賀 新	不安な室	1973 (昭和48)	エッチング、アクアチント、メゾチント、紙	36.5×48.0
11	多賀 新	飛来	1977 (昭和52)	エッチング、アクアチント、紙	48.0×36.5
12	多賀 新	魚 No.17 (シーラカンス)	1979 (昭和54)	エッチング、アクアチント、紙	36.5×60.0
13	増田 誠	旧約聖書 チンの荒野	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.4
14	増田 誠	旧約聖書 紅海	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.5
15	増田 誠	ギリシャ神話ヘラクレスとクレタの牡牛	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.0
16	増田 誠	ギリシャ神話 ゼウス	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	34.9×26.6
17	横尾忠則	ブルー・ワンダーランド	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙	各103.2×72.6 (8点組)
18	島 州一	ゲバラ	1974 (昭和49)	シルクスクリーン、布	104.2×121.3 (シートサイズ)
19	島 州一	ジーンズ	1974 (昭和49)	シルクスクリーン、布	94.5×103.3 (シートサイズ)
20	井田照一	Pink Grass	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙	70.0×54.0
21	矢柳 剛	海の彼方の影	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、紙	57.4×89.5
22	矢柳 剛	太陽に向かって走れ	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、紙	27.0×89.8
23	矢柳 剛	Universe	1974 (昭和49)	シルクスクリーン、紙	52.0×37.5
24	中谷有逸	三羽の鳥 (水辺の形)	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙	33.9×50.4
25	中谷有逸	碑 (鐸)	1976 (昭和51)	凹凸併用版、紙	59.0×39.5
26	中谷有逸	碑 (十字軍の妻たちのために)	1978 (昭和53)	凹凸併用版、紙	45.2×57.1

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

新収蔵品展 荒井善則作品と荒井コレクション

会期＝2022(令和4)年7月9日(土)－9月4日(日)

50日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日が無料

北海道みんなの日(7月17日)は観覧無料

()内は10名以上の団体の割引料金

関連事業

講演会「版に魅せられて」

講師＝荒井善則氏(現代美術家)

日時＝7月10日(日) 午前10時～11時

会場＝当館講堂(聴講無料、先着順、定員40名)

ギャラリー・トーク

講師＝荒井善則氏(現代美術家)

日時＝7月10日(日) 午前11時30分～12時

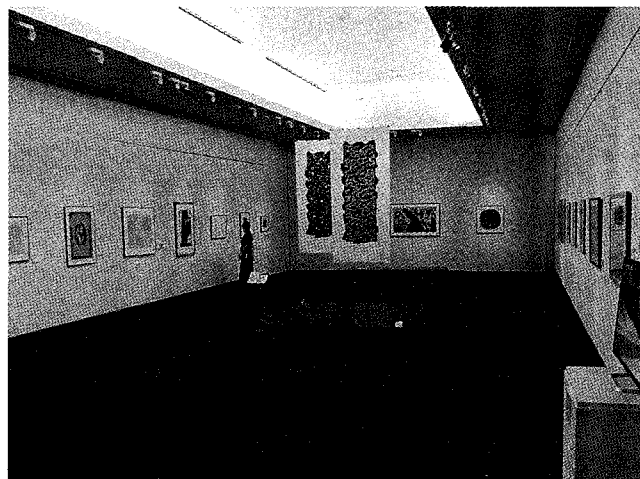
会場＝当館コレクション・ギャラリー(要観覧券、先着順・整理券配付、定員15名)

ミュージアム・ミステリー2022サマー「あっち こっち カタチ」

日時＝7月16日(土) 午前10時～12時

会場＝当館コレクション・ギャラリー、講堂(小学生参加無料、応募制、定員10名)

2021(令和3)年度に現代美術家・荒井善則氏より寄贈された自身の作品およびコレクション23作品のうち、20作品を展示した。荒井氏は1970年代より旭川を拠点として、版画を中心に木の造形やインスタレーションなど、多岐にわたる制作活動を展開。物質の存在感や空間の緊張感を意識し、版の概念を問いながら作品を制作してきた。北海道の美術運動に多数参加し、国内外の作家との交流に尽力している。コレクションは、国内外の作家による版画作品。木版、銅版、シルクスクリーンなど技法は様々で、独創的な手法やテーマが見られる。新収蔵品を通して、版画の多様さと奥深さを楽しんでいた。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	荒井善則	Traces of the Tape-Summer Time	1988 (昭和63)	シルクスクリーン、紙	57.0×72.8
2	荒井善則	Traces of the Tape-Summer Time	1988 (昭和63)	シルクスクリーン、紙	57.0×72.8
3	荒井善則	Traces of the Tape-Summer Time	1988 (昭和63)	シルクスクリーン、紙	50.0×40.0
4	荒井善則	Traces of the Tape-Summer Time	1988 (昭和63)	シルクスクリーン、紙	50.0×40.0
5	荒井善則	Traces of the Tape-Summer Time	1988 (昭和63)	シルクスクリーン、紙	49.7×39.7
6	荒井善則	Snowy Morning	1992 (平成4)	シルクスクリーン、布	201.0×90.0
7	荒井善則	Snowy Morning	1992 (平成4)	シルクスクリーン、布	201.0×90.0
8	荒井善則	Soft Landing to Season	2016 (平成28)	シルクスクリーン、モノタイプ、紙	各82.0×27.5(3点組)
9	両角 修	No.43	1973 (昭和48) 頃	木版、紙	58.5×59.5
10	磯見輝夫	東の風	1986 (昭和61)	木版、紙	72.0×120.0
11	黒崎 彰	失われた楽園 2	1972 (昭和47)	木版、シルクスクリーン、紙	79.5×54.5
12	柄澤 齊	果実	1986 (昭和61)	木口木版、紙	21.0×24.0
13	藤浪理恵子	エバの系譜	1990 (平成2)	銅版、ミクストメディア、紙	36.0×24.0
14	李 禹煥	カフェにて (銅版画文集『東の扉』より)	1998	アクアチント、紙	36.0×30.0
15	深沢幸雄	天空を計る	1979 (昭和54)	アクアチント、マジックインク、ルーレット、 メゾチント、ソフト・グランド・エッチング、 ドライポイント、紙	75.0×48.0
16	徐 承元	同時性 03-723	2003	リトグラフ、紙	60.0×79.5
17	アレン・ジョーンズ	Dream T-Shirt	1964	シルクスクリーン、紙	73.0×54.0
18	田辺和郎	DISTANCE OR ONE	1986 (昭和61)	シルクスクリーン、紙	40.5×40.0
19	島 州一	題不詳	1977 (昭和52)	版画、紙	51.5×76.0
20	尹 東天	単色連作 2	2012	シルクスクリーン、紙	110.5×76.5

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

会期＝2022(令和4)年9月17日(土)－12月4日(日)

69日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日が無料

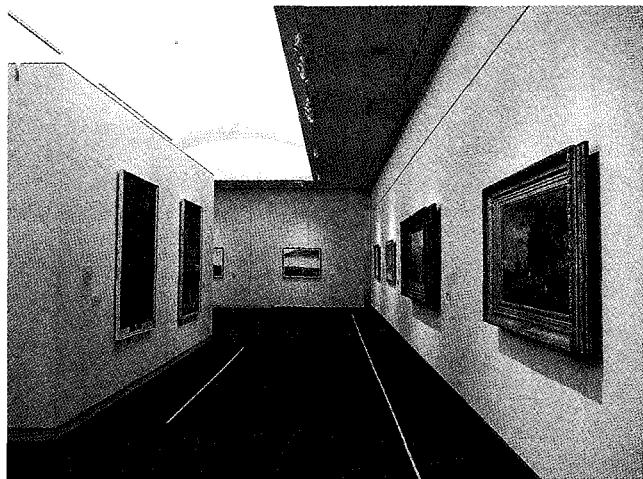
開館記念日(9月22日)、芸術週間(11月1日～11月
7日)はすべての方が無料

()内は10名以上の団体の割引料金

いつでも私たちの頭上にある空。同じ空と言っても、天候状態によって晴れや雨、嵐、曇り、雪、吹雪、雷、虹など、穏やかな天気から荒れた天気まで、その姿はまさに千変万化だ。また、時間帯によっても明け方から昼日中、夕方、夜まで、太陽の輝きと月や星の瞬きなど、まったく印象が変わる。

美術において、特に風景画では空を画面上部に描き込むことが多いが、空自体が中心的なモチーフになったり、表現の主な目的になったりすることは、むしろ少ないと言えるだろう。しかし、穏やかで晴れわたった空が描かれていれば、画面全体の雰囲気が明るくなるし、暗く荒れた空が描かれていれば、鑑賞者は不安をかき立てられたり不穏な何かを感じたりする。また一方で空そのものの美しさに着目して表現した作品もある。空は造形的な面から考えても、とても魅力にあふれた画題なのである。

絵画の中でなにげなく見ることも多い空。一方日常生活では、ゆっくり空を見上げることを忘れがちではないだろうか。本展では所蔵品の中から、「空」が印象的な作品を紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	アンリ＝ジョゼフ・アルピニー	川辺	1912	水彩、紙	22.5×33.8
2	レオンス・シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼い	1872	油彩、キャンバス	69.1×99.8
3	アルフレッド・ド・クニフ	春の水辺、ケンペン	1875頃	油彩、キャンバス	75.0×150.4
4	能勢眞美	春近き日	1960(昭和35)	油彩、キャンバス	65.0×100.0
5	伊藤隆二	雪景	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	72.8×91.0
6	松本早苗	午後のひざしの中で…	2006(平成18)	水彩、水彩紙	91.0×116.7
7	松本早苗	風	2003(平成15)	水彩、水彩紙	91.0×116.7
8	田中 良	そよぐ	1997(平成9)	油彩、キャンバス	162.1×130.5
9	羽生 輝	晩照(悠々釧路湿原)	2014(平成26)	岩絵具、板	181.5×227.1
10	福井正治	野の鳥	1988(昭和63)	油彩、キャンバス	162.1×112.1
11	森 健二	光年の導へ「心象」	2012(平成24)	油彩、キャンバス	112.0×145.6
12	小笠原洋子	漂う船	2003(平成15)	油彩、石粉、パーライト、板	194.0×162.0
13	市成太煌	鴉の詩 3	1978(昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
14	市成太煌	鴉の詩 1	1978(昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0

* 寸法は縦×横。

* No. 5、10は帯広市寄託。それ以外は北海道立帯広美術館蔵。

アニマル・キングダム

会期＝2022(令和4)年12月17日(土)－
2023(令和5)年3月12日(日) 69日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円
中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料
高校生は毎週土曜日が無料
()内は10名以上の団体の割引料金

動物は、私たちのすぐそばで生きている。犬や猫と暮らしたり、動物園で様々な動物を見たり。また、動物の写真や映像、絵はあふれるほど流通し、多くの人に親しまれている。一方で、人間の前に突然野生動物が現れると、大抵の人は驚き、ニュースになることもある。動物は、「かわいい」と「得体の知れない不気味さ」が両立する存在といえる。

本展では、動物をテーマとした作品14点を紹介。温厚で親しみやすい風貌や、迫力ある姿、あるいは違和感のある雰囲気をもった様子の動物たちが表現されている。19世紀フランスの田園風景を捉えた写真、バルビゾン派の画家たちによる油彩画、道東ゆかりの美術家による作品、また、版画やポスターを展示。動物たちの多様な表情を楽しめると同時に、当館コレクションの特色を分かりやすく示した内容となった。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	アシーユ・キネ	自然の習作 羊	1868頃	鶏卵紙プリント	19.0×24.8
2	シャルル・ファマン	雌牛	1874頃	鶏卵紙プリント	10.4×17.2
3	不詳	雄牛	19世紀後半	鶏卵紙プリント	19.3×22.6
4	ジャック＝レイモン・ブラカサ	海辺の羊	19世紀中頃	油彩、キャンパス	49.0×65.0
5	コンスタン・トロワイヨン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンパス	80.6×99.7
6	神田日勝	人と牛 B	1968 (昭和43)	油彩、板	183.5×182.5
7	六郎田天鈴	春暁崇座献 「エベレスト鈴湖生誕寿舞曲」	1988 (昭和63)	紙本彩色、屏風 (六曲一隻)	180.0×510.0
8	中谷有逸	三羽の鳥 (夜に飛ぶ)	1974 (昭和49)	シルクスクリーン、紙	50.2×34.7
9	手島圭三郎	しまふくろう・冬	1985 (昭和60)	木版、紙	53.0×75.0
10	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	高名な「黒猫」一座近日来演	1896	リトグラフ、紙	61.2×38.1
11	渋谷栄一	Animal G	1986 (昭和61)	シュガーアクアチント、エッチング、 コラージュ、紙	68.8×36.1
12	渋谷栄一	Animal F	1986 (昭和61)	シュガーアクアチント、エッチング、 コラージュ、紙	66.3×40.5
13	富谷道信	アデラの記憶	1980 (昭和55)	木 (イチイ)	115.0×30.0×50.0
14	小林敬生	陽はまた昇る 一緑の星・08D—	2008 (平成20)	木口木版、紙	100.0×257.5

* 寸法はNo.13は幅×奥行×高さ、その他は縦×横。

* 作品は、No. 4～7 は帯広市寄託、その他は北海道立帯広美術館蔵。

特別展一覧

2021（令和3）年度

No.	展覧会名	会期	開催日数	主催・後援ほか	備考
1	帯広美術館 開館30周年記念 手島圭三郎 絵本原画展 森といのちの交響詩	4月17日(土)～ 6月27日(日)	62	主催／北海道立帯広美術館 協力／株式会社 絵本塾出版 協賛／(株)ズコーシャ	5月18日～ 6月20日 臨時休館
2	開館30周年記念 カッサンドル・ポスター展 ーグラフィズムの革命	7月17日(土)～ 9月26日(日)	62	主催／北海道立帯広美術館、帯広美術 館振興会、カッサンドル展実行 委員会 後援／在日フランス大使館、アンスティ チュ・フランセ日本 特別協力／LAFA/ Laboratory All Fashion Art. 協力／株式会社 studio 仕組 企画協力／アートインプレッション	
3	帯広美術館開館30周年記念 帯広商工会議所100周年記念事業 水木しげる 魂の漫画展	10月9日(土)～ 12月19日(日)	63	主催／北海道立帯広美術館、帯広市、 帯広市教育委員会、帯広美術館 振興会、北海道新聞社、十勝毎 日新聞社、NHK 帯広放送局、 NHK エンタープライズ北海道、 水木しげる展実行委員会 共催／帯広商工会議所 企画協力／水木プロダクション 制作協力／NHK プロモーション	
4	開館30周年記念 道東アートファイル2022 +道東新世代	1月12日(水)～ 3月13日(日)	53	主催／北海道立帯広美術館 協賛／帯広信用金庫、FLOWMOTION cafe and gallery	1月12日 臨時休館

2022（令和4）年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主催・後援ほか	備 考
1	帯広美術館コレクション アートの中の風景	4月16日(土)～ 6月26日(日)	62	主催／北海道立帯広美術館 協賛／帯広信用金庫	
2	竹久夢二 小林かいち グラフィック黎明期の抒情と詩情	7月9日(土)～ 9月4日(日)	50	主催／北海道立帯広美術館 協賛／株式会社ズコーシャ、株式会社 北洋防災工業所 企画協力／株式会社 港屋	
3	銀の匙 Silver Spoon 展	9月17日(土)～ 12月4日(日)	69	主催／銀の匙展帯広実行委員会（北海 道立帯広美術館、帯広市、帯広 市教育委員会、十勝毎日新聞社、 NPO十勝文化会議）、朝日新聞 社、MBS 特別協力／小学館	
4	北網圏北見文化センター コレクション選 香川軍男・景川弘道と北見の美術	12月17日(土)～ 3月12日(日)	69	主催／北海道立帯広美術館 協力／北網圏北見文化センター	

関連記事

大木祐介「手島絵本原画展 あす開幕 帯広美術館 30周年記念展第1弾」十勝毎日新聞／4月16日(金)

石川彩乃「木版で表現 動物絵本 手島圭三郎原画展が開幕」十勝毎日新聞／4月17日(土)

佐藤諒一「北の動物たち 絵本原画で躍動」北海道新聞／4月18日(日)

瀬藤範子「手島作品の世界 美術館で解説」十勝毎日新聞／4月26日(月)

吉田真弓「編集余録 手島圭三郎展」十勝毎日新聞／4月28日(水)

石井純太「とかちフォトギャラリー 躍動する命 刻み込む 木版画家・手島圭三郎さん「森といのちの交響詩」」北海道新聞／5月27日(木)

福地大輔「木版に響くいのち 手島圭三郎展から」①～⑤十勝毎日新聞／6月20日(日)、6月21日(月)、6月22日(火)、6月23日(水)、6月25日(金)

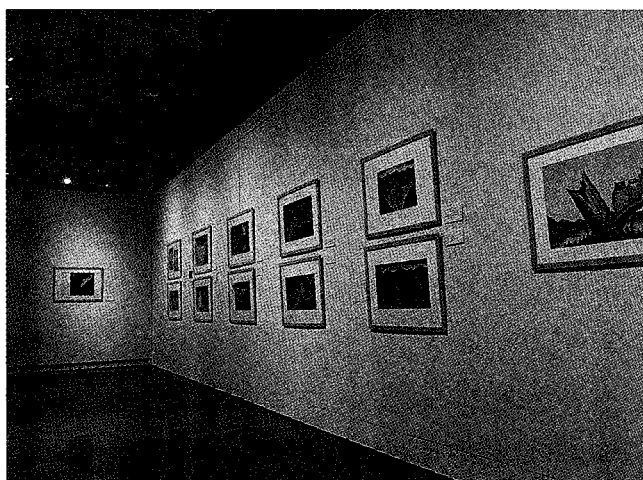
1935(昭和10)年に紋別で生まれた手島圭三郎は、北海道教育大学を卒業し、教職のかたわら木版画の制作を続け全道展、日本版画協会展で作品の発表を重ねた。1977年に教職を辞し木版画制作に専念して以降は北海道に生きる野生動物を題材にした絵本の制作を重ね、現在39作品が出版されている。

絵本の多くは作家が挿画と共に文章も手がけており、いずれも北海道に生息する野生動物を題材としたものであった。挿画の原画となった作品は木版表現の力強さと繊細さを兼ね備え、静寂感の漂う画面には大自然の神秘と北方のロマンティシズムがあふれている。また、生き物の生態描写を下敷きに神話や伝承、家族の愛情といったテーマを織り交ぜた絵本は国内外で多数出版され、絵本に関する賞を受賞し、高い評価を受けている。

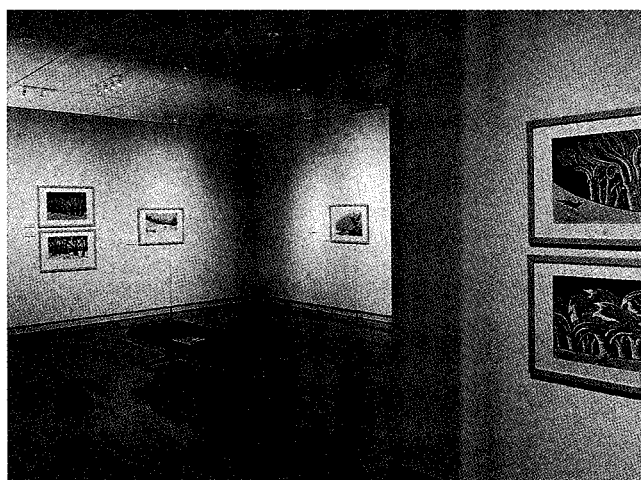
本展は2021年、作家の40作目の絵本の出版に合わせて開催し、現在までに制作された絵本原画を中心に、手島圭三郎の木版画の世界を展観した。新型コロナウイルスの影響で臨時休館したにも関わらず開館中(32日間)の来場者は3,064人だった。

出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質	作品寸法(cm)	額寸(cm)
I. 家族の絆					
1	〈しまふくろうのみずうみ〉表紙原画	1982	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
2	〈しまふくろうのみずうみ〉見返し原画	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
3	〈しまふくろうのみずうみ〉標題原画	1982	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
4	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画1	1982	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
5	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画2	1982	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
6	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画3	1982	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
7	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画4	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
8	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画5	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
9	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画6	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
10	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画7	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
11	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画8	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
12	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画9	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
13	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画10	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
14	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画11	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5



会場風景 1



会場風景 2

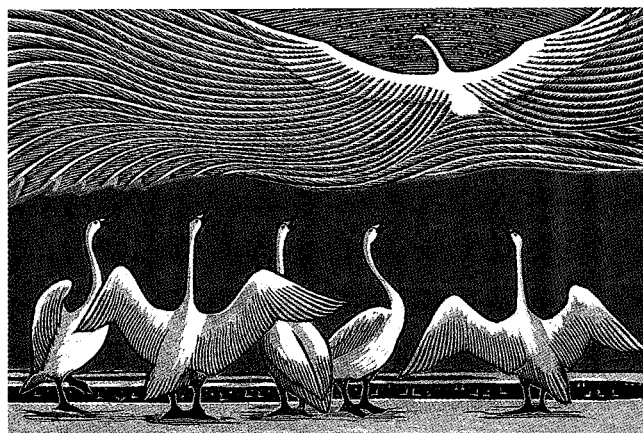
No.	作品名	制作年	技法・材質	作品寸法(cm)	額寸(cm)
15	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画12	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
16	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画13	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
17	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画14	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
18	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画15	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
19	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画16	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
20	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画17	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
21	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画18	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
22	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画19	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
23	〈しまふくろうのみずうみ〉本文原画20	1982	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
24	〈おおはくちょうのそら〉表紙原画	1983	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
25	〈おおはくちょうのそら〉見返し原画	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
26	〈おおはくちょうのそら〉標題原画 1	1983	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
27	〈おおはくちょうのそら〉本文原画 1	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
28	〈おおはくちょうのそら〉本文原画 2	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
29	〈おおはくちょうのそら〉本文原画 3	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
30	〈おおはくちょうのそら〉本文原画 4	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
31	〈おおはくちょうのそら〉本文原画 5	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
32	〈おおはくちょうのそら〉本文原画 6	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
33	〈おおはくちょうのそら〉本文原画 7	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
34	〈おおはくちょうのそら〉本文原画 8	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
35	〈おおはくちょうのそら〉本文原画 9	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
36	〈おおはくちょうのそら〉本文原画10	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
37	〈おおはくちょうのそら〉本文原画11	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
38	〈おおはくちょうのそら〉本文原画12	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
39	〈おおはくちょうのそら〉本文原画13	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
40	〈おおはくちょうのそら〉本文原画14	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
41	〈おおはくちょうのそら〉本文原画15	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
42	〈おおはくちょうのそら〉本文原画16	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
43	〈おおはくちょうのそら〉本文原画17	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
44	〈おおはくちょうのそら〉本文原画18	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
45	〈おおはくちょうのそら〉本文原画19	1983	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5

II. カムイ・ユーカラ 神謡世界の動物たち

46	〈カムイチカブ〉表紙原画	1984	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
47	〈カムイチカブ〉見返し原画	1984	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
48	〈カムイチカブ〉標題原画	1984	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
49	〈カムイチカブ〉本文原画 1	1984	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
50	〈カムイチカブ〉本文原画 2	1984	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5



会場風景 絵本コーナー

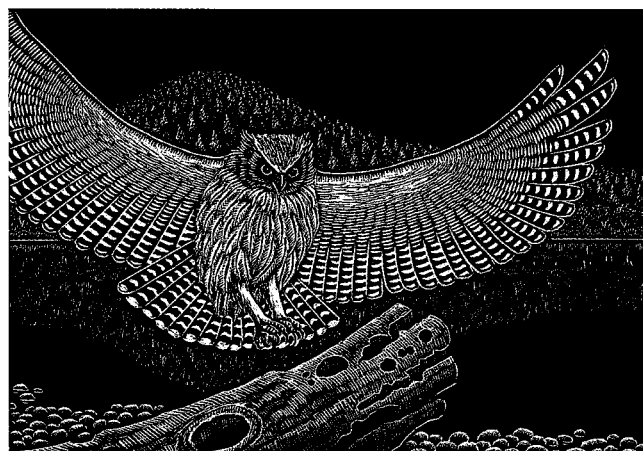


絵本「おおはくちょうのそら」より 1983年

No.	作品名	制作年	技法・材質	作品寸法(cm)	額寸(cm)
51	〈カムイチカブ〉本文原画 3	1984	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
52	〈カムイチカブ〉本文原画 4	1984	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
53	〈カムイチカブ〉本文原画 5	1984	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
54	〈カムイチカブ〉本文原画 6	1984	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
55	〈カムイチカブ〉本文原画 7	1984	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
56	〈カムイチカブ〉本文原画 8	1984	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
57	〈カムイチカブ〉本文原画 9	1984	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
58	〈カムイチカブ〉本文原画10	1984	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
59	〈カムイチカブ〉本文原画11	1984	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
60	〈カムイチカブ〉本文原画12	1984	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
61	〈カムイチカブ〉本文原画13	1984	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
62	〈カムイチカブ〉本文原画14	1984	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
63	〈カムイチカブ〉本文原画15	1984	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
64	〈エタシベカムイ〉表紙原画	1990	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
65	〈エタシベカムイ〉見返し原画	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
66	〈エタシベカムイ〉標題原画	1990	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
67	〈エタシベカムイ〉本文原画 1	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
68	〈エタシベカムイ〉本文原画 2	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
69	〈エタシベカムイ〉本文原画 3	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
70	〈エタシベカムイ〉本文原画 4	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
71	〈エタシベカムイ〉本文原画 5	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
72	〈エタシベカムイ〉本文原画 6	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
73	〈エタシベカムイ〉本文原画 7	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
74	〈エタシベカムイ〉本文原画 8	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
75	〈エタシベカムイ〉本文原画 9	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
76	〈エタシベカムイ〉本文原画10	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
77	〈エタシベカムイ〉本文原画11	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
78	〈エタシベカムイ〉本文原画12	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
79	〈エタシベカムイ〉本文原画13	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
80	〈エタシベカムイ〉本文原画14	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
81	〈エタシベカムイ〉本文原画15	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
82	〈エタシベカムイ〉本文原画16	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
83	〈エタシベカムイ〉本文原画17	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
84	〈エタシベカムイ〉本文原画18	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
85	〈エタシベカムイ〉本文原画19	1990	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5



絵本「カムイチカブ」より 1984年



絵本「しまふくろうのみずうみ」より1982年

No.	作品名	制作年	技法・材質	作品寸法(cm)	額寸(cm)
Ⅲ. 真冬の幻想					
86	〈きたきつねのゆめ〉表紙原画	1985	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
87	〈きたきつねのゆめ〉見返し原画	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
88	〈きたきつねのゆめ〉標題原画	1985	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
89	〈きたきつねのゆめ〉本文原画1	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
90	〈きたきつねのゆめ〉本文原画2	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
91	〈きたきつねのゆめ〉本文原画3	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
92	〈きたきつねのゆめ〉本文原画4	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
93	〈きたきつねのゆめ〉本文原画5	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
94	〈きたきつねのゆめ〉本文原画6	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
95	〈きたきつねのゆめ〉本文原画7	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
96	〈きたきつねのゆめ〉本文原画8	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
97	〈きたきつねのゆめ〉本文原画9	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
98	〈きたきつねのゆめ〉本文原画10	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
99	〈きたきつねのゆめ〉本文原画11	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
100	〈きたきつねのゆめ〉本文原画12	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
101	〈きたきつねのゆめ〉本文原画13	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
102	〈きたきつねのゆめ〉本文原画14	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
103	〈きたきつねのゆめ〉本文原画15	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
104	〈きたきつねのゆめ〉本文原画16	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
105	〈きたきつねのゆめ〉本文原画17	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
106	〈きたきつねのゆめ〉本文原画18	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
107	〈きたきつねのゆめ〉本文原画19	1985	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
108	〈はるのちょう〉表紙原画	1991	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
109	〈はるのちょう〉見返し原画	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
110	〈はるのちょう〉標題原画	1991	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
111	〈はるのちょう〉本文原画1	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
112	〈はるのちょう〉本文原画2	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
113	〈はるのちょう〉本文原画3	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
114	〈はるのちょう〉本文原画4	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
115	〈はるのちょう〉本文原画5	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
116	〈はるのちょう〉本文原画6	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
117	〈はるのちょう〉本文原画7	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
118	〈はるのちょう〉本文原画8	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
119	〈はるのちょう〉本文原画9	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
120	〈はるのちょう〉本文原画10	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
121	〈はるのちょう〉本文原画11	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
122	〈はるのちょう〉本文原画12	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
123	〈はるのちょう〉本文原画13	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
124	〈はるのちょう〉本文原画14	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
125	〈はるのちょう〉本文原画15	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
126	〈はるのちょう〉本文原画16	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
127	〈はるのちょう〉本文原画17	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
128	〈はるのちょう〉本文原画18	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
129	〈はるのちょう〉本文原画19	1991	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
Ⅳ. いきものたちの大地					
130	〈かしこくいきるしまりす〉表紙原画	2014	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
131	〈かしこくいきるしまりす〉裏表紙原画	2014	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
132	〈かしこくいきるしまりす〉見返し原画	2014	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
133	〈かしこくいきるしまりす〉標題原画	2014	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
134	〈かしこくいきるしまりす〉本文原画1	2014	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
135	〈かしこくいきるしまりす〉本文原画2	2014	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
136	〈かしこくいきるしまりす〉本文原画3	2014	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
137	〈かしこくいきるしまりす〉本文原画4	2014	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
138	〈かしこくいきるしまりす〉本文原画5	2014	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5

No.	作品名	制作年	技法・材質	作品寸法(cm)	額寸(cm)
139	〈かしこくいきるしまりす〉本文原画 6	2014	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
140	〈かしこくいきるしまりす〉本文原画 7	2014	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
141	〈かしこくいきるしまりす〉本文原画 8	2014	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
142	〈かしこくいきるしまりす〉本文原画 9	2014	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
143	〈かしこくいきるしまりす〉本文原画10	2014	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
144	〈かしこくいきるしまりす〉本文原画11	2014	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
145	〈かしこくいきるしまりす〉本文原画12	2014	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
146	〈かしこくいきるしまりす〉本文原画13	2014	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
147	〈かしこくいきるしまりす〉本文原画14	2014	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
148	〈かしこくいきるしまりす〉本文原画15	2014	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
149	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉表紙原画	2020	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
150	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉裏表紙原画	2020	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
151	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉見返し原画	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
152	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉標題原画	2020	木版・紙	55.0×39.0	74.5×56.5
153	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉本文原画 1	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
154	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉本文原画 2	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
155	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉本文原画 3	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
156	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉本文原画 4	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
157	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉本文原画 5	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
158	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉本文原画 6	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
159	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉本文原画 7	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
160	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉本文原画 8	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
161	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉本文原画 9	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
162	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉本文原画10	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
163	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉本文原画11	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
164	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉本文原画12	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
165	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉本文原画13	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
166	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉本文原画14	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
167	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉本文原画15	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5
167	〈ひとりだちするきたきつねのこども〉本文原画15	2020	木版・紙	39.0×55.0	56.5×74.5

* 寸法は額の縦×横。

開館30周年記念 カッサンドル・ポスター展 グラフィズムの革命

会期＝2021(令和3)年7月17日(土)－9月26日(日)

62日間

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、
カッサンドル展実行委員会

後援＝在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本
特別協力＝LAFA/ Laboratory All Fashion Art.

協力＝株式会社 studio 仕組

企画協力＝アートインプレッション

観覧料＝一般800(650)円、高大生500(400)円、中学生以下無料
()内は10名以上の団体、前売、リピーター、相互割
引料金

高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの
方などは無料

関連事業

特別展セミナー「カッサンドル作品の変遷と生涯」

講師＝蘭部容子(当館主任学芸員)

日時＝7月17日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(聴講無料、先着25名)

※9月4日(土)の回は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊
急事態宣言発令のため中止。

美術講演会「予言者カッサンドルの秘密一謎の人生とモダン・
デザインの出生」

講師＝岡部昌幸氏

(帝京大学教授、群馬県立近代美術館特別館長)

日時＝7月24日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂(聴講無料、定員25名、応募制)

キッズ・ツアー

案内＝蘭部容子(当館主任学芸員)

日時＝8月7日(土) 午後2時～2時30分

会場＝当館主展示室(要観覧券、中学生以下無料)

開館30周年記念コンサート「道銀文化財団 Art Ensemble #12

弦楽で歌う音楽と絵画の世界」

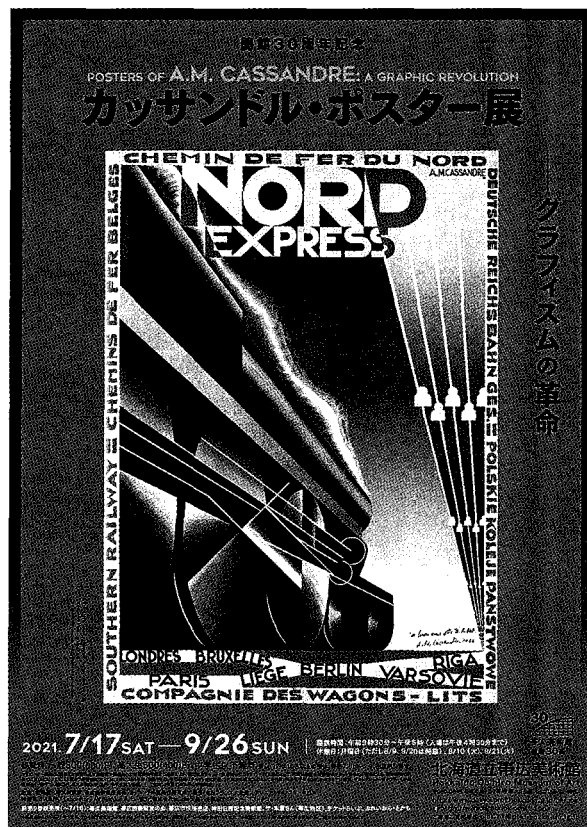
出演＝月下愛実(ソプラノ)、鈴木京(ヴァイオリン)、
鈴木初(コントラバス)

日時＝8月14日(土) ①午前11時～11時40分

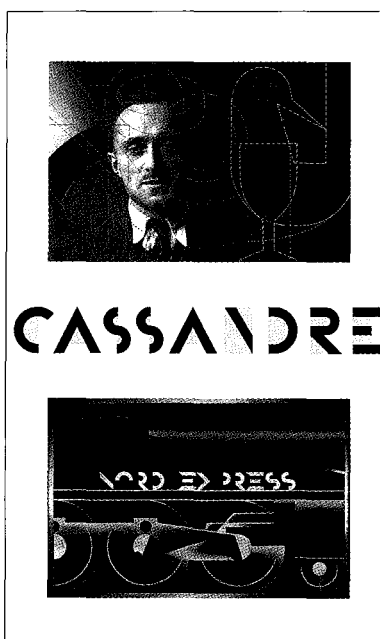
②午後2時～2時40分

会場＝当館ロビー(参加無料、定員各回30名、応募制)

主催＝北海道立帯広美術館、公益財団法人道銀文化財団



ポスター



図録

プレミアム鑑賞会

講師＝中谷有逸氏（美術家、帯広美術館振興会会員）

日時＝9月8日(木) 午後2時～3時

会場＝当館講堂、主展示室（要観覧券、定員20名、応募制）

主催＝帯広美術館振興会

キッズ・ミュージアム「花・はな」

日時＝9月18日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂（託児無料）

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

図録

規格＝29.7×17.8cm（A4判変形）／総頁数120ページ

構成＝ごあいさつ（主催者）／ごあいさつ（松本ルキ）／目次／岡部昌幸「カッサンドルの栄光と偉業：黄金律の商業・アート」／Chapter 1「街頭の視覚革命－鮮烈なデビュー」／Chapter 2「ポスターの頂点へ－時代の寵児として」／Chapter 3「見果てぬ夢－ポスターを超えて」／作品リスト／年譜／主な文献

関連記事

蘭部容子「おびひろミュージアム通信89 斬新 カッサンドル作品」釧路新聞／7月5日(月)

大木祐介「カッサンドルを間近で」十勝毎日新聞／7月13日(火)

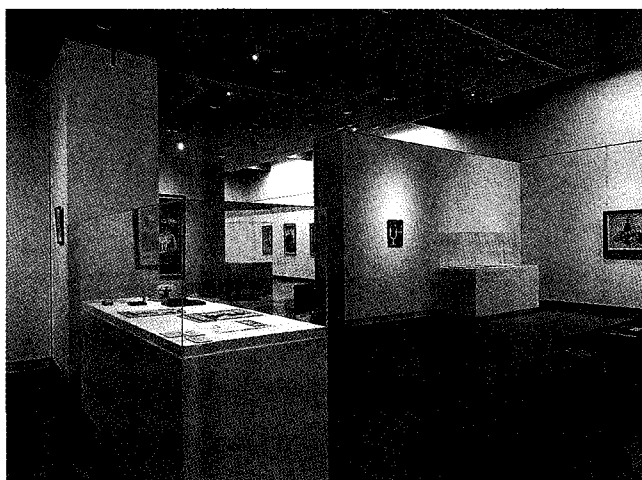
大木祐介「8歳も興味津々 カッサンドル展開幕」十勝毎日新聞／7月18日(日)

幸坂浩「ポスターや絵画110点 カッサンドル展開幕」北海道新聞（朝刊 管内版）／7月18日(日)

大木祐介「カッサンドル作品を解説」十勝毎日新聞／8月22日(日)

蘭部容子「デザイン革命、鮮烈に カッサンドル展より（上）（下）」十勝毎日新聞／9月11日(土)、9月13日(月)

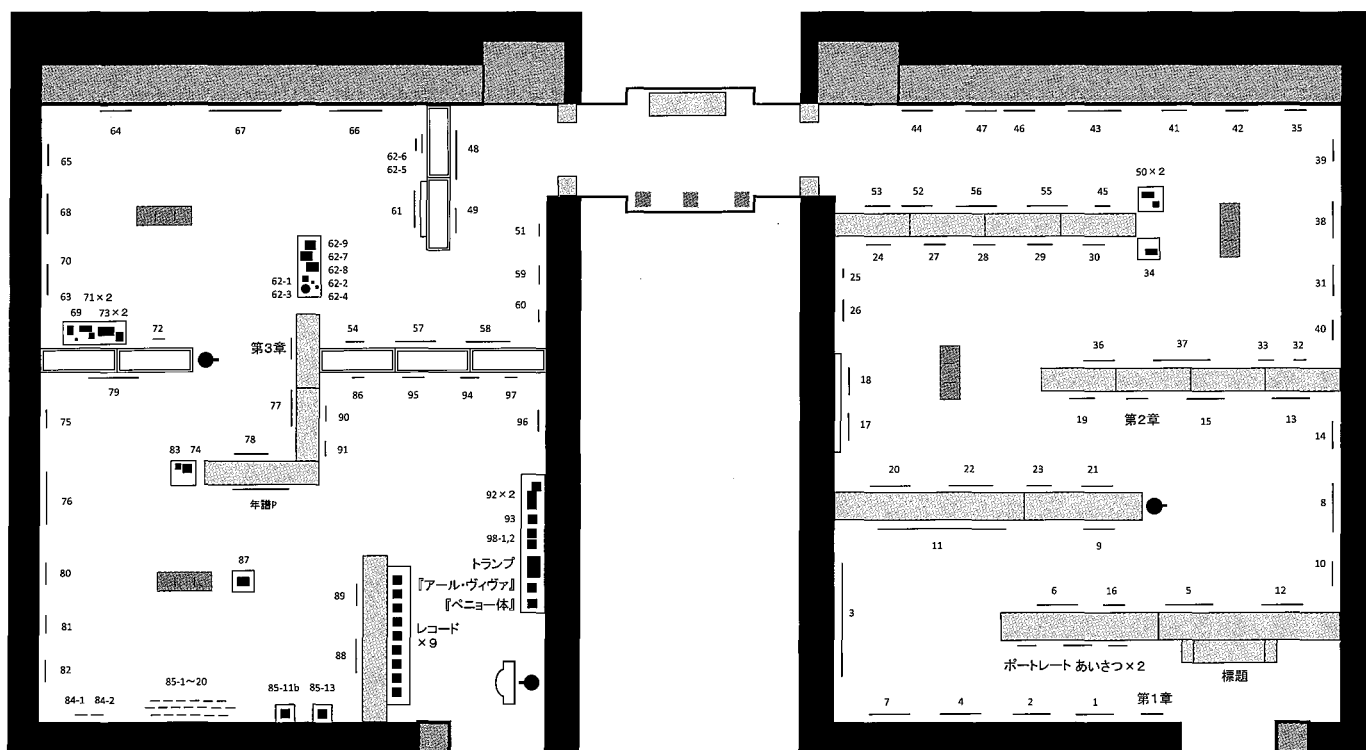
カッサンドル（1901-1968）は、ウクライナに生まれ、フランスで活躍した20世紀を代表するグラフィックデザイナーである。キュビズムやバウハウスの影響を受け、1920年代に制作した幾何学的でダイナミックなポスターは、時代の先駆的な表現として、グラフィックアート界に「革命」とも言うべき大きな衝撃をもたらした。カッサンドルのポスターに共通する壮観な構図とスピード感は、機械と大量消費の時代をまさに具現していたのだ。1930年代に入ると、画家バルテュスとの出会いから絵画制作に熱中する一方、アメリカでファッション雑誌『ハーパーズ・バザー』の表紙を手がけるなど、芸術家として活動の舞台をさらに広げていった。本展覧会では、ファッションブランド「BA-TSU」の創業者兼デザイナーである故・松本瑠樹氏が収集した保存状態の良好なポスターの代表作や貴重なポスター原画を含むコレクションを通して、カッサンドルの仕事を紹介した。コロナ禍の中、定員を設けて各種の関連事業を行い、緊急事態宣言発令後は一部の関連事業を中止した。会期中の来場者は3,021人だった。



会場風景



会場風景



展示図面

出品目録

図録番号	《作品名》	制作年	ジャンル/技法、材質	寸法（縦×横cm）
Chapter 1 街頭の視覚革命—鮮烈なデビュー				
1	《ガール》	1921	ポスター／リトグラフ、紙	158.0×118.0
2	《ラ・ランプ・アジェージュ》	1923	ポスター／リトグラフ、紙	154.6×114.3
3	《オ・ピュシュロン》	1923	ポスター／リトグラフ、紙	147.8×382.8
4	《ル・ヌヴェリスト》	1924	ポスター／リトグラフ、紙	158.0×118.0
5	《ビヴォロ》	1925	ポスター／リトグラフ、紙	212.0×128.5
6	《グラン＝スポール》	1925	ポスター／リトグラフ、紙	150.0×117.0
7	《チュルマック》	1925	ポスター／リトグラフ、紙	160.4×119.8
8	《ラントランジジャン》	1925	ポスター／リトグラフ、紙	120.0×160.0
9	《レグリス・フローラン》	1925	ポスター／リトグラフ、紙	149.0×99.5
10	《シクル・ブリアン》	1925	ポスター／リトグラフ、紙	117.8×77.7
11	《オ・ピュシュロン》	1926	ポスター／リトグラフ、紙	144.7×396.4
12	《デュコ》	1926	ポスター／リトグラフ、紙	160.2×121.5
13	《メゾン・ドレーで》	1926	ポスター／リトグラフ、紙	155.5×115.5
14	《エルネスト》	1926	ポスター／リトグラフ、紙	120.0×80.0
15	《ゴールデン・クラブ》	1926	ポスター／リトグラフ、紙	200.0×130.0
16	《グラン＝スポール》	1931	ポスター／リトグラフ、紙	80.0×59.5

図録番号	《作品名》	制作年	ジャンル／技法、材質	寸法（縦×横cm）
Chapter 2 ポスターの頂点へー時代の寵児として				
17	《ノール・エクスプレス》	1927	ポスター／リトグラフ、紙	105.0×75.0
18	《エトワール・デュ・ノール》	1927	ポスター／リトグラフ、紙	105.0×75.0
19	《SAGA》	1927	ポスター／リトグラフ、紙	120.0×80.0
20	《ノール・エクスプレス》	1927	油彩、板	70.0×104.6
21	《NE NY TO》	1927	ポスター／リトグラフ、紙	95.7×76.0
22	《L.M.S. ベスト・ウェイ》	1928	ポスター／リトグラフ、紙	104.7×127.7
23	《L.M.S. ザ・ベスト・ウェイ》	1928	ポスター／リトグラフ、紙	100.0×62.0
24	《ロンドン》	1928	ポスター／リトグラフ、紙	100.9×63.5
25	《U.S. ライン》（《ユナイテッド・ステーツ・ライン》習作）	1928	グワッシュ、紙	39.0×30.0
26	《ユナイテッド・ステーツ・ライン》	1928	ポスター／リトグラフ、紙	100.0×62.0
27	《スタテンダム》	1928	ポスター／リトグラフ、紙	104.9×79.9
28	《ラ・ルート・ブルー》	1929	ポスター／リトグラフ、紙	100.0×62.0
29	《シュマン・ドゥ・フェール・デュ・ノール》	1929	ポスター／リトグラフ、紙	100.0×62.0
30	《ロアゾー・ブルー》	1929	ポスター／リトグラフ、紙	100.0×62.0
31	《RAI》	1929	ポスター／リトグラフ、紙	112.0×80.2
32	《ドロステ》	1929	ポスター／オフセット、紙	58.0×42.0
33	《オヴァ》	1929	ポスター／リトグラフ、紙	60.0×42.0
34	『12月5日 聖ニコラウスの夜』	1929	カタログ	23.3×17.8
35	《ワゴン＝リ》	1930	ポスター／リトグラフ、紙	100.0×62.0
36	《ドクトゥール・シャルピー》原画	1930	グワッシュ、紙	128.8×87.7
37	《ドクトゥール・シャルピー》	1930	ポスター／リトグラフ、紙	231.4×159.0
38	《ヴェラ・マン》	1930	ポスター／リトグラフ、紙	145.5×95.5
39	《リス・シャンティイ》	1930	ポスター／リトグラフ、紙	100.9×63.2
40	《世界チャンピオン》	1930	ポスター／リトグラフ、紙	80.0×64.0
41	《コート・ダジュール》	1931	ポスター／リトグラフ、紙	100.0×62.0
42	《アトランティック》	1931	ポスター／リトグラフ、紙	100.0×62.0
43	《ファン・ネレ》	1931	ポスター／リトグラフ、紙	113.4×152.0
44	《トリプレックス》	1931	ポスター／リトグラフ、紙	120.0×80.0
45	《ミニワット》	1931	ポスター／リトグラフ、紙	57.7×39.8
46	《トムソン》原画	1931	グワッシュ、紙	120.0×80.0
47	《トムソン》	1931	ポスター／リトグラフ、紙	120.4×81.3
48	《カジノ》	1931	ポスター／リトグラフ、紙	120.0×160.0
49	看板《カジノ》より	1931頃	金属、エナメル	79.0×69.0
50	『ニコラ 高級ワインリスト1931』	1931	カタログ	24.2×18.4
51	「アリアンス・グラフィック社」広告	1931	印刷物	29.6×23.2
52	《ワゴン＝バー》原画	1932	コラージュ、グワッシュ、紙	100.0×62.0
53	《ワゴン＝バー》	1932	ポスター／リトグラフ、オフセット、紙	100.0×62.0
54	《エール＝オリアン》	1932	ポスター／リトグラフ、紙	80.0×60.0
55	《スピドレーヌ》	1932	ポスター／リトグラフ、紙	160.0×120.0
56	《オランジュ》	1932	ポスター／リトグラフ、紙	160.0×120.0
57	《デビスカップ》	1932	ポスター／リトグラフ、紙	160.0×120.0
58	《ユニク》	制作：1932 印刷：1934	ポスター／リトグラフ、紙	160.0×120.0
59	《パテ》	1932	ポスター／リトグラフ、紙	60.0×40.0
60	《パテ TSF》	1932	ポスター／リトグラフ、紙	60.0×40.0
61	《デュボ・デュボン・デュボネ》	1932	ポスター／リトグラフ、紙	41.0×107.7
62-1	《デュボ・デュボン・デュボネ》より灰皿	不明	アルミニウム、木	w16.7×d24.8×h14.0
62-2	《デュボ・デュボン・デュボネ》より灰皿	不明	アルミニウム、プラスチック	w9.5×d10.0×h12.0
62-3	《デュボ・デュボン・デュボネ》より帽子	不明		w27.0×d31.0×h13.0
62-4	《デュボ・デュボン・デュボネ》より缶	不明		w9.0×d6.0×h2.8
62-5	《デュボ・デュボン・デュボネ》よりロゴ	不明	油彩、綿布	23.0×33.6
62-6	《デュボ・デュボン・デュボネ》より扇子	1932頃		36.0×23.0
62-7	《デュボ・デュボン・デュボネ》よりレターポケット	1930頃		39.8×30.6
62-8	《デュボ・デュボン・デュボネ》よりレターポケット	1932頃		35.9×26.2

図録番号	《作品名》	制作年	ジャンル／技法、材質	寸法（縦×横cm）
62-9	《デュボ・デュボン・デュボネ》より封筒	不明		11.5×27.8
63	『アシエ』表紙	制作：1932 印刷：1934	雑誌	27.0×21.0
64	《セルティック》	制作：1934 印刷：1936	ポスター／リトグラフ、紙	150.0×100.0
65	《ノルマンディー》	1935	ポスター／リトグラフ、紙	100.0×62.0
66	《デュボネ（水で割って）》原画	1935	コラージュ、グワッシュ、紙	60.0×120.0
67	《デュボネ（キナ入りの酒精強化ワイン）》	1935	ポスター／リトグラフ、紙	138.2×194.6
68	《ボナル》	1935	ポスター／リトグラフ、紙	160.0×120.0
69	瓶《ボナル》より		ガラス	w7.5×d7.5×h17.3
70	《ニコラ》原画	1935	グワッシュ、紙	58.6×78.5
71	『ニコラ 高級ワインリスト1936』	1935	カタログ	23.0×18.7
72	《アンキエテュード（不安）》（未発行の広告原画）	1935頃	グワッシュ、紙	40.0×30.0
73	『スペクタクルは街頭にある』	1935	書籍	31.2×24.5

Chapter 3 見果てぬ夢—ポスターを超えて

74	『ギャラリー・ラファイエット』表紙	1928	カタログ	30.5×24.0
75	《エル》（未発表のポスター《ギャラリー・ラファイエット》習作）	1928	油彩、カンヴァス	76.5×49.5
76	《ル・ジュール》	1933	ポスター／リトグラフ、紙	120.0×160.0
77	《ル・キューール》（未発行のポスター原画）	1934	グワッシュ、紙	160.0×120.0
78	《ブリュニエ》	1934	ポスター／リトグラフ、紙	150.0×100.0
79	《ベルノー・フィス》	制作：1934 印刷：1935	ポスター／リトグラフ、紙	200.0×150.0
80	《バリ》	1935	ポスター／リトグラフ、紙	100.0×62.0
81	《イタリア》	1936	ポスター／リトグラフ、紙	100.0×62.0
82	《イタリア》	1936	ポスター／リトグラフ、紙	100.0×62.0
83	「カッサンドルのポスター展」カタログ表紙、ニューヨーク近代美術館	1936	カタログ	25.6×19.0
84-1	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1937年6月号の表紙習作	1937	グワッシュ、紙	52.2×44.5
84-2	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1938年12月号の表紙原画	1938	油彩、紙	34.0×27.0
85-1	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1936年12月号：クリスマス、真冬の旅	1936		30.0×24.4
85-2	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1937年2月号：ファブリック、春の予想	1937		30.0×24.4
85-3	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1937年5月号：戴冠式、スポーツ、美	1937		30.0×24.4
85-4	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1937年6月号：夏のファッション、旅	1937		30.0×24.4
85-5	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1937年8月号：カレッジ・ファッションと子ども	1937		30.0×24.4
85-6	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1937年11月号：冬のファッション	1937		30.0×24.4
85-7	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1937年12月号：クリスマス、リゾート・ファッション	1937		30.0×24.4
85-8	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1938年1月号：旅、ミッドシーズンのファッション	1938		30.0×24.4
85-9	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1938年3月15日号：パリ・オープニング	1938		30.0×24.4
85-10	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1938年7月号：真夏のファッションと娯楽	1938		30.0×24.4
85-11	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1938年9月1日号：アメリカのデザイナー	1938		30.0×24.4
85-12	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1938年9月15日号：パリ・オープニング、アメリカの靴とストッキング	1938		30.0×24.4
85-13	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1938年10月号：美	1938		30.0×24.4
85-14	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1939年1月号：クルーズとリゾート・ファッション	1939		30.0×24.4
85-15	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1939年3月1日号：アメリカのファッション	1939		30.0×24.4
85-16	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1939年4月号：コットンとリンネル	1939		30.0×24.4
85-17	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1939年8月号：カレッジ・ファッション	1939		30.0×24.4
85-18	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1939年9月15日号：パリ・オープニングに注目	1939		30.0×24.4
85-19	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1939年11月号：冬のファッション	1939		30.0×24.4
85-20	『ハーバーズ・バザー』表紙デザイン 1939年12月号：クリスマスギフト、リゾート・ファッション	1939		30.0×24.4
86	《あなたとならばどこへでも》原画	1937	グワッシュ、紙	42.3×33.5
87	『フォーチュン』1937年3月号表紙・記事	1937	雑誌	35.5×28.5

図録番号	《作品名》	制作年	ジャンル／技法、材質	寸法（縦×横cm）
88	《センセーション》	1937	ポスター／リトグラフ、紙	125.8×94.4
89	《モッタ》	1938	ポスター／リトグラフ、紙	99.0×68.5
90	「ルシアン・ルロン」広告	1945	印刷物	47.0×37.0
91	「ゲラン」広告	1946	印刷物	32.5×26.5
92	『オクシダン』1947年12月号表紙	1947	雑誌	34.3×27.2
93	『オクシダン』1948年1月号表紙	1948	雑誌	34.3×27.2
94	《「カッサンドル 1925年から1950年まで展」ポスター》パリ装飾芸術美術館	1950	ポスター／リトグラフ、紙	59.0×39.0
95	《ヴェネツィア》	1951	ポスター／オフセット、紙	100.0×62.0
96	《フォワール・ドゥ・パリ》	1956	ポスター／リトグラフ、紙	95.0×61.8
97	《「カッサンドル ポスターの画家展」ポスター》ジャニーヌ・アオ画廊	1966	ポスター／リトグラフ、紙	52.0×37.5
98-1	《井戸に落ちた星占い師》	1966	リトグラフ、紙	38.0×33.0
98-2	《井戸に落ちた星占い師》	1966	リトグラフ、紙	38.0×33.0

*すべてバツアートギャラリーコレクション蔵。ただし下記【参考出品】（個人蔵）を除く。

【参考出品】

- ☐ 『アール・ヴィヴァン』1926年11月15日号 1926 雑誌
- ☐ 『ベニョー体』 1937 カタログ
- ☐ トランプ（エルメス、パリ） 制作:1947-48頃
印刷:1950年代初頭
- ☐ カッサンドル工房がデザインしたレコードジャケット 1956-59年頃 LPレコード
 - ・ベートーヴェン：交響曲第3番「英雄」 ヴィルヘルム・フルトヴェングラー（指揮）、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
 - ・ドヴォルザーク：交響曲第5(9)番「新世界より」 コンスタンティン・シルヴェストリ（指揮）、フランス国立放送管弦楽団
 - ・チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲／メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲
クリスチャン・フェラス（ヴァイオリン）、コンスタンティン・シルヴェストリ（指揮）、フィルハーモニア管弦楽団
 - ・パガニーニ：ヴァイオリン協奏曲第1番ほか
レオニード・コーガン（ヴァイオリン）、シャルル・ブリュック（指揮）、パリ音楽院管弦楽団、アンドレイ・ムイトニク（ピアノ）
 - ・ロシア音楽集（リムスキー＝コルサコフ、ムソルグスキー、ボロディン） アンドレ・クリュイタンス（指揮）、パリ音楽院管弦楽団
 - ・アルビノーニ、ヴィヴァルディ、ベルゴレージ：協奏曲集 レナート・ファザーノ（指揮）、ヴィルトゥオーゾ・ディ・ローマ合奏団
 - ・エリック・サティ：ピアノ作品集 アルド・チッコーニ（ピアノ）
 - ・シューマン：ピアノ協奏曲／グリーグ：ピアノ協奏曲
ディヌ・リパッティ（ピアノ）、ヘルベルト・フォン・カラヤン、アルチェオ・ガリエラ（指揮）、フィルハーモニア管弦楽団
 - ・リスト：交響詩「前奏曲」／ワーグナー：《ローエングリン》第1幕への前奏曲、《タンホイザー》序曲
ヴィルヘルム・フルトヴェングラー（指揮）、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

水木しげる 魂の漫画展

会期＝2021(令和3)年10月9日(土)－12月19日(日)
63日間

主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、帯広美術館振興会、北海道新聞社、十勝毎日新聞社、NHK 帯広放送局、NHK エンタープライズ北海道、水木しげる展実行委員会

共催＝帯広商工会議所
企画協力＝水木プロダクション
制作協力＝NHK プロモーション

観覧料＝一般1,200(1,000)円、高大生700(500)円、
中学生400(300)円、小学生以下無料。
()内は10名以上の団体、前売り、リピーター、相互
割引料金。学校の教育活動としての観覧、障害者手帳
をお持ちの方などは無料。

関連事業

ギャラリー・トーク

講師＝原口尚子氏(水木しげるの長女)

日時＝10月9日(土) ①午前10時30分～

②午後2時～(各回約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券) 定員＝各回15名

横山裕二先生の漫画講座

講師＝横山裕二氏(漫画家)

日時＝11月3日(水) 午後1時～3時

会場＝当館講堂(要観覧券、事前申込制) 定員＝15名

キッズ・ツアー

日時＝11月13日(土) 午後2時～2時30分、午後2時30分～3時

会場＝当館主展示室(要観覧券、小学生以下無料)

帯広交響楽団 団員による 美術館コンサート

出演＝牧野貴博氏(ヴァイオリン)、佐藤一恵氏(フルート)、
佐藤祐一氏(チェロ)、工藤由紀子氏(クラリネット)、
後藤佳子氏(オーボエ)

日時＝11月14日(日) ①午後1時～1時30分

②午後2時～2時30分

会場＝当館講堂(参加無料、事前申込制) 定員＝各回15名

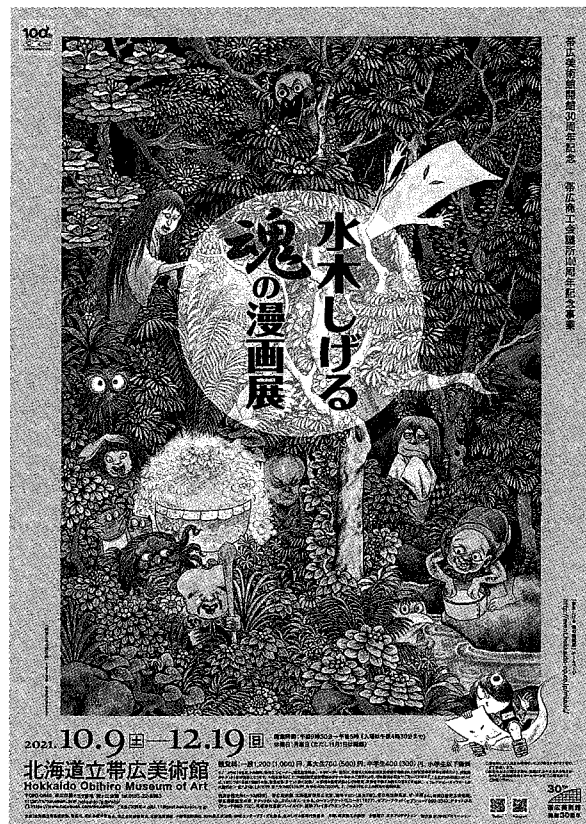
キッズ・ミュージアム「みんなマンガ家！」

日時＝11月20日(土) 午後1時30分～午後3時30分

(受付は午後3時まで)

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」



ポスター



図録

自分だけの妖怪をつくろう！

講師＝高橋由紀雄氏（帯広大谷短期大学講師）

日時＝11月27日(土) 午前10時～12時

会場＝帯広百年記念館 2 号室（参加無料、事前申込制）

定員＝20名

特別展セミナー「水木しげる作品の魅力」

講師＝耳塚里沙（当館学芸員）

日時＝12月4日(土) 午後2時～（約60分）

会場＝当館講堂（聴講無料）

定員＝25名

図録

規格＝29.7×21.0cm（A4判）／総頁数80ページ

構成＝ごあいさつ／原口尚子「水木しげる 魂の漫画展に寄せて」／第1章 武良茂 アートギャラリー／第2章 水木しげるの仕事場／第3章 ゲゲゲの鬼太郎 悪魔くん 河童の三平／インタビュー・水木漫画研究・1 池上遼一／インタビュー・水木漫画研究・2 村澤昌夫／第4章 総員玉砕せよ！／第5章 あふれる好奇心・人物伝／第6章 短編に宿る時代へのまなざし／第7章 妖怪世界／第8章 人生の達人・水木しげる／水木しげる年譜／水木しげる 魂の漫画展図録 特別付録 発見！直筆・未完成草稿 虫の絵本

主要関連記事

「『鬼太郎』の世界を味わおう」十勝毎日新聞（こども しんぶん）／9月8日(火)

大木祐介「妖怪 続々と十勝入り 9日開幕へ展示準備進む」十勝毎日新聞／10月6日(火)

三島今日子「みんなでのぞこう ゲゲゲの世界 水木しげる 魂の漫画展 道立帯広美術館で9日から」北海道新聞／10月7日(火)

大木祐介「あす開幕 水木しげる 魂の漫画展」十勝毎日新聞／10月8日(水)

三島今日子「一足先に『おい！鬼太郎』 帯広で特別展 きょう開幕」北海道新聞／10月9日(木)

三島今日子「帯広美術館30年祝う 記念式典 きょうから水木しげる展」北海道新聞／10月9日(木)

澤村真理子「興味に一直線 子どものようだった 水木さんの長女 原口尚子さん（58）」十勝毎日新聞／10月9日(木)

大木祐介「30周年『愛のおかげ』 帯広美術館」十勝毎日新聞／10月9日(木)

大木祐介「水木しげる 生涯たどる 漫画展開幕」十勝毎日新聞／10月9日(木)

三島今日子「妖怪の世界 580人どっぴり 帯広美術館 水木しげる展が開幕」北海道新聞／10月10日(金)

大木祐介「父・水木しげる語る 長女の前口さん 展示会場で」十勝毎日新聞／10月11日(金)

塩原真、助川かおる「名作生んだ思い ここに」十勝毎日新聞／10月12日(土)

三島今日子「帯広美術館で『魂の漫画展』 父親・水木しげるの世界観 長女・原口さん解説」北海道新聞／10月14日(日)

池谷智仁「水木さん『総員玉砕せよ！』構想ノート発見 戦争の異常さ 克明に」十勝毎日新聞／10月22日(金)

石井純太「水木しげる展 来場5千人」北海道新聞／10月23日(土)

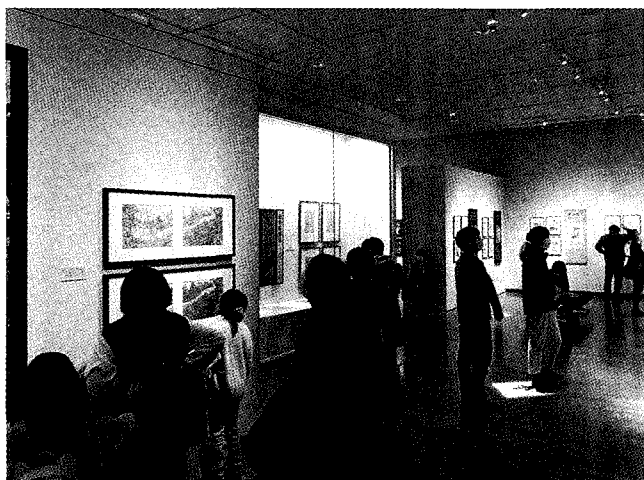
大木祐介「水木展、来場5千人突破」十勝毎日新聞／10月23日(土)

「水木しげるさんの漫画『総員玉砕せよ！』 惨禍伝える決意 構想ノート発見」北海道新聞／10月26日(火)

耳塚里沙「魂の画業 人生絵図 水木しげる展から」①～⑤十勝毎日新聞／10月27日(火)、11月1日(木)、2日(火)、3日(水)、6日(土)

耳塚里沙「見て、来て、ゲゲゲの人生 水木しげる 魂の漫画展」①～⑤北海道新聞／11月3日(木)、4日(木)、5日(金)、6日(土)、8日(日)

大河原桜「水木しげる展 来場1万人に」北海道新聞／11月6日(日)



会場風景



会場風景

大木祐介「水木しげる展 早くも1万人」十勝毎日新聞／11月6日(出)

高田晃太郎「子ども記者がゆく！ 帯広美術館『水木しげる魂の漫画展』 不思議な妖怪世界を探検」十勝毎日新聞（こども しんぶん）／11月10日(出)

石井純太「水木しげる展 来場者2万人」北海道新聞／11月27日(出)

大木祐介「水木展 来場者2万人」十勝毎日新聞／11月27日(出)
大河原桜「帯広美術館の『水木しげる展』 来場者 特別展で3位に」北海道新聞／12月18日(出)

大木祐介「『新たな歴史刻めた』 帯広美術館来場歴代3位 節目は釧路の時田さん」十勝毎日新聞／12月18日(出)

『ゲゲゲの鬼太郎』などで知られる漫画家・水木しげる（1922-2015）。本展覧会では、代表的な漫画作品の原稿・原画やスケッチに加え、愛用の道具、映像資料を全8章で展示。水木しげるの探究心と洞察力、緻密な作画によって生み出された多彩な作品を紹介した。

少年時代から青年時代までに制作された水彩画やスケッチ、絵本を展示した、第1章「武良茂アートギャラリー ～少年天才画家あらわる！～」。第2章「水木しげるの漫画研究～片腕で

生み出す独自の画法～」では、漫画の原稿やスケッチ、作品制作のために収集した資料、使用した道具、関係者へのインタビュー映像で、水木の漫画制作過程を解説。代表作『ゲゲゲ（墓場）の鬼太郎』『悪魔くん』『河童の三平』の原稿や原画を展示した、第3章「水木しげるの人気三大漫画～鬼太郎／悪魔くん／河童の三平～」。第4章「総員玉砕せよ！～壮絶な戦争体験記～」では、戦争に関する作品の原画を展示。アドルフ・ヒトラーや南方熊楠、平賀源内など、一風変わった人物の生涯を描いた評伝漫画の原画を紹介した、第5章「溢れる好奇心 人物伝」。制作当時の社会状況への批判的なまなざしがあらわれている短編漫画を展示した、第6章「短編に宿る時代へのまなざし」。第7章「妖怪世界へようこそ」では、妖怪を種類ずつ絵で解説した「妖怪画」や、妖怪をテーマとしたイラスト原画、妖怪のブロンズ像を展示。第8章「人生の達人 水木しげる」では、水木しげるの名言にねずみ男や鬼太郎などのキャラクターが合体したイラストと、未完成の「虫の絵本」を紹介。水木の人生や価値観が直接的に反映されている晩年の作品で展示を締めくくった。

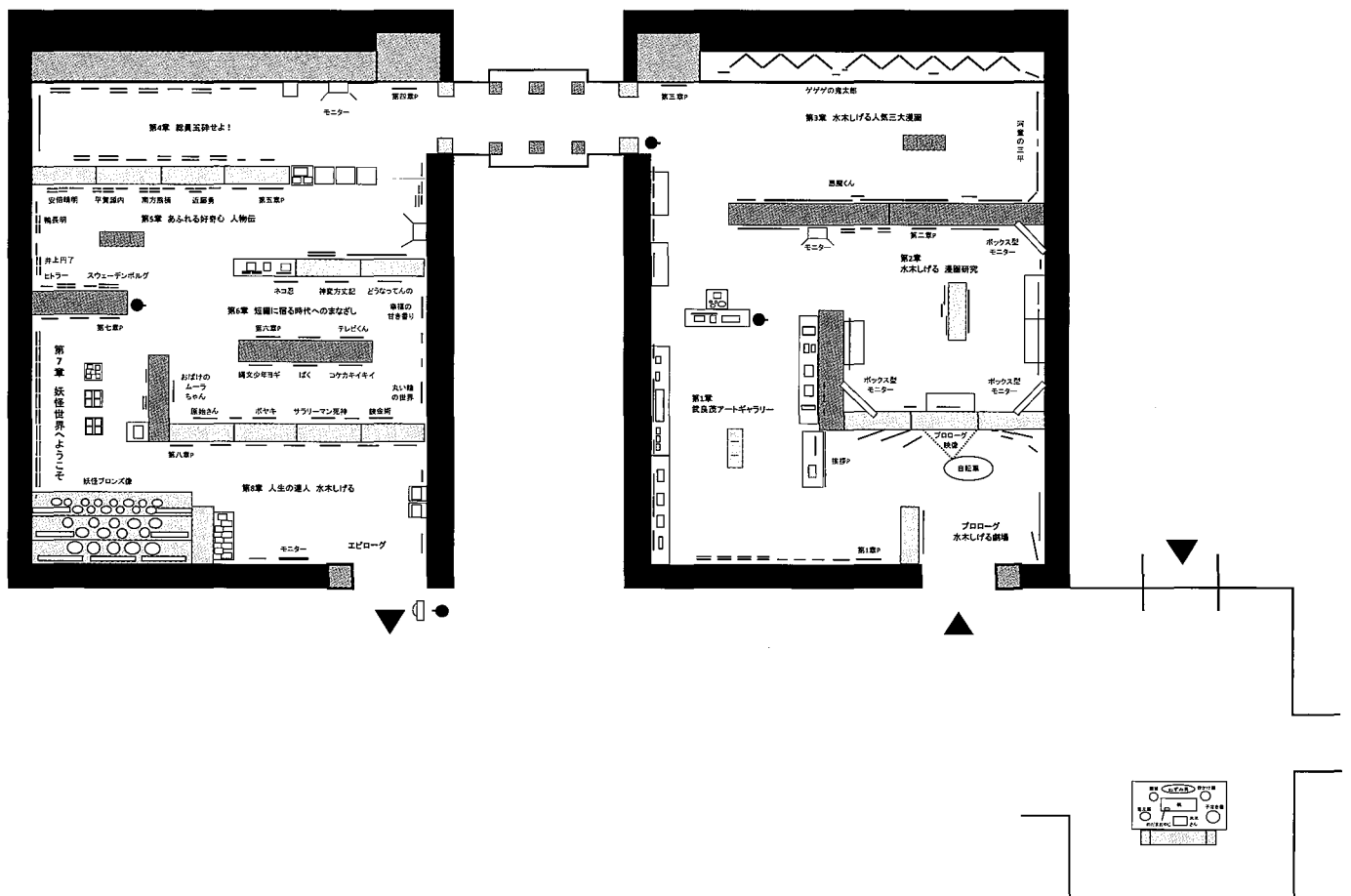
子どもから大人まで幅広い年齢層の方々が来場し、小中学校や地域サークルなどの団体見学も多数あり、33,217人が鑑賞。帯広美術館開館以来、入場者数第3位の展覧会となった。



「アラジン」©水木プロダクション



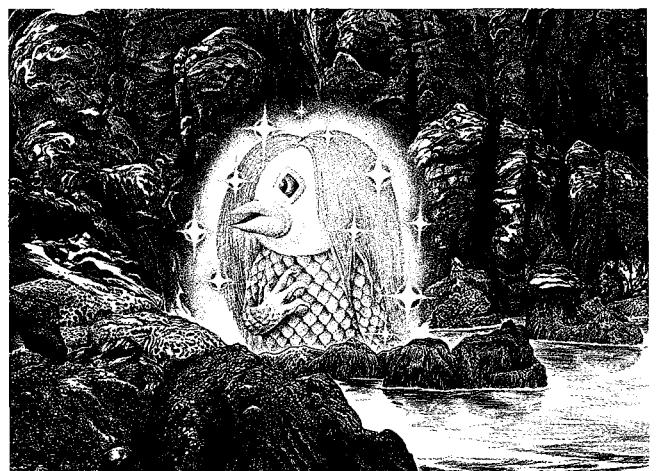
「ゲゲゲの鬼太郎」©水木プロダクション



展示図面



「総員玉碎せよ！ー聖（セント）ジョージ岬・哀歌ー」
©水木プロダクション



「アマビエ」©水木プロダクション

開館30周年記念 道東アートファイル2022+道東新世代

会期＝2022(令和4)年1月12日(水)－3月13日(日)

53日間 *大雪のため1月12日(水)臨時休館

主催＝北海道立帯広美術館

協賛＝帯広信用金庫、FLOWMOTION cafe and gallery

観覧料＝一般520(410)円、大学生300(220)円、高校生以下無料
(帯広美術館ボランティア「しらかばの会」2021年度
無料招待事業)

学校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの
方などは無料

()内は10名以上の団体、前売、リピーター、相互割
引料金

関連事業

アーティスト・トーク

日時・講師＝1月15日(土)・岡田敦氏、篠田亜希子氏／1月23日

(日)・古川博己氏、南澤美紀子氏／2月19日(土)・磯優子氏、
上野秀実氏／2月20日(日)・佐藤真康氏、中村花絵氏

(いずれも出品作家) 各日午後2時～3時

会場：当館主展示室(要観覧券、先着25名)

*道民カレッジ連携講座

トーク&レクチャー「道東アート・ファイリング」

上記アーティスト・トークの内のいずれか1回と、1/22のレ
クチャーの2回講座(個別でも受講可)。

○トーク：上記アーティスト・トーク参照

○レクチャー：

講師＝蘭部容子(当館主任学芸員)

日時＝1/22(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(聴講無料、先着25名)

*道民カレッジ連携講座

冬の美術館フェスタ

日時＝1月29日(土)、1月30日(日)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」、帯広百年記
念館、帯広市児童会館、みどりと花のセンター

・ミッション in てんらんかい☆

日時＝1月29日(土)、30日(日) 午前9時30分～午後4時30分

会場＝当館主展示室(要観覧券)

・緑ヶ丘☆スタンプラリー

日時＝1月29日(土)、30日(日) 午前9時30分～午後5時

会場＝当館ロビー、帯広百年記念館、帯広市児童会館、みど
りと花のセンター(参加無料)

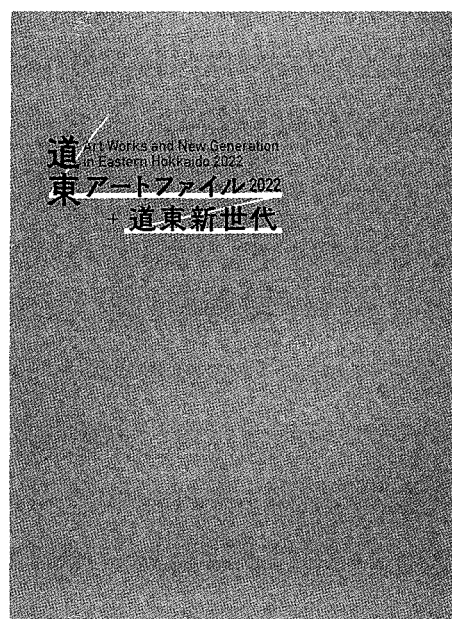
・ミュージアム・シアター『ディリリとパリの時間旅行』

日時＝1月29日(土) 午前11時～、午後1時～(95分)

会場＝当館講堂(入場無料、先着35名)



ポスター



図録

・ミュージアム・ツアー

日時＝1月30日(日) 午後1時～1時30分

会場＝当館主展示室（要観覧券、先着10名）

＊新型コロナウイルス感染症対策のため、当初の予定60分から30分に時間を短縮して実施。

ちくちくワークショップ「縫って作ろう、ミニ赤玉」

講師＝南澤美紀子氏（出品作家、ニードルワーク・アーティスト）

日時＝2月6日(日) 午後2時～4時

会場＝当館講堂（応募制、参加無料）

対象＝中学生以上、定員16名

ギャラリー・ツアー

案内＝蘭部容子（当館主任学芸員）

日時＝2月12日(土)、2月26日(土) 午後2時～2時40分

会場＝当館主展示室（要観覧券）

キッズ・ミュージアム「ペットボトルで遊ぼう」

日時＝3月5日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂（託児無料）

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

キッズ・ツアー

講師＝蘭部容子（当館主任学芸員）

日時＝3月12日(土) 午後2時～2時30分

会場＝当館主展示室（要観覧券）

図録

規格＝縦25.2×横18.7cm（B5判縦変形）／総頁数42ページ

構成＝ごあいさつ／蘭部容子「道東アート・ファイリング」／作家の言葉・略歴・作家解説・図版／出品目録

関連記事

蘭部容子「おびひろミュージアム通信-92- 道東アート 新世代展」釧路新聞／12月20日(月)

大木祐介「道東ゆかりの8人 技巧光る作品並ぶ」十勝毎日新聞／1月14日(金)

蘭部容子「道東アートの作家たち①～⑧」十勝毎日新聞／1月25日(火)～27日(木)、29日(土)、31日(月)、2月3日(木)、6日(日)、7日(月)

大河原桜「とかちフォトギャラリー 『道東アートファイル2022+道東新世代』」北海道新聞（朝刊 管内版）／2月3日(木)

牧内奏「十勝の作家いざなう魅惑の世界」十勝毎日新聞／2月27日(日)

北海道立帯広美術館が立地する北海道東部地域（十勝・釧路・根室・オホーツク管内）は、多くの美術家を輩出し、また現在も活動の拠点となっている。本展覧会では、絵画、版画、写真、立体造形など、多彩な表現領域で制作する道東ゆかりの作家の作品を紹介した。

北海道の雪につながる白の有機的・抽象的な立体造形を生み出す上野秀実。根室半島沖にあるユリ島に通い、野生化した馬を撮り続けている岡田敦。油彩などにより、人物をクローズアップして捉え写実的でありながらも独自の筆跡を加える佐藤真康。物語性と抒情性を帯びた半具象の生き物や植物などを、木版リトグラフで生み出す篠田亜希子。道東に生きる野生動物の命の輝きをテーマとし、独自の視点でカメラにおさめる古川博己。赤の布と糸を用いた手縫いにより、ダイナミックかつ緻密で自在な立体造形を生み出す南澤美紀子。更に、「アートギャラリー北海道」事業の一環として「道東新世代」にも焦点を当てた。強く自由な女性像を、独自の版画技法で表現する磯優子。日常や社会のズレや違和感をすくい上げ、シルクスクリーンの技法を用いて作品化する中村花絵。これら8人の作家を通して、現在の道東地域の美術の活況を展覧した。

展示室内を作家ごとに分け独立したスペースとなるようにして、個展が連なるような展示とした。会期序盤の1月27日から新型コロナウイルスまん延防止法が北海道に適用されたが開館は継続し、関連事業もほぼ予定通り開催した。各作家のアーティスト・トークを行い、作家の考えに直接触れることができる機会を設けた。来館者は幅広い年齢層を迎え、2,129人。



会場風景



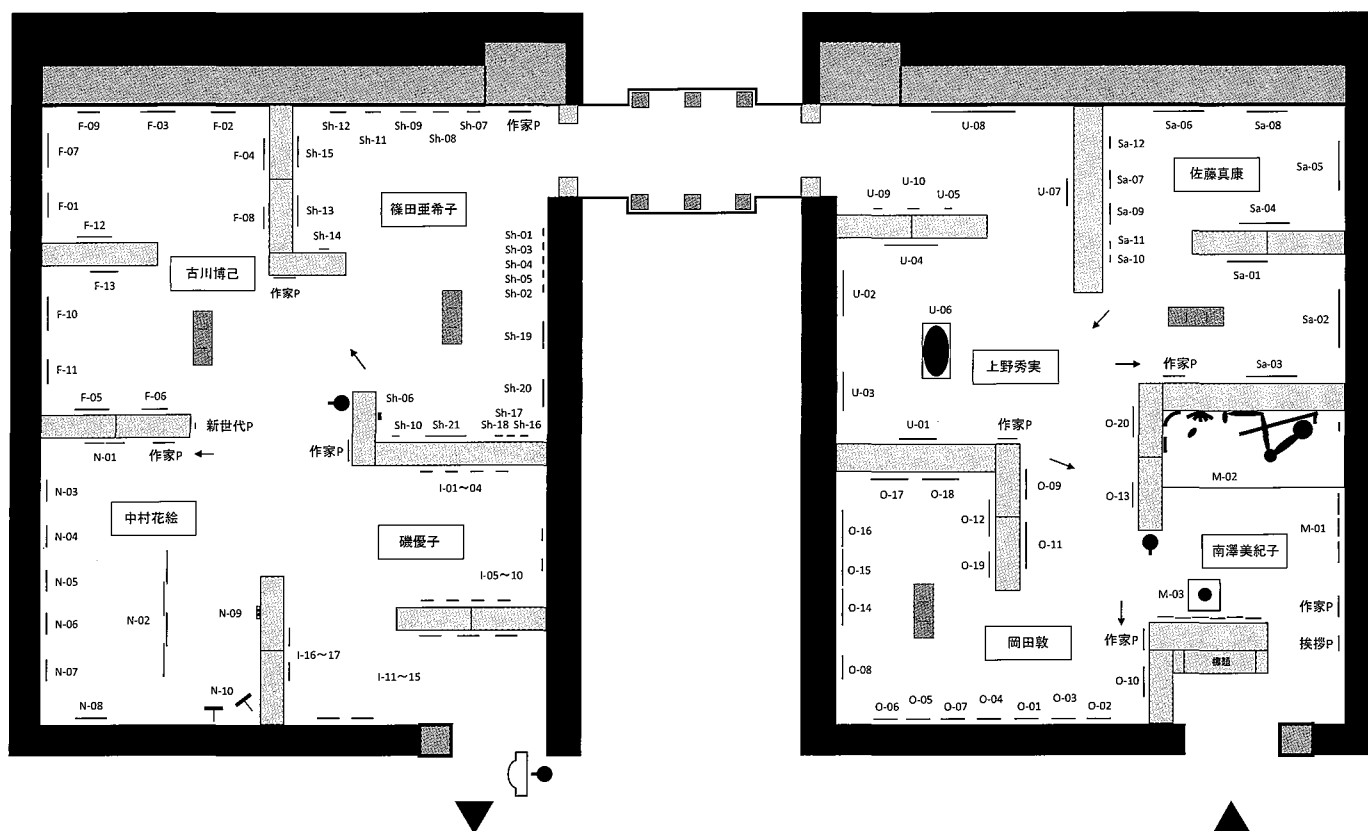
会場風景

出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
南澤美紀子				
M-01	born	2017	布 (本モスリン、正絹、紅絹)	1点: 85.0×60.0×2.5、 2点: 52.5×74.0×2.5 (3点組)
M-02	born	2020	布 (本モスリン、正絹、紅絹)	展示サイズ: 可変、高さ163.0ほか (パーツ多数)
M-03	born	2021	布 (本モスリン、正絹、紅絹)	44.0×56.0×14.0ほか (6点)、 直径29.0×高さ46.0ほか

岡田 敦

O-01	Horses on Yururi Island	2012	ラムダブリント	50.8×76.2
O-02	Horses on Yururi Island	2013	ラムダブリント	50.8×76.2
O-03	Horses on Yururi Island	2013	ラムダブリント	50.8×76.2
O-04	Horses on Yururi Island	2014	ラムダブリント	50.8×76.2
O-05	Horses on Yururi Island	2014	ラムダブリント	50.8×76.2
O-06	Horses on Yururi Island	2015	ラムダブリント	50.8×76.2
O-07	Horses on Yururi Island	2017	ラムダブリント	50.8×76.2
O-08	Horses on Yururi Island	2017	ラムダブリント	50.8×76.2
O-09	Horses on Yururi Island	2017	高解像度メタルプリント	70.0×100.0
O-10	Horses on Yururi Island	2018	高解像度メタルプリント	70.0×100.0
O-11	Horses on Yururi Island	2018	高解像度メタルプリント	101.6×152.4
O-12	Horses on Yururi Island	2019	ラムダブリント	84.1×118.9
O-13	Horses on Yururi Island	2019	ラムダブリント	59.9×84.1
O-14	Horses on Yururi Island	2020	ラムダブリント	84.1×118.9
O-15	Horses on Yururi Island	2020	ラムダブリント	84.1×118.9
O-16	Horses on Yururi Island	2020	ラムダブリント	84.1×118.9



展示図面

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
O-17	Horses on Yururi Island	2020	ラムダプリント	168.2×118.9
O-18	Horses on Yururi Island	2020	ラムダプリント	168.2×118.9
O-19	Horses on Yururi Island	2020	ラムダプリント	118.9×84.1
O-20	Horses on Yururi Island	撮影：2018～21 編集：2021	4K 映像	4分30秒

佐藤真康

Sa-01	風の強い日には	2017	油彩・キャンバス	162.1×130.3
Sa-02	海風	2018	油彩・キャンバス	162.0×194.0
Sa-03	彼方	2018	油彩・キャンバス	162.1×162.1
Sa-04	彼方から	2019	油彩・キャンバス	162.1×162.1
Sa-05	ONLY	2019	油彩・キャンバス	162.1×162.1
Sa-06	想う	2020	アクリル絵具・キャンバス	130.3×162.1
Sa-07	FACE	2020	アクリル絵具・キャンバス	72.7×60.6
Sa-08	想	2020～21	アクリル絵具・キャンバス	162.1×130.3
Sa-09	NUDE	2021	アクリル絵具・キャンバス	60.6×72.7
Sa-10	翼	2021	アクリル絵具・キャンバス	33.4×24.3
Sa-11	FACE	2021	アクリル絵具・キャンバス	33.4×24.3
Sa-12	FACE	2021	アクリル絵具・ボード	41.0×40.5

上野秀実

U-01	銀花	2018	岩絵具、重曹、箔・断熱材	展示サイズ：123.0×113.0（6点組）	可変
U-02	雪匂	2018	重曹、染料・断熱材	展示サイズ：148.2×111.5（8点組）	可変
U-03	律	2018	重曹、染料・断熱材	展示サイズ：126.5×111.0（6点組）	可変
U-04	久遠	2019	重曹、箔・断熱材	展示サイズ：170.0×170.0（25点組）	
U-05	共鳴	2021	重曹、岩絵具、箔・断熱材	74.5×24.5	
U-06	解毒	2021	重曹、箔・断熱材、アルミ材	ほか 169.8×86.9×105.1	
U-07	昇華	2021	岩絵具、重曹、箔・断熱材	展示サイズ：187.5×91.5（3点組）	
U-08	焼結	2021	重曹・断熱材	展示サイズ：149.7×267.5（9点組）	
U-09	深遠	2021	重曹、岩絵具、箔・断熱材	54.2×27.0	
U-10	翼	2021	重曹、岩絵具、箔・断熱材	76.5×37.7	

篠田亜希子

Sh-01	十五夜草	2018	木版リトグラフ・紙	22.2×17.0
Sh-02	十五夜草	2018	木版リトグラフ・紙	23.2×17.2
Sh-03	十五夜草	2018	木版リトグラフ・紙	21.2×15.0
Sh-04	十五夜草	2018	木版リトグラフ・紙	18.5×17.0
Sh-05	十五夜草	2018	木版リトグラフ・紙	20.7×16.5



M-01 南澤美紀子「born」（部分）



O-04 岡田敦「Horses on Yururi Island」

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
Sh-06	十五夜草	2018	木版リトグラフ・紙	21.5×19.0
Sh-07	仄夜	2018	木版リトグラフ・紙	30.5×24.5
Sh-08	夜行	2018	木版リトグラフ・紙	30.5×23.5
Sh-09	夜想曲	2018	木版リトグラフ・紙	48.0×23.0
Sh-10	夜旅	2018	木版リトグラフ・紙	11.2×10.2
Sh-11	夜曲	2019	木版リトグラフ・紙	37.2×23.0
Sh-12	夜風	2019	木版リトグラフ・紙	34.5×24.5
Sh-13	夜海	2019	アクリル絵具、鉛筆・板	113.5×102.5
Sh-14	古い迷信	2020	アクリル絵具、鉛筆・板	90.5×30.0
Sh-15	mubi (火取り魔)	2020	木版リトグラフ・紙	118.0×90.0
Sh-16	mubi #1	2020	木版リトグラフ・紙	14.5×17.2
Sh-17	mubi #2	2020	木版リトグラフ・紙	14.7×16.2
Sh-18	mubi #3	2020	木版リトグラフ・紙	22.5×14.6
Sh-19	夢寐	2021	木版リトグラフ・紙	89.0×59.5
Sh-20	夜話／mujina	2021	木版リトグラフ・紙	89.6×59.1
Sh-21	夜話／umayagami	2021	木版リトグラフ・紙	74.3×104.4

古川博己

F-01	暁に集う	2018	タイプCプリント	45.7×56.0
F-02	宵に流離う	2018	タイプCプリント	45.7×56.0
F-03	HIKARI	2018	タイプCプリント	60.0×90.0
F-04	KAZE	2018	タイプCプリント	60.0×90.0
F-05	REQUIEM	2018	タイプCプリント	60.0×90.0
F-06	requiem	2018	タイプCプリント	45.7×56.0
F-07	存在	2019	タイプCプリント	60.0×90.0
F-08	夢幻	2019	タイプCプリント	56.0×45.7
F-09	hikari	2019	タイプCプリント	56.0×45.7
F-10	Mysterious	2019	タイプCプリント	60.0×90.0
F-11	冬の三重奏	2020	タイプCプリント	56.0×45.7
F-12	Moment	2020	タイプCプリント	60.0×90.0
F-13	WILD EYES	2020	タイプCプリント	90.0×60.0

中村花絵

N-01	余日のプロット#1	2017	デジタルプリント、リトグラフ・紙	各72.0×53.0 (2点組)
N-02	窓のオブジェクト	2021	シルクスクリーン・布	各370.0×115.0 (4点組) 可変
N-03	anonymous weeds 01	2021	シルクスクリーン・紙	40.6×50.8
N-04	anonymous weeds 02	2021	シルクスクリーン・紙	40.6×50.8
N-05	anonymous weeds 03	2021	シルクスクリーン・紙	40.6×50.8
N-06	anonymous weeds 04	2021	シルクスクリーン・紙	40.6×50.8
N-07	anonymous weeds 05	2021	シルクスクリーン・紙	40.6×50.8
N-08	anonymous weeds 06	2021	シルクスクリーン・紙	61.0×76.2
N-09	plaster cast	2021	石膏粘土	各8.0×5.0×9.0 (2点)
N-10	plaster cast drawing	2021	シルクスクリーン・紙	各65.0×50.0 (2点)

磯 優子

I-01	祈りの細胞	2016 (2021再制作)	グラフィック転写・紙	40.5×31.4
I-02	祈りの細胞	2016 (2021再制作)	グラフィック転写・紙	40.5×31.4
I-03	祈りの細胞	2016 (2021再制作)	グラフィック転写・紙	40.5×31.4
I-04	祈りの細胞	2016 (2021再制作)	グラフィック転写・紙	40.5×31.4
I-05	君の流線	2018 (2021再制作)	グラフィック転写・紙	40.5×31.4
I-06	君の流線	2018 (2021再制作)	グラフィック転写・紙	40.5×31.4
I-07	君の流線	2018 (2021再制作)	グラフィック転写・紙	40.5×31.4
I-08	君の流線	2018 (2021再制作)	グラフィック転写・紙	40.5×31.4
I-09	君の流線	2018 (2021再制作)	グラフィック転写・紙	40.5×31.4
I-10	君の流線	2018 (2021再制作)	グラフィック転写・紙	40.5×31.4
I-11	くゆらず、標	2021	ステンシル、炙り出し・明礬 (みょうばん)、紙	103.0×72.8

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
I-12	くゆらす、標	2021	ステンシル、炙り出し・明礬 (みょうばん)、紙	103.0×72.8
I-13	くゆらす、標	2021	ステンシル、炙り出し・明礬 (みょうばん)、紙	103.0×72.8
I-14	くゆらす、標	2021	ステンシル、炙り出し・明礬 (みょうばん)、紙	103.0×72.8
I-15	くゆらす、標	2021	ステンシル、炙り出し・明礬 (みょうばん)、紙	103.0×72.8
I-16	纏えば愉し	2021	ステンシル・紙	31.4×40.5
I-17	纏えば愉し	2021	ステンシル・紙	31.4×40.5

* 寸法は特記以外は縦×横または幅×奥行×高さ、縦×横×厚。 * 作品はすべて作家蔵。



Sa-05 佐藤真康「ONLY」



N-08 中村花絵「anonymous weeds 06」

帯広美術館コレクション アートの中の風景

会期＝2022(令和4)年4月16日(土)ー6月26日(日)

62日間

主催＝北海道立帯広美術館

協賛＝帯広信用金庫

観覧料＝一般510(410)円、大学生300(230)円、
高校生以下無料(高校生は帯広美術館「しらかばの会」
2022年度無料招待事業)。
()内は10名以上の団体、前売り、リピーター割引。
障害者手帳をお持ちの方などは無料。

関連事業

ギャラリー・ツアー

日時＝4月16日(土)、5月28日(土)

午後2時～(約40分)

講師＝耳塚里沙(当館学芸員)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ツアー

日時＝5月14日(土) 午後2時～(約30分)

講師＝耳塚里沙(当館学芸員)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ミュージアム「海のなかまたち」

日時＝6月18日(土) 午後1時30分～午後3時30分

会場＝当館講堂(託児無料) 定員＝10名

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

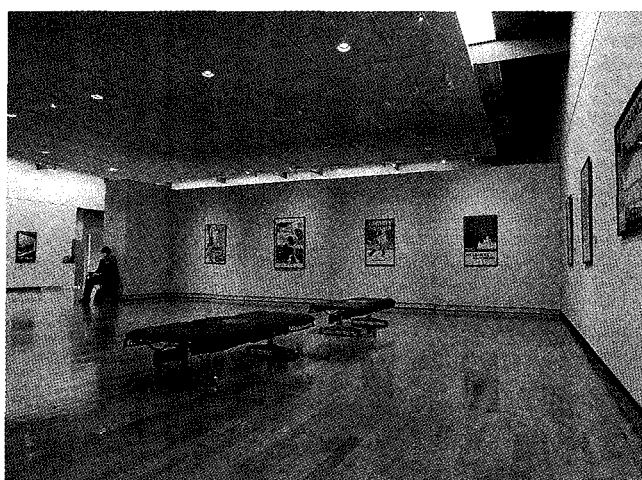
帯広美術館コレクション
アート
の中の
風景
Scenery in Art: Obihiro Museum Collection

2022
4.16 Sat. ー 6.26 Sun.

開催期間：4月16日(土)ー6月26日(日) 入場券は午後4時30分まで
休 日：7月1日(日)
主 催：北海道立帯広美術館
協 賛：帯広信用金庫
観 覧 料：一般 510(410)円
大 学 生 300(230)円
高 校 生 以下 無料
(高校生は帯広美術館「しらかばの会」2022年度無料招待事業)
10名以上の団体、前売り、リピーター割引。
障害者手帳をお持ちの方などは無料。

北海道立帯広美術館
Hokkaido Obihiro Museum of Art
〒080-0855 帯広市南10条5丁目1-1
TEL: 011-233-8888
info@obihiro-museum.jp
www.obihiro-museum.jp

ポスター



会場風景



会場風景

関連記事

石井純太「旅や日常の風景テーマ 道立帯広美術館 特別展始まる」北海道新聞／4月17日(日)

近藤周「風景アート通じ旅行気分 帯広美術館コレクション展開幕」十勝毎日新聞／4月17日(日)

耳塚里沙「おびひろミュージアム通信 道立帯広美術館 旅する気分味わって」釧路新聞／4月18日(月)

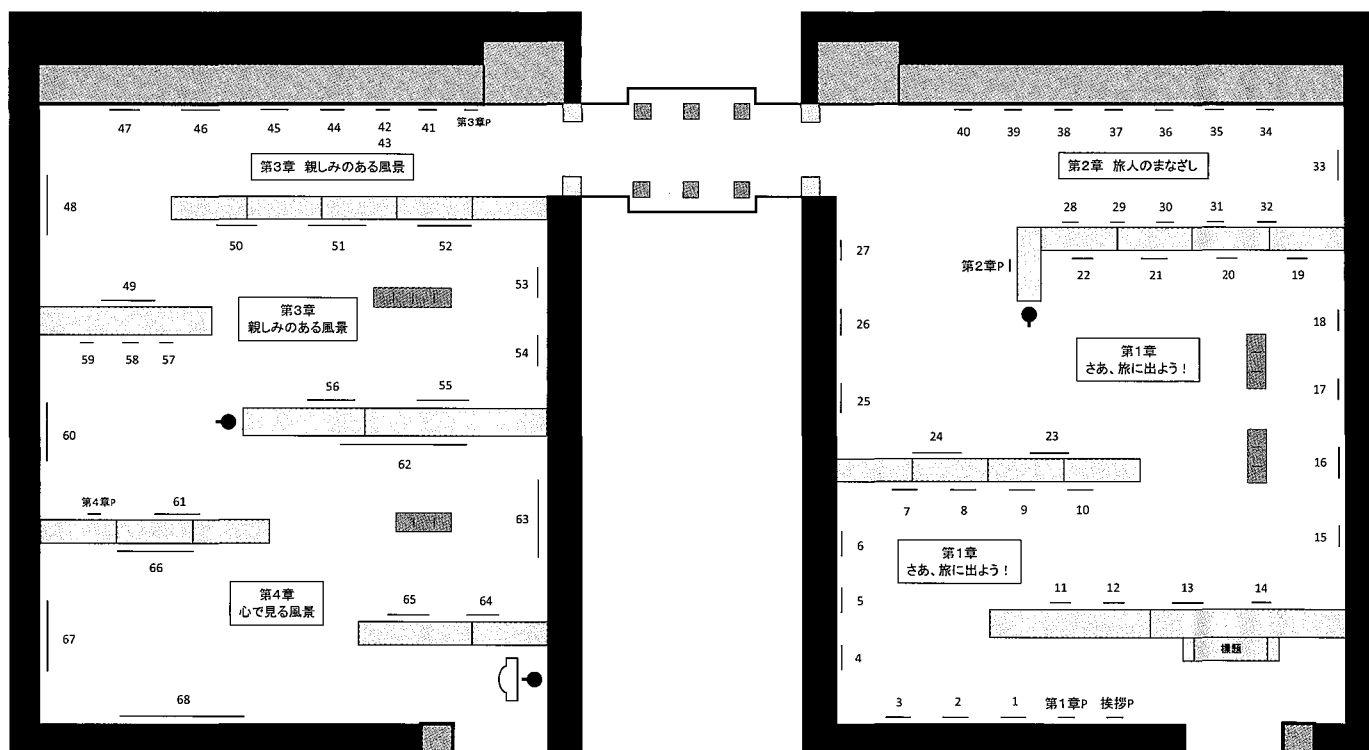
田口友博「とかちフォトギャラリー 芸術が誘う旅行気分 道立帯広美術館特別展『帯広美術館コレクション アートの中の風景』」北海道新聞／4月21日(木)

耳塚里沙「学芸員は見た！ 絵から情景描写を読み取る 丘の上のミュージアム」勝毎電子版ジャーナル／4月27日(火)

耳塚里沙「アートで旅する 帯広美術館 特別展1～5」十勝毎日新聞／5月2日(月)、3日(火)、4日(水)、5日(木)、7日(土)

「帯広美術館『アートの中の風景』旅行に訪れた感覚体験 観光ポスター等 6月26日まで」北海道通信／5月17日(火)

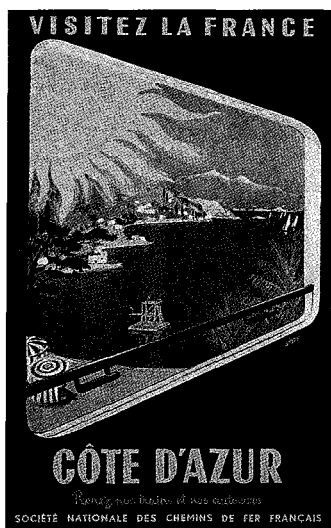
気軽に旅することが難しい昨今。美術館の中で作品を見て、旅行気分を味わう機会をつくる試みとして所蔵品展を企画した。帯広美術館所蔵品の中から、風景をテーマとした作品を紹介。観光地をアピールする、または旅先や身近な場所を描くといった、作品を制作する目的や、作者が目の前の光景の何を見ているかによって、風景の切り取られ方や表現方法が異なることを提示した。第1章「さあ、旅に出よう！」では、北海道やヨーロッパなどの観光地を魅力的に表現したポスター。バルビゾン派や道東ゆかりの画家たちによる、旅先で見た光景をもとに制作した版画、日本画、スケッチを展示した第2章「旅人のまなざし」と、作者にとって身近な場所を表現した油彩画、版画、写真を展示した第3章「親しみのある風景」。最後の第4章「心で見る風景」では、作者の心象風景をあらわした作品など、抽象的な作品を展示した。



展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
第1章 さあ、旅に出よう！					
1	梅津恒見	WELCOME 北海道	1985 (昭和60)	シルクスクリーン、紙	105.1×74.9
2	栗谷川健一	牧場の鐘	1952 (昭和27)	オフセット、紙	103.2×73.0
3	栗谷川健一	サイロの夏	1956 (昭和31)	オフセット、紙	105.5×74.4
4	栗谷川健一	麦わら帽子	1968 (昭和43)	オフセット、紙	103.1×73.1
5	栗谷川健一	緑に歌う	1960 (昭和35)	オフセット、紙	103.3×73.2
6	栗谷川健一	ムックリを鳴らすアイヌの娘	1953 (昭和28)	オフセット、紙	103.0×73.0
7	栗谷川健一	家路	1963 (昭和38)	オフセット、紙	103.0×73.0
8	栗谷川健一	伝説の湖	1956 (昭和31)	オフセット、紙	101.3×71.3
9	栗谷川健一	スキーの源流	1966 (昭和41)	オフセット、紙	103.0×72.6
10	栗谷川健一	昇る太陽	1967 (昭和42)	オフセット、紙	105.0×73.0
11	ポール・コラン	W公園	1935	リトグラフ、紙	80.0×60.0
12	ベルナール・ヴィルモ	北アフリカ	1946	リトグラフ、紙	98.0×61.5
13	アンリ・ゾー	スペイン旅行の割引チケット	1910頃	リトグラフ、紙	107.5×76.0
14	ホセ・モレル	スペイン探訪	1941	リトグラフ、紙	98.6×60.8
15	ヴァルター・マーラー	ジュネーヴ、スイス	1950	リトグラフ、紙	98.5×63.5
16	不詳	ルガノ、グラランド・パレス・ホテル	1910	リトグラフ、紙	69.3×98.0
17	ブッポ	モンテ・ファイト、ナポリ	1959	リトグラフ、紙	98.5×64.0
18	キルニツヒ専門工房	オーストリア	1935	リトグラフ、紙	93.6×61.5
19	H.F.F.	ヘルシンキ	1930	オフセット、紙	99.0×60.5
20	不詳	ポーツマスとサウス・シー	1950頃	リトグラフ、紙	99.7×62.8
21	アルベール・ベルジュヴァン	アヴランシュモン・サン・ミシェル湾	1910頃	リトグラフ、紙	111.5×75.0
22	アルベール・ブルネ	フランスへ、シャルジュール・レユニ海運会社で (エッフェル塔)	1950	オフセット、紙	97.5×61.8
23	ジャン・ドン	ドーヴィル	1930	リトグラフ、紙	154.0×111.8
24	ファリア (カンディード・アラゴネス・デ・ファリア)	カシャ=マジェスティック=シャモニーのウィンター・スポーツ	1905	リトグラフ、紙	109.8×151.7
25	フレデリック・ユゴー・ダレジ	ラ・チュルビーエ P.L.M.鉄道会社	1890-95頃	リトグラフ、紙	105.0×75.0
26	エマニュエル・ペリーニ	ニースの温泉、ベルモン=レ=パン	1950	リトグラフ、紙	114.5×77.5
27	不詳	フランスへ行こう、コート・ダジュール	1952	オフセット、紙	98.5×61.0
第2章 旅人のまなざし					
28	ジャン=バティスト=カミーユ・コロー	イタリアの思い出	1863	エッチング、紙	29.5×22.0
29	ジュール・デュプレ	イギリス風景	1836	リトグラフ、紙	12.9×20.7
30	渋谷栄一	PARIS D	1972 (昭和47)	シュガーアクアチント、紙	23.0×28.0
31	渋谷栄一	マントン A	1990 (平成2)	エッチング、シュガーアクアチント、紙	40.0×30.0
32	渋谷栄一	サン・ポール B	1989 (平成元)	エッチング、紙	20.0×36.5
33	六郎田天鈴	朝霧はるるキリマンジャロ	1992 (平成4)	紙本彩色	65.3×90.9
34	居串佳一	千島スケッチ	1944 (昭和19) 頃	水彩、インク、紙	17.9×25.6



27 作者不詳
「フランスへ行こう、コート・ダジュール」



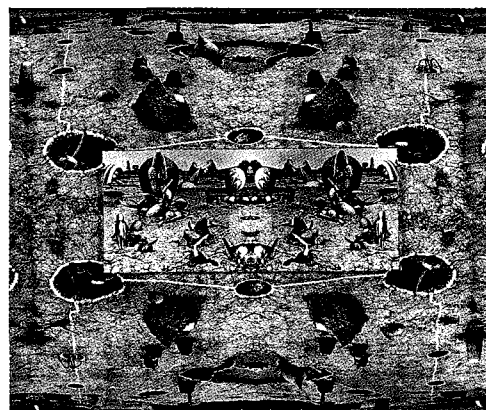
33 六郎田天鈴「朝霧はるるキリマンジャロ」

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
35	居串佳一	千島スケッチ	1944 (昭和19) 頃	インク、紙	18.2×25.7
36	居串佳一	千島スケッチ	1944 (昭和19) 頃	水彩、インク、紙	18.1×25.6
37	田辺三重松	千島スケッチ	1943 (昭和18) 頃	水彩、インク、紙	18.1×25.2
38	田辺三重松	千島スケッチ	1943 (昭和18) 頃	水彩、インク、紙	18.2×25.8
39	繁野三郎	千島風物	1944 (昭和19) 頃	水彩、インク、紙	18.7×26.9
40	繁野三郎	千島の花束	1944 (昭和19) 頃	インク、紙	19.2×27.0
第3章 親しみのある風景					
41	ジャン=フランソワ・ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング、紙	19.2×25.0
42	シャルル=エミール・ジャック	水飲み場	19世紀後半	エッチング、紙	14.5×21.0
43	シャルル=エミール・ジャック	豚飼いの少年	19世紀後半	エッチング、紙	11.5×17.7
44	ウジェーヌ=アントワーン・ラヴィエユ	村の眺め	19世紀後半	油彩、板	32.8×56.0
45	アレクサンドル・ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩、キャンバス	40.0×68.0
46	レオンス・シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼いの	1872	油彩、キャンバス	69.1×99.8
47	フランソワ=ルイ・フランセ	風景―丘陵の牛	1859	パステル、紙	54.7×82.6
48	竹山義雄	早春山野	1978 (昭和53)	油彩、キャンバス	130.6×162.0
49	能勢眞美	涼夏	1972 (昭和47)	油彩、キャンバス	96.8×145.5
50	伊藤隆二	初秋	1935 (昭和10)	油彩、キャンバス	80.7×116.8
51	長尾栄三	晩秋の高原	1979 (昭和54)	油彩、キャンバス	130.3×161.8
52	高坂和子	晩夏のレクイエム	1980 (昭和55)	油彩、キャンバス	130.7×162.1
53	手島圭三郎	しまふくろうの夢・古木	1982 (昭和57)	木版、紙	53.0×75.0
54	手島圭三郎	しまふくろう・冬	1985 (昭和60)	木版、紙	53.0×75.0
55	望月正男	落日	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	112.1×145.5
56	戸張良彦	143.121065 43.567846 96°	2013 (平成25)	デジタルCプリント	100.0×150.0
57	一原有徳	Hidaka 1839m	1974 (昭和49)	金属版、紙	10.8×21.0
58	一原有徳	Mt. Petegari	不詳	金属版、紙	25.7×36.0
59	一原有徳	Mt. Rishiri	不詳	金属版、紙	19.8×27.0
60	長谷川哲	HOME 1997-2	1997 (平成9)	写真、印画紙	86.3×148.5
第4章 心で見る風景					
61	田中 良	そよぐ	1997 (平成9)	油彩、キャンバス	162.1×130.5
62	八重柏冬雷	花鳥風月～寂韻の響き～	2012 (平成24)	墨、白抜き剤、和紙	各180.0×90.0 (4点組)
63	武田伸一	凍土	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	182.0×229.0
64	寺島春雄	凍土	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	117.0×91.1
65	榎原武正	冬の街 (E)	1979 (昭和54)	油彩、キャンバス	96.5×130.0
66	奥野稔和	98V-0515X	1998 (平成10)	インクジェットプリント、 ポリフィルム	80.2×222.0
67	出店久夫	私風景、過去―2000―未来 No. II	2000 (平成12)	モノクロコピー、ゼラチン・シル バー・プリント、調色剤、手彩色	182.2×228.8×9.0
68	森 健二	光年の導へ	2002 (平成14)	油彩、キャンバス	194.5×391.5 (3点組)

* 寸法は縦×横。 * Nos. 48、50、63は帯広市寄託、No.49は山崎幸子氏寄託、No.56は作者寄託、他は北海道立帯広美術館蔵。



45 アレクサンドル・ドゥフォー「農家の中庭」



67 出店久夫「私風景、過去―2000―未来 No. II」

リリズム ポエジー

50日間

関連記事

牧内奏「夢二と小林かいち 9日に特別展開幕」十勝毎日新聞／7月7日(木)

牧内奏「大正ロマン味わう」十勝毎日新聞／7月9日(土)

鈴木宇星「夢二、かいち 大正期の世界観」北海道新聞(帯広・十勝版 朝刊)／7月10日(日)

牧内奏「小林かいちの作風 夢二と比較し解説」十勝毎日新聞／8月1日(月)

菌部容子「夢二とかいち ロマンとモダン ①～⑤」十勝毎日新聞／8月2日(火)、3日(水)、5日(金)、6日(土)、8日(月)

沼田駿「とかちフォトギャラリー 大正ロマン誘う 2人の世界」北海道新聞(帯広・十勝版 朝刊)／8月4日(水)

菌部容子「おびひろミュージアム通信96 『竹久夢二 小林かいち』展」釧路新聞／8月1日(月)

菌部容子「丘の上のミュージアム 複製可能な『夢二式美人』」十勝毎日新聞電子版ジャーナル／8月4日(木)

牧内奏「大正モダンな音色楽しむ」十勝毎日新聞／8月22日(月)

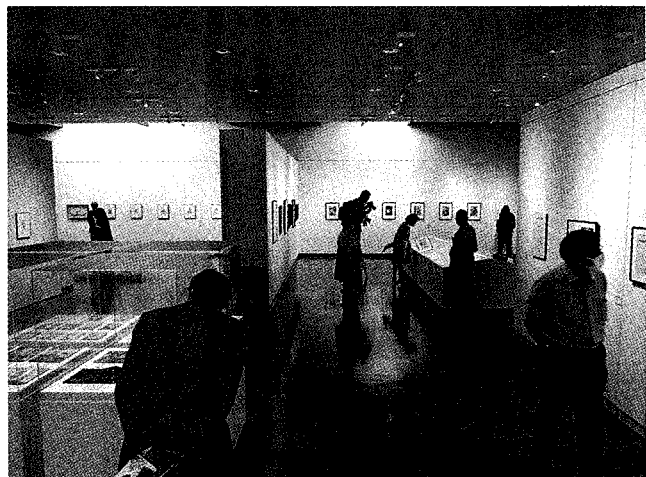
竹久夢二(1884～1934)は、憂いを含んだ瞳の儚げで華奢な「夢二式美人」により、大正期に一世を風靡した画家。独学で絵を学び、愛や浪漫(ロマン)を感じさせる女性像を数多く描いた。その作品は、アール・ヌーヴォーなど西洋の最先端の様式と、日本的な抒情性を統合したもの。肉筆画だけでなく雑誌の挿絵や本の装幀、絵葉書、楽譜の表紙、千代紙の意匠なども手がけ、大衆に親しまれた。

小林かいち(1896～1968)は、大正後期から昭和初期にかけての10年ほど、京都の地で絵葉書・絵封筒のデザインを手がけ、少女たちに熱狂的に支持された。アール・デコ様式の影響を受け、印象的な色彩とモダンなセンス、ハートや十字架といった異国趣味的なモチーフを作品に取り込んでいる。「謎の画家」とされていたが、近年研究が進んで注目が集まっている画家である。

本展覧会では、大衆文化の華やかな大正・昭和を好対照に生きた二人の画家に焦点を当て、「グラフィック黎明期」のデザインの世界を紹介した。男女問わず来場し、夢二だけでなくあまり知られていないかいちの世界も楽しんだ。来場者数は4,661人。

出品目録

No.	種別	作品名	技法等	制作年	外寸 (cm)	所蔵先
◆	竹久夢二					
1	イントロ	夢二画集「春の巻」「夏の巻」	木版画	1909/1910 (明治42/43)	53.0×42.0	港屋
2		夢二画集「秋の巻」「冬の巻」	木版画	1910 (明治43)	53.0×42.0	港屋
3		青い酒 (大正9年)	復刻木版画	1938 (昭和13)	57.0×45.0	港屋
4		黒船屋 (大正8年頃)	復刻木版画	1985 (昭和60)	95.0×48.0	港屋
5		舞姫 (大正中期)	復刻木版画	1987 (昭和62)	140.0×61.0	港屋
6		九連環 (大正7年頃)	復刻木版画	1940 (昭和15)	115.0×43.0	港屋
7	港屋絵草紙店	港屋絵草紙店 (大正3年)	復刻木版画	1986 (昭和61)	53.0×42.0	港屋
8		開店あいさつ状	木版画 (絵柄のみ)	1914 (大正3)	53.0×42.0	港屋
9		千代紙 「大椿」	木版画	1914 (大正3)	52.0×36.0	港屋
10		千代紙「さくら草」	木版画	1914 (大正3)	44.0×37.0	港屋
11		便箋「春の山」	木版画	1914 (大正3)	52.0×36.0	港屋
12		封筒21種	木版画	1914 (大正3)	78.0×78.0	港屋
13		一座の花形	木版画	1914 (大正3)	42.0×40.0	港屋
14		小春・治兵衛	木版画	1914 (大正3)	53.0×50.0	港屋
15		ちょうちん	木版画	1914 (大正3)	27.0×43.0	港屋

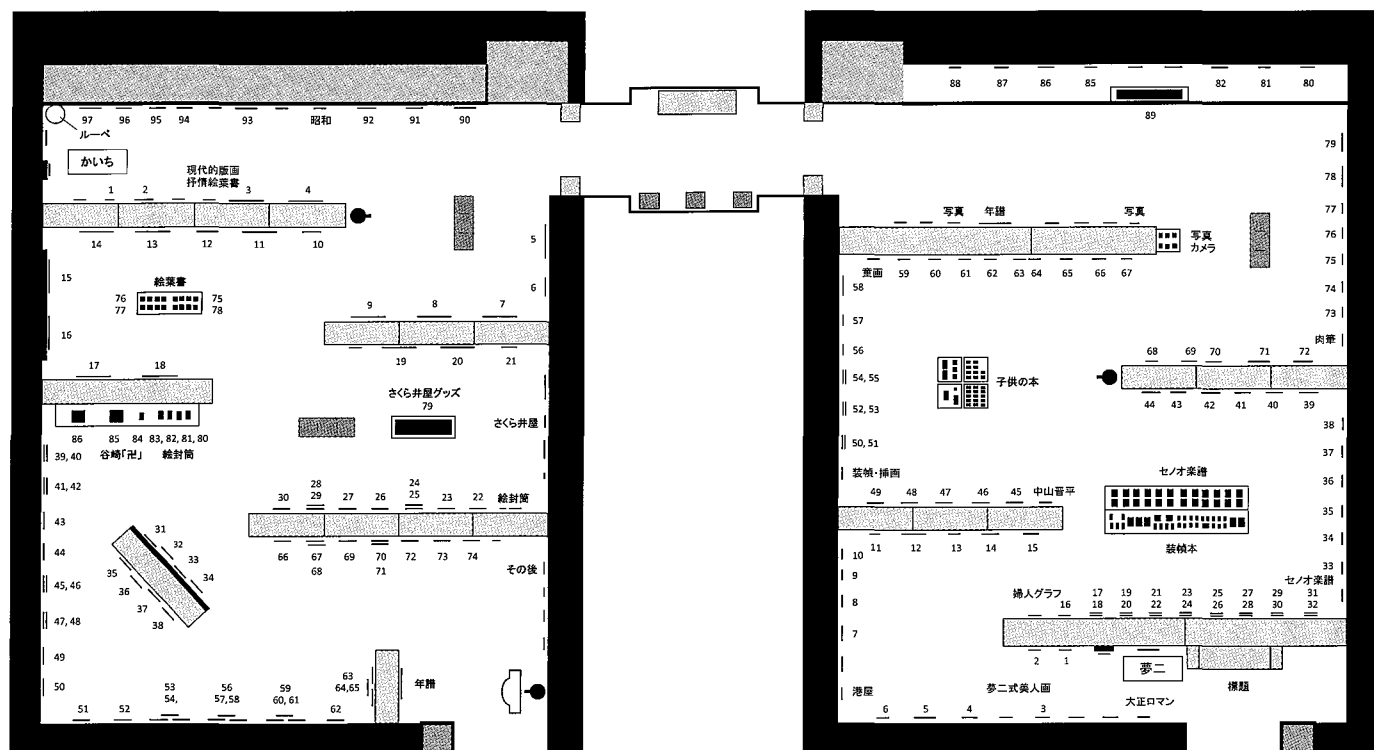


会場風景



会場風景

No.	種別	作品名	技法等	制作年	外寸 (cm)	所蔵先
16	婦人グラフ	雪の風	木版画	1924 (大正13)	46.0×40.0	港屋
17		花火	木版画	1924 (大正13)	41.0×43.0	港屋
18		秋	木版画	1924 (大正13)	41.0×43.0	港屋
19		化粧の秋	木版画	1924 (大正13)	41.0×43.0	港屋
20		秋のしらべ	木版画	1924 (大正13)	40.0×42.0	港屋
21		新年号表紙 (王春)	オフセット	1925 (大正14)	36.0×41.0	港屋
22		2月号表紙 (化粧)	オフセット	1925 (大正14)	39.0×41.0	港屋
23		3月号表紙 (うさぎ)	オフセット	1925 (大正14)	36.0×37.0	港屋
24		4月号表紙 (舞妓)	オフセット	1925 (大正14)	39.0×41.0	港屋
25		新年号表紙 (初春)	オフセット	1926 (大正15)	41.0×43.0	港屋
26		如月の伝説	オフセット	1926 (大正15)	41.0×43.0	港屋
27		エイプリルフル	オフセット	1926 (大正15)	41.0×43.0	港屋
28		5月号表紙 (藤の花)	木版画	1926 (大正15)	41.0×43.0	港屋
29		6月号表紙 (藤椅子)	木版画	1926 (大正15)	41.0×45.0	港屋
30		7月号表紙 (七夕)	木版画	1926 (大正15)	41.0×43.0	港屋
31		8月号表紙 (窓辺)	木版画	1926 (大正15)	41.0×43.0	港屋
32		秋の海	木版画	1926 (大正15)	36.0×38.0	港屋
33	セノオ楽譜	お江戸日本橋	石版画	1916 (大正5)	53.0×41.0	港屋
34		蘭燈	オフセット	1917 (大正6)	53.0×41.0	港屋
35		椿姫	石版画	1917 (大正6)	53.0×41.0	港屋
36		月光	石版画	1917 (大正6)	53.0×41.0	港屋
37		恋のいきさつ	石版画	1920 (大正9)	53.0×41.0	港屋
38		ミアミショーア	石版画	1924 (大正13)	53.0×41.0	港屋
39		今宵、宵待草を...	肉筆 (書簡)	昭和初期	46.0×53.0	港屋
40		待宵草	石版画	1918 (大正7)	75.0×57.0	港屋
41		下りてくれるな	肉筆 (水彩)	1924 (大正13)	55.0×47.0	港屋
42		下りてくれるな	石版画	1924 (大正13)	78.0×59.0	港屋



展示図面

No.	種別	作品名	技法等	制作年	外寸 (cm)	所蔵先
43		ホームソング	肉筆 (水彩)	1926 (大正15)	55.0×47.0	港屋
44		ホームソング	石版画	1926 (大正15)	78.0×59.0	港屋
45	中山晋平作曲全集	目次	木版画	1930 (昭和5)	45.0×57.0	港屋
46		東京行進曲	木版画	1930 (昭和5)	45.0×57.0	港屋
47		唐人お吉の唄 (黒船篇)	木版画	1930 (昭和5)	45.0×57.0	港屋
48		椿	木版画	1930 (昭和5)	45.0×57.0	港屋
49		紅屋の娘	木版画	1930 (昭和5)	45.0×57.0	港屋
50	装幀・挿画	近松の人々・表紙	木版画	1914 (大正3)	37.0×44.0	港屋
51		三味線草・帙	木版画	1915 (大正4)	37.0×44.0	港屋
52		伊勢物語・函	木版画	1931 (昭和6)	37.0×44.0	港屋
53		春の鳥・表紙	木版画	1931 (昭和6)	37.0×44.0	港屋
54		春のおくりもの・函	木版画	1928 (昭和3)	37.0×44.0	港屋
55		露台薄暮・函	木版画	1928 (昭和3)	37.0×44.0	港屋
56		三味線草・挿絵	木版画	1915 (大正4)	44.0×37.0	港屋
57		伊勢物語・挿絵	木版画	1931 (昭和6)	44.0×37.0	港屋
58		夢二画集「旅の巻」カバー	石版画	1910 (明治43)	38.0×64.0	港屋
59	童 画	五月の夜	石版画	1912 (明治45)	44.0×37.0	港屋
60		花のたよりの文つかひ	石版画	1913 (大正2)	44.0×37.0	港屋
61		お伽噺	オフセット	1915 (大正4)	44.0×37.0	港屋
62		ノンキナトウサン	オフセット	1925 (大正14)	44.0×37.0	港屋
63		ねむの木 口絵	石版画	1916 (大正5)	44.0×37.0	港屋
64		ねむの木 挿絵	亜鉛版	1916 (大正5)	44.0×37.0	港屋
65		カリフの鶴	肉筆 (ペン画)	1928 (昭和3) 頃	48.0×40.0	港屋
66		マーチ	肉筆 (紙本彩色)	昭和初期	56.0×44.0	港屋
67		鳥帰る	肉筆 (鉛筆画)	1913 (大正2)	43.0×35.0	港屋
68		小犬と少年	木版画	1927 (昭和2)	47.0×40.0	港屋
69		新作児童唱歌 I	石版画	1927 (昭和2)	41.0×53.0	港屋
70		新作児童唱歌 II	石版画	1928 (昭和3)	41.0×53.0	港屋
71		パラダイス双六	オフセット	1912 (明治45)	93.0×73.0	港屋
72		家族双六	オフセット	1916 (大正5)	72.0×58.0	港屋
73	肉 筆	あめ	ペン画	1913 (大正2)	43.0×35.0	港屋
74		紅茸の母子	ペン画	1913 (大正2)	43.0×35.0	港屋
75		夏のたそかれ	ペン画	1913 (大正2)	43.0×35.0	港屋
76		納戸の記憶	ペン画	1913 (大正2)	43.0×35.0	港屋
77		江戸見物	ペン画	1913 (大正2)	43.0×35.0	港屋
78		梅花図	扇面彩色	大正初期	45.0×71.0	港屋
79		竹の葉 画賛	紙本墨彩	大正中期	53.0×58.0	港屋
80		小春日の海	紙本彩色	大正初期	180.0×40.0	港屋
81		椿花美人	紙本彩色	大正中期	180.0×40.0	日光美
82		嵐峡晩秋	絹本彩色	大正中期	180.0×50.0	日光美
83		ふるさと	絹本彩色	大正後期	190.0×55.0	日光美
84		町女図 (港や)	絹本彩色	大正後期	120.0×45.0	港屋
85		女形 画賛	紙本彩色	大正中期	180.0×45.0	港屋
86		春の雪	紙本彩色	昭和初期	180.0×50.0	日光美
87		扇子を持つ舞妓	紙本彩色	昭和初期	180.0×45.0	日光美
88		魚の図 画賛	紙本彩色	昭和初期	180.0×40.0	港屋
89		薔薇 画賛	帯に彩色	1926 (大正15) 頃	31.0×189.0	港屋
90		稚き日の記憶	絹本彩色	大正中期	150.0×60.0	日光美
91		柳津風景	紙本彩色	昭和初期	150.0×52.0	港屋
92		花と女	紙本彩色	昭和初期	161.0×57.0	港屋
93	晩 年	三越展覧会ポスター	木版画	1931 (昭和6)	83.0×65.0	港屋
94		橋 スケッチ	鉛筆	1931～32 (昭和6～7)	54.0×47.0	港屋
95		青い目の娘 (昭和6～8年)	復刻木版画	1998 (平成10)	63.0×48.0	港屋
96		見舞い	ペン画	昭和初期	42.0×50.0	港屋
97		榛名山	絹本墨彩	大正後期	55.0×68.0	港屋

No.	種別	作品名	技法等	制作年	外寸 (cm)	所蔵先
◆	小林かいち					
1	(震災はがき)	震災はがき	オフセット・紙	1923 (大正12)	32.0×27.0	港屋
2	(震災はがき)	鐘が鳴る	木版・紙	大正後期～昭和初期	44.5×56.0	伊香保
3	現代的版画抒情絵葉書No.5	嘆きのカード	木版・紙	大正後期～昭和初期	47.0×111.0	伊香保
4	現代的版画抒情絵葉書No.10	街の悲哀	木版・紙	大正後期～昭和初期	47.0×111.0	伊香保
5	現代的版画抒情絵葉書No.12	ゴンドラの思出	木版・紙	大正後期～昭和初期	47.0×111.0	伊香保
6	現代的版画抒情絵葉書No.13	故郷は遠をし	木版・紙	大正後期～昭和初期	44.5×56.0	伊香保
7	現代的版画抒情絵葉書No.14	星は悲しむ	木版・紙	大正後期～昭和初期	47.0×111.0	伊香保
8	現代的版画抒情絵葉書No.15	嘆きの花艸	木版・紙	大正後期～昭和初期	47.0×111.0	伊香保
9	現代的版画抒情絵葉書No.18	踏絵の女	木版・紙	大正後期～昭和初期	47.0×111.0	伊香保
10	現代的版画抒情絵葉書No.16	哀愁の夜	木版・紙	大正後期～昭和初期	44.5×56.0	伊香保
11	現代的版画抒情絵葉書No.20	乙女の世界	木版・紙	大正後期～昭和初期	47.0×111.0	伊香保
12	現代的版画抒情絵葉書No.29	ベツレヘムの星	木版・紙	大正後期～昭和初期	35.0×70.0	伊香保
13	現代的版画抒情絵葉書No.33	影	木版・紙	大正後期～昭和初期	47.0×111.0	伊香保
14	現代的版画抒情絵葉書No.36	カーテンの影に	木版・紙	大正後期～昭和初期	47.0×111.0	伊香保
15	現代的版画抒情絵葉書No.38	君待つ宵	木版・紙	大正後期～昭和初期	45.0×109.0	港屋
16	現代的版画抒情絵葉書No.32	彼女の青春	木版・紙	大正後期～昭和初期	45.0×109.0	港屋
17	現代的版画抒情絵葉書No.37	二號街の女	木版・紙	大正後期～昭和初期	45.0×109.0	港屋
18	現代的版画抒情絵葉書No.31	灰色のカーテン	木版・紙	大正後期～昭和初期	45.0×109.0	港屋
19	版画抒情絵葉書	ある日の舞姫	木版・紙	大正後期～昭和初期	47.0×111.0	伊香保
20	版画抒情絵葉書	祭りの宵	木版・紙	大正後期～昭和初期	47.0×111.0	伊香保
21	版画抒情絵葉書	京の四季 (3点のみ)	木版・紙	大正後期～昭和初期	35.0×51.0	港屋
22	絵封筒	女性 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
23	絵封筒	女性 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
24	絵封筒	宿命の女 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
25	絵封筒	宿命の女 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
26	絵封筒	街燈の女 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
27	絵封筒	街燈の女 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
28	絵封筒	幻想の女 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
29	絵封筒	幻想の女 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
30	絵封筒	幻想の女 3	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
31	絵封筒	教会 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保

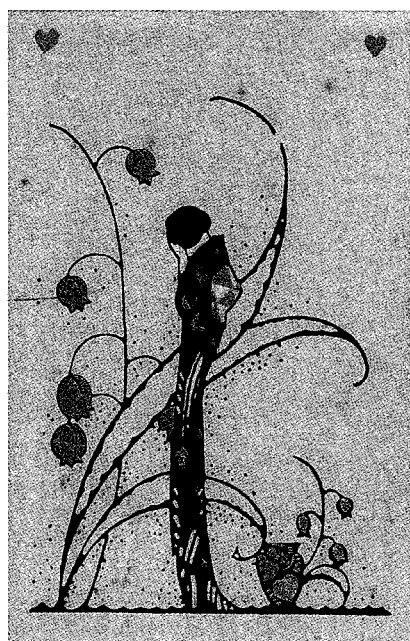


竹久夢二30 竹久夢二『『婦人グラフ』7月号表紙(七夕)』



竹久夢二36 竹久夢二『月光』

No.	種別	作品名	技法等	制作年	外寸 (cm)	所蔵先
32	絵封筒	教会 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
33	絵封筒	教会 3	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
34	絵封筒	教会 4	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
35	絵封筒	ともしび 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
36	絵封筒	ともしび 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
37	絵封筒	蠟燭 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
38	絵封筒	蠟燭 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
39	絵封筒	ランプ 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
40	絵封筒	ランプ 3	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
41	絵封筒	ハート 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
42	絵封筒	ハート 3	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
43	絵封筒	クロスワード	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
44	絵封筒	兵士とチェス	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
45	絵封筒	楽譜 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
46	絵封筒	楽譜 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
47	絵封筒	踊る	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
48	絵封筒	ピエロ	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
49	絵封筒	異国風景	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
50	絵封筒	舟	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
51	絵封筒	人物 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
52	絵封筒	人物 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
53	絵封筒	嘆きの十字架 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
54	絵封筒	嘆きの十字架 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
55	絵封筒	嘆きの十字架 3	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
56	絵封筒	十字架 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
57	絵封筒	十字架 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
58	絵封筒	十字架 3	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
59	絵封筒	蜘蛛の巣 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
60	絵封筒	蜘蛛の巣 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
61	絵封筒	蜘蛛の巣 3	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
62	絵封筒	蝶	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
63	絵封筒	花の図案 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保



小林かいち 8 小林かいち「嘆きの花艸」



小林かいち80 小林かいち「絵封筒 教会」

No.	種別	作品名	技法等	制作年	外寸 (cm)	所蔵先
64	絵封筒	花の図案 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
65	絵封筒	花の図案 4	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
66	絵封筒	鈴蘭 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
67	絵封筒	鈴蘭 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
68	絵封筒	鈴蘭 3	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
69	絵封筒	薔薇 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
70	絵封筒	薔薇 3	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
71	絵封筒	薔薇 5	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
72	絵封筒	椿	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
73	絵封筒	京都 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
74	絵封筒	京都 3	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
資料						
75	現代的版画抒情絵葉書No.26	若かき日の悲しみ	木版・紙	大正後期～昭和初期	袋 19.0×10.0 4組 各14.0×9.0	伊香保
76	現代的版画抒情絵葉書No.30	感謝の夕べ	木版・紙	大正後期～昭和初期	4組 各14.0×9.0	伊香保
77	現代的版画抒情絵葉書No.34	旅愁	木版・紙	大正後期～昭和初期	袋 19.0×10.0 4組 各14.0×9.0	伊香保
78	現代的版画抒情絵葉書No.35	涙	木版・紙	大正後期～昭和初期	袋 19.0×10.0 4組 各14.0×9.0	伊香保
79		さくら井屋グッズ 一式	雑貨類	大正後期～昭和初期		港屋
80	絵封筒	教会	木版・紙	大正後期～昭和初期	15.5×6.5	港屋
81	絵封筒	青い鳥	木版・紙	大正後期～昭和初期	15.5×6.5	港屋
82	絵封筒	柳に提灯	木版・紙	大正後期～昭和初期	15.5×6.5	港屋
83	絵封筒	舞妓	木版・紙	大正後期～昭和初期	15.5×6.5	港屋
84		戸／谷崎潤一郎・著	書籍	1947 (昭和22)・第三版	21.5×16.0	港屋
85	絵封筒	ハート 2	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保
86	絵封筒	トランプ 1	木版・紙	大正後期～昭和初期	43.0×55.0	伊香保

* 寸法は縦×横。

* 絵封筒はすべて仮タイトル。

* 所蔵先の「日光美」は日光竹久夢二美術館（休館中）を指す。「伊香保」は伊香保 保科美術館を指す。

銀の匙 Silver Spoon 展

会期＝2022(令和4)年9月17日(土)～12月4日(日)
69日間

主催＝銀の匙展帯広実行委員会（北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、十勝毎日新聞社、NPO 十勝文化会議）、朝日新聞社、MBS

特別協力＝小学館

観覧料＝一般1,300(1,000)円、高大生800(600)円、中学生以下無料

＊十勝管内の高校生は無料。受付時に生徒手帳を提示。

＊()は10名以上の団体、前売り、リピーター、相互割引料金。

＊リピーター割引は、当館または他の道立美術館・芸術館で開催された特別展の半券のご提示により、特別展のチケット1枚が割引。

＊相互割引は、神田日勝記念美術館のチケットの半券のご提示により、団体割引の料金(1枚につき1名様1回限り有効)。

＊高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料。

＊優待割引券持参の際は、一般1,200円、高大生750円。

＊コレクション・ギャラリーとの共通料金：

一般1,410(1,210)円、高大生860(710)円。

()は10名以上の団体の割引料金。



ポスター

関連事業

キッズ・ツアー

日時＝9月24日(土) 14時～14時半

会場＝当館主展示室

講師＝耳塚里沙(当館学芸員)

とかち農祭

日時＝10月15日(土)、10月16日(日) 10時～12時半

会場＝当館前広場

協力＝帯広農業高等学校

ぬりえの日

日時＝9月23日(金・祝)、11月3日(木・祝)、11月23日(木・祝)

いずれも9時半～17時

会場＝当館講堂(参加無料)

ちょこっと解説

日時＝9月17日(土)、10月1日(土)、11月12日(土)、11月12日(土)

いずれも14時～14時半

会場＝当館講堂(聴講無料)

講師＝齊藤千鶴子(当館学芸課長)



会場風景

食育講演会 酪農と牛乳について学ぼう

日時＝10月8日(土) 10時半～、14時～

会場＝帯広市児童会館（参加無料）

講師＝浅野達彦氏（酪農家、全乳プロジェクト代表）

酪農家 浅野達彦さんと話そう！

日時＝10月9日(日) 9時半～12時半

会場＝当館ロビー

講師＝浅野達彦氏（酪農家、全乳プロジェクト代表）

“農”撮（ノーサツ）！！

日時＝9月17日(土)～11月25日(土)

会場＝当館ロビー

関連記事

近藤周「銀の匙展17日開幕 帯広美術館 原作の世界再現」十勝毎日新聞／9月14日(火)

佐藤太紀「こどもしんぶん 「銀の匙」十勝に凱旋」十勝毎日新聞／9月14日(火)

「銀の匙展 見どころ紹介 学芸課長・齊藤千鶴子さんに聞きました」十勝毎日新聞／9月15日(水)

近藤周「「銀の匙」の世界観表現 帯広美術館 あす開幕へ設営進む」十勝毎日新聞／9月16日(金)

近藤周「原画200点や限定展示 「銀の匙」追体験 帯広美術館で開幕」十勝毎日新聞／9月17日(土)

近藤周「漫画の世界観堪能 初日からファン続々」十勝毎日新聞／9月18日(日)

古谷育世「「銀の匙」原画200点並ぶ」北海道新聞／9月18日(日)

「「銀の匙」原画展 作者地元で開始」朝日新聞／9月20日(火)
舟越洋二「こどもしんぶん 漫画作りの裏側に迫る」十勝毎日新聞／10月5日(火)

「競馬場で8日から「銀の匙」イベント」十勝毎日新聞／10月6日(水)

近藤周「酪農現場 会場で発信 漫画寄贈活動の浅野さん」十勝毎日新聞／10月13日(水)

近藤周「帯農生が生産した野菜や食品を販売」十勝毎日新聞／10月14日(金)

近藤周「帯農高 展示盛り上げ 生産物や加工品販売」十勝毎日新聞／10月15日(土)

松村知裕「荒川弘さん（幕別出身）漫画」十勝毎日新聞／10月27日(木)

石川彩乃「児童ら芸術の秋体感」十勝毎日新聞／10月28日(金)

古谷育世「最新技術を使った家畜管理を紹介」北海道新聞／11月6日(日)

近藤周「「命をいただく」食肉のリアル」十勝毎日新聞／11月11日(金)

近藤周「卒業の表情、自身に重ね合わせ」十勝毎日新聞／11月12日(土)

近藤周「価値観変わった「自産自消」」十勝毎日新聞／11月14日(月)

近藤周「ストレートな思いにきゅんと」十勝毎日新聞／11月15日(火)

長瀬聡美「農業学びの場感じて 齊藤課長が音更で解説」十勝毎日新聞／11月15日(火)

近藤周「細部まで丁寧、日本文化感じる」十勝毎日新聞／11月16日(水)

近藤周「細部までこだわり、見て楽しんで」十勝毎日新聞／11月17日(木)

山田夏航「銀の匙展 来場1万人」十勝毎日新聞／11月17日(木)

近藤周「帯農ジャムが復活」十勝毎日新聞／11月25日(金)

近藤周「農高生の青春 もう一度 閉幕まで1週間」十勝毎日新聞／11月26日(土)

近藤周「帯農生の「リアル」聞く 上」十勝毎日新聞／11月29日(火)

近藤周「帯農生の「リアル」聞く 下」十勝毎日新聞／11月29日(火)

近藤周「銀の匙展 来場1万5000人」十勝毎日新聞／12月2日(金)

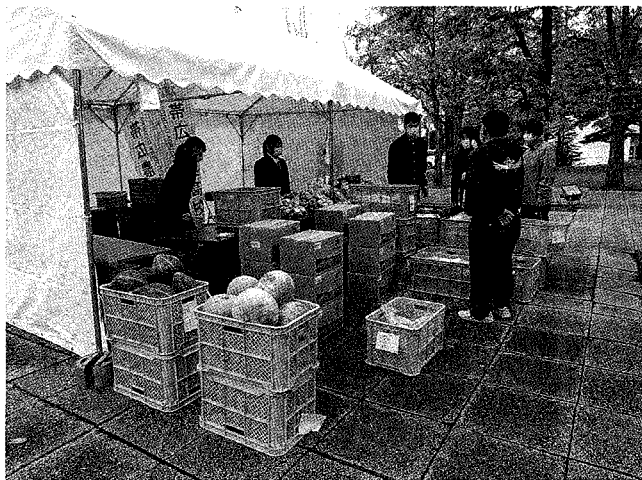
近藤周「銀の匙展 あす閉幕」十勝毎日新聞／12月3日(土)

近藤周「銀の匙展が閉幕 来場は1.6万人」十勝毎日新聞／12月5日(月)

近藤周「銀匙展農具 帯農高に寄贈 帯広美術館 作者荒川さんの提案で」十勝毎日新聞／12月14日(水)



会場風景



とかち農祭

北海道の大蝦夷農業高校（エゾノー）を舞台にした漫画「銀の匙 Silver Spoon」（以下、銀匙）は、2011年に『週刊少年サンデー』で連載を開始。2度のアニメ化や実写映画化などを経て2019年に完結。本展は連載開始10周年記念の本格的な原画展で、約200点の直筆原稿やカラー原画、初公開の制作資料を紹介。各地を巡回後、帯広でファイナルを迎えた。

作者の荒川弘氏は『鋼の錬金術師』や『百姓貴族』などで知られる人気漫画家。自身も農業高校に通い、漫画家デビューするまでは北海道にある実家で酪農や農業に携わっていた。荒川氏だからこそ描き出せる酪農や農業のリアルな現実によって、都会育ちの主人公・八軒勇吾くんが仲間とともに汗と涙を流しながら成長する物語は、楽しくも骨太な世界観があり、高校生はもちろん、世代を超えたファンを獲得した。実際に、「銀匙」を読んで酪農や農業に興味を持ち、農業を学べる学校に進んだという来館者の声もあった。

関連事業としては帯広農業高等学校の生徒が育てた農産物や加工食品を販売した「とかち農祭」が好評で連日行列ができた。また、全国の小中学校に「銀匙」を届ける「全匙プロジェクト」を立ち上げ、すでに道内約300校に寄贈するなど「銀匙」の波及に一役買っている酪農家の浅野達彦氏（釧路市在住）を迎え

て、食育の関連事業も開催した。ほかに、漫画の原画をもとにした「ぬりえ」を楽しめる「ぬりえの日」や、農業のある風景を撮影して応募してもらい、スライドショーで紹介する「“農”撮（ノーサツ）!!」を開催した。

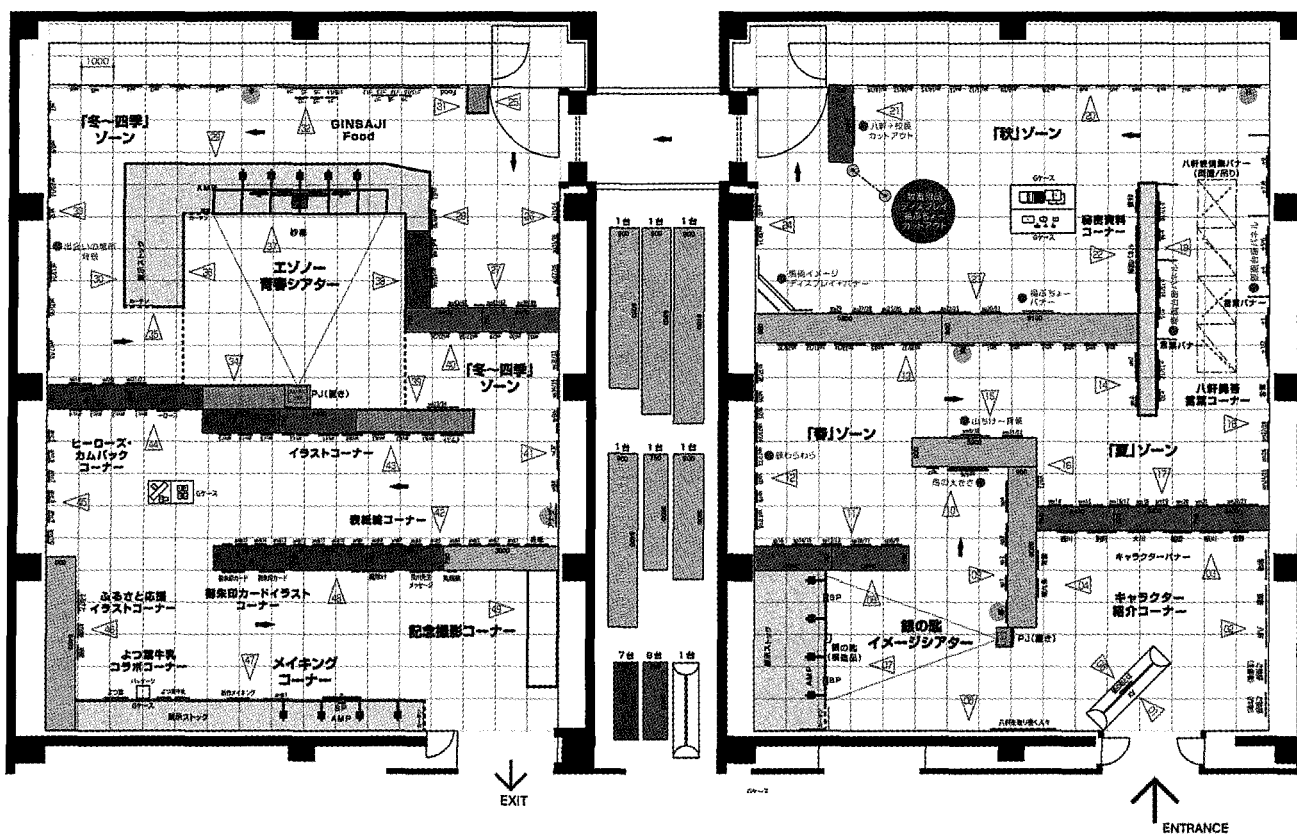
帯広は、依田勉三を中心とする晩成社が1883（明治16）年に入植したことに始まる、十勝地域の開拓発祥の地であり、2022年は帯広市開拓140年にあたる。農業を取り巻く情勢は大きく変化してきているが、「銀の匙 Silver Spoon」の舞台となった北海道の農業の“今”について参照いただきたく、とくに十勝地域の農業に関わる最新データを抽出してまとめ、ロビーにおいて「予習・復習。とかちの農業」をパネル展示した。十勝地域にある農業を学べる高等学校や大学を「農業の学び舎：ご近所編」として紹介。授業に使用する資料などを北海道帯広農業高等学校から拝借して展示したほか、次世代の農業に携わることが期待される生徒・学生みなさんに、学校生活や将来の夢などについてアンケートを行い、寄せられた回答をすべてパネルに掲載した。さらに、農業機械関係者や農家の方々のご協力により、トラクターと牧草ロールを中庭に展示し、ふだんは入ることができない中庭を解放して記念撮影できる日をもうけた。来場者数は、16,373人。



キッズ・ツアー



浅野さんと話そう



展示図面



中庭にトラクター



秋。

・くつした de アニマル・キングダム

日時＝1月28日(土) 午前10時～12時、午後2時～4時

会場＝当館ロビー（参加無料）

・ミュージアム・ツアー

案内＝当館学芸員

日時＝1月28日(土) 午後2時～3時

会場＝当館主展示室ほか（要観覧券）

・ワークショップ『鉄たたけます。』

講師＝藤沢レオ氏（彫刻家・金属工芸家）

日時＝1月29日(日) 午後1時～1時30分、1時30分～2時、
2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分、
3時30分～4時

会場＝当館前広場・講堂（参加無料、定員各回6名）

対象＝4歳以上。小学校3年生以下の場合は保護者同伴。

キッズ・ツアー

案内＝耳塚里沙（当館学芸員）

日時＝2月4日(土) 午後2時～2時30分

会場＝当館主展示室（要観覧券）

キッズ・ミュージアム「ひなまつりガーランド」

日時＝2月25日(土) 午後1時30分～3時30分（受付は3時まで）

会場＝当館講堂（託児無料）

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

関連記事

近藤周「北見の版画2作家紹介」十勝毎日新聞／12月15日(木)

山田夏航「『北見の美術』いも版で」十勝毎日新聞／12月17日
(土)

鈴木宇星「オホーツクゆかりの版画、絵画」北海道新聞／12月
19日(月)

蘭部容子「丘の上のミュージアム 木版、活版、紙版、銅版、
プリントゴッコ… 無限に広がる版画の世界」勝毎電子版ジャー
ナル／1月13日(金)

蘭部容子「おびひろミュージアム通信99 北見の二人の版画家
家」釧路新聞／1月16日(月)

大河原桜「とちちフォトギャラリー オホーツクの姿よりどり」
北海道新聞（帯広・十勝版）／2月2日(木)

蘭部容子「北見の美術アラカルト 1～5」十勝毎日新聞／2
月7日(火)、8日(水)、9日(木)、13日(月)、14日(火)

北見市は北海道東部オホーツク圏最大の中核都市で、網走と
並んでこの地域の文化の中心でもある。美術においては大正末
から昭和初期頃の「凍原社」「野付牛美術協会」に始まり、戦
前戦後に多くの出品者が集った「凍影社」、さらに戦後は多く
のグループ展や個展が開催されてきた。

本展では北網圏北見文化センターの所蔵品により、北見で活
動した作家を中心に北見ゆかりの美術を紹介した。昭和前期の
重厚な風景画や、創作版画運動の流れに連なる戦後の版画作品、
抽象的あるいは前衛的平面作品など。中でも北見の二人の版画家
に焦点を当てた。

香川軍男（1915～2002）はジャガイモを版に用いた「いも版」
により、北の魚やストーブ、建物など北海道の風物を素朴に味
わい深く表現した版画家。景川弘道（1914～2008）は主に木版
によって、国内外の風景を平明に活写しただけでなく、いとけ
ない子どもの姿を愛情を込めて彫った。これら二人の版画家と、
彼らを育み彼らに育まれた北見の美術を展覧した。

会期中は所蔵館の北網圏北見文化センター学芸員によるトー
クや版画ワークショップを開催し、1,834人の入場者を迎えた。



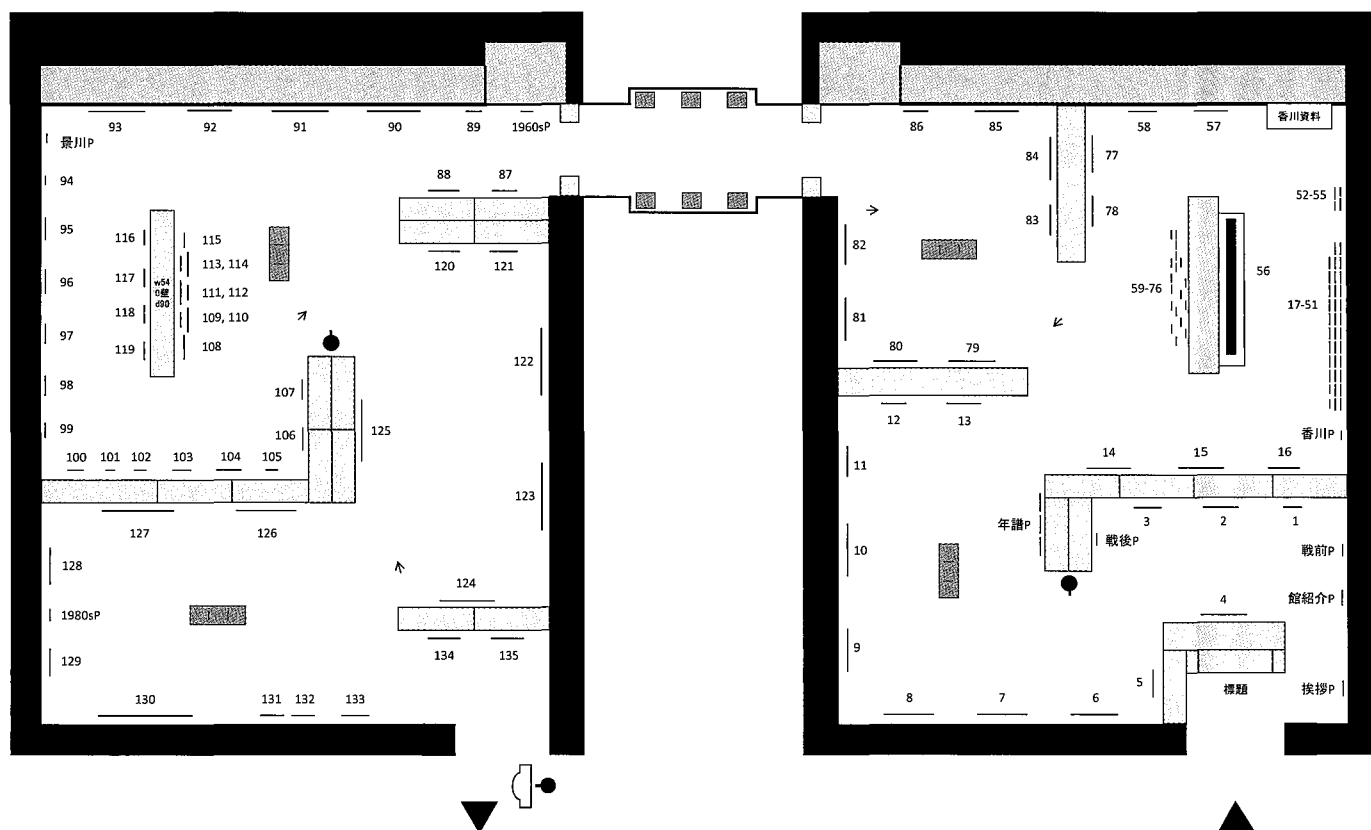
会場風景



会場風景

出品目録

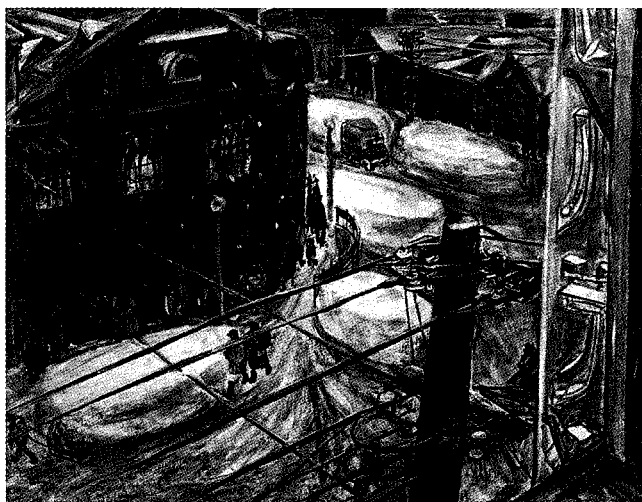
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	高橋俊雄	ばら	1931 (昭和6)	油彩・キャンバス	38.0×45.5
2		層雲峡	1958 (昭和33)	油彩・板	145.5×89.4
3		川東風景	1951 (昭和26)	油彩・板	60.6×72.8
4	鷺見憲治	雪の街角	1955 (昭和30)	油彩・キャンバス	90.9×116.7
5		耐火壁のある廊下	1952 (昭和27)	油彩・キャンバス	91.0×72.8
6		変電所と冬の果樹園	1953 (昭和28)	油彩・キャンバス	112.1×145.5
7		山麓に春	2009 (平成21)	油彩・キャンバス	110.5×143.5
8		北上の里	1985 (昭和60)	油彩・キャンバス	97.0×130.3
9		春氷のオホーツク	1973 (昭和48)	油彩・キャンバス	112.1×162.1
10		雪おろし	1985 (昭和60)	油彩・キャンバス	112.1×162.1
11	岡村芳男	水辺	1940 (昭和15)	油彩・キャンバス	130.3×97.0
12		夜汽車を待つ	1946 (昭和21)	油彩・キャンバス	65.2×53.0
13		逃げる馬	1958 (昭和33)	油彩・キャンバス	162.1×112.1
14		北見の丘	1972 (昭和47)	油彩・キャンバス	112.1×145.5
15		北見チミケプト湖	1993 (平成5)	油彩・キャンバス	97.0×130.3
16	中村善策	北見	1951 (昭和26)	油彩・キャンバス	116.7×90.9
17	香川軍男	年賀はがき	1964 (昭和39)	いも版、手彩色・はがき	10.0×14.8
18		年賀はがき	1966 (昭和41)	いも版、手彩色・はがき	10.0×14.8
19		年賀はがき	1967 (昭和42)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
20		年賀はがき	1968 (昭和43)	いも版、手彩色・はがき	10.0×14.8
21		年賀はがき	1969 (昭和44)	いも版、手彩色・はがき	10.0×14.8
22		年賀はがき	1970 (昭和45)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
23		年賀はがき	1971 (昭和46)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
24		年賀はがき	1972 (昭和47)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
25		年賀はがき	1973 (昭和48)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
26		年賀はがき	1974 (昭和49)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0



展示図面

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
27		年賀はがき	1975 (昭和50)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
28		年賀はがき	1976 (昭和51)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
29		年賀はがき	1977 (昭和52)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
30		年賀はがき	1978 (昭和53)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
31		年賀はがき	1979 (昭和54)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
32		年賀はがき	1980 (昭和55)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
33		年賀はがき	1981 (昭和56)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
34		年賀はがき	1982 (昭和57)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
35		年賀はがき	1983 (昭和58)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
36		年賀はがき	1984 (昭和59)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
37		年賀はがき	1985 (昭和60)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
38		年賀はがき	1986 (昭和61)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
39		年賀はがき	1987 (昭和62)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
40		年賀はがき	1989 (昭和64)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
41		年賀はがき	1990 (平成2)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
42		年賀はがき	1991 (平成3)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
43		年賀はがき	1992 (平成4)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
44		年賀はがき	1993 (平成5)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
45		年賀はがき	1994 (平成6)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
46		年賀はがき	1995 (平成7)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
47		年賀はがき	1996 (平成8)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
48		年賀はがき	1997 (平成9)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
49		年賀はがき	1998 (平成10)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
50		年賀はがき	1999 (平成11)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
51		年賀はがき	2000 (平成12)	いも版、手彩色・はがき	14.8×10.0
52		いも版ひかえ	1991 (平成3)	いも版・紙	9.5×11.5
53		いも版ひかえ	1983 (昭和58)	いも版、手彩色・紙	15.0×10.0
54		いも版ひかえ	1988 (昭和63)	いも版、手彩色・紙	15.0×10.6
55		いも版ひかえ	1986 (昭和61)	いも版、手彩色・紙	10.0×14.7
56		北海道誌	1993 (平成5)	いも版画帖 (29点組)	24.2×18.2×0.9
資料		続北海道誌 傘寿記念篇	1995 (平成7)	絵葉書セット	—
資料		北海道誌 傘寿記念篇	1995 (平成7)	絵葉書セット	—
資料		薯版 AINU 帖	1972 (昭和47)	いも版作品集	—
資料		薯版 北見昔々	1982 (昭和57)	いも版作品集	—
資料		香川軍男 作品集	制作年不詳	紙ファイル	—
資料		菓子包装紙	制作年不詳	紙	—
57		屯田兵屋	1944 (昭和19)	油彩・キャンバス	60.6×91.0
58		紅緑雲崗仏試作	1946 (昭和21)	油彩・キャンバス	91.0×72.8
59		北の魚 1 (イカ)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
60		北の魚 16 (オヒョウ)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
61		北の魚 6 (サケ)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
62		北の魚 5 (おおなご)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
63		北の魚 12 (こがねかれい)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
64		北の魚 8 (サケ)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
65		北の魚 4 (そこだら)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
66		北の魚 10 (ケガニ)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
67		北の魚 7 (めぬけ)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
68		北の魚 9 (スケトウ)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
69		北の魚 14 (カレイ)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
70		北の魚 11 (ホッケ)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
71		北の魚 15 (トラバガニ)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
72		北の魚 3 (トラ)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
73		北の魚 18 (ハタハタ)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
74		北の魚 13 (キチジ)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
75		北の魚 17 (ホッコクアカエビ)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2
76		北の魚 2 (ババガレイ)	1975 (昭和50)	いも版・紙	14.6×10.2

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
77	菅原隆治	北見の初秋	1949 (昭和24)	油彩・キャンバス	80.3×116.7
78		氷採る人	1951 (昭和26)	油彩・板	145.5×89.4
79	岡崎公輔	太平洋炭鉱夕暮	1954 (昭和29)	油彩・キャンバス	97.0×130.3
80		北見駅構内冬景	1981 (昭和56)	油彩・キャンバス	97.0×130.3
81		雪の日の牛舎	2001 (平成13)	油彩・キャンバス	97.0×130.3
82		根雪近し 2	1999 (平成11)	油彩・キャンバス	90.9×116.7
83		地吹雪きの日	1996 (平成 8)	油彩・キャンバス	72.8×91.0
84	松田陽一郎	田植えの終わる頃	1987 (昭和62)	水彩・紙	97.0×130.3
85		晩秋暮色	1991 (平成 3)	油彩・紙	97.0×130.0
86		雪融けの常呂川	制作年不詳	水彩・紙	36.5×54.0
87		秋の野付牛	1993 (平成 5)	水彩・紙	54.0×73.0
88		冬の野付牛	1994 (平成 6)	水彩・紙	72.0×100.0
89	勝谷明男	薫製の魚	1964-65 (昭和39-40) 頃	油彩・キャンバス	32.0×41.0
90		冬の疎林	1993 (平成 5)	油彩・キャンバス	130.3×162.1
91		雪道	2002 (平成14)	油彩・キャンバス	130.3×162.1
92		新雪の団地	1985 (昭和60)	油彩・キャンバス	162.1×130.3
93		北国の春	1988 (昭和63)	油彩・キャンバス	130.3×162.1
94	景川弘道	電々公社の見えるところ	1972 (昭和47)	木版・紙	24.0×17.0
95		小町川春の土堤	1979 (昭和54)	木版・紙	35.0×50.0
96		竜宮街道	1980 (昭和55)	木版・紙	46.0×59.0
97		能取岬	1988 (昭和63)	木版・紙	31.2×42.3
98		廃屋	1988 (昭和63)	木版・紙	33.0×44.0
99		坐る女	1989 (平成元)	板目凹版・紙	45.0×36.0
100		鯉のぼり	1988 (昭和63)	木版・紙	34.0×26.0
101		(散髪してもらう子ども)	制作年不詳	木版・紙	27.3×19.8
102		食べさせる	1980 (昭和55)	木版・紙	31.0×22.0
103		ベニスの大運河	1984 (昭和59)	木版・紙	59.0×40.6
104		サクレクールの見えるところ	1984 (昭和59)	木版・紙	90.0×60.0
105		モンスター村の寺	1979 (昭和54)	木版・紙	34.0×24.0
106		塘路湖	1988 (昭和63)	木版・紙	44.0×60.0
107		相内風景	1989 (平成元)	木版・紙	31.3×42.4
108		あさがお	1988 (昭和63)	木版・紙	88.6×56.3



4 鷺見憲治「雪の街角」



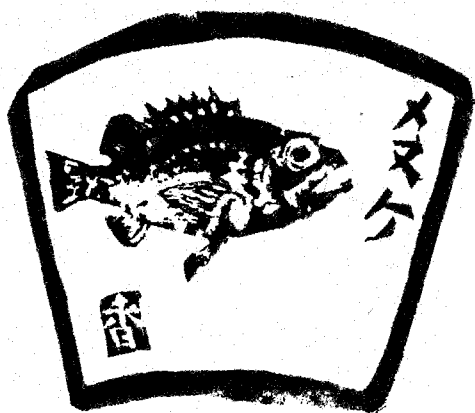
16 中村善策「北見」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
109		馬と風船と子ども	制作年不詳	木版・紙	27.2×20.0
110		花と子ども	1987 (昭和62)	木版・紙	44.8×58.1
111		ワッカ	1988 (昭和63)	木版・紙	33.4×48.8
112		牛乳を飲む千亜子	制作年不詳	木版・紙	27.1×19.9
113		(ストーブと子どもとねこ)	制作年不詳	木版・紙	27.5×19.6
114		釧路湿原	1985 (昭和60)	木版・紙	32.8×44.8
115		腹這いになり絵を描く子ども	制作年不詳	木版・紙	27.5×19.5
116		えりも岬	1984 (昭和59)	木版・紙	21.0×30.0
117		濤沸湖の見える風景	1985 (昭和60)	木版・紙	31.0×42.8
118		屈斜路湖の春	1988 (昭和63)	木版・紙	29.0×33.0
119		雌阿寒岳	1985 (昭和60)	木版・紙	34.0×47.0
120	伊藤彰規	地宴	1981 (昭和56)	アクリル絵具、岩絵具・紙	54.0×83.0
121		棲	1981 (昭和56)	アクリル絵具、岩絵具・紙	72.7×91.0
122		彼の故郷へー93-1	1993 (平成5)	アクリル絵具・パネル	181.8×220.0
123		Passage	2005 (平成17)	アクリル絵具・パネル	182.0×227.0
124		to the north-1	1996 (平成8)	アクリル絵具、水性ペイント・紙	130.3×162.0
125	舟山美智子	明後日 (Ⅱ)	1995 (平成7)	油彩・キャンバス	194.0×194.0
126		近未来 (Ⅲ)	2001 (平成13)	油彩・キャンバス	194.0×194.0
127	太田道子	星の温室	2001 (平成13)	岩絵具・麻紙	181.8×227.3
128		温室の冬	1996 (平成8)	岩絵具、箔・麻紙	117.0×117.0
129	林 弘堯	意識された自然	1987 (昭和62)	アクリルラッカー・板	180.0×90.9
130		封印シリーズ	1996 (平成8)	アクリルラッカー・ステンレス	272.0×297.5×6.5
131	田丸 忠	壘 1	1980 (昭和55)	シルクスクリーン・紙	103.0×73.0
132		壘 2	1980 (昭和55)	シルクスクリーン・紙	103.0×73.0
133		遅日-2	1991 (平成3)	シルクスクリーン・紙	39.0×60.0
134		反復 99/2a	1999 (平成11)	シルクスクリーン・紙	72.8×103.0
135		反復 99/3a	1999 (平成11)	シルクスクリーン・紙	72.8×103.0

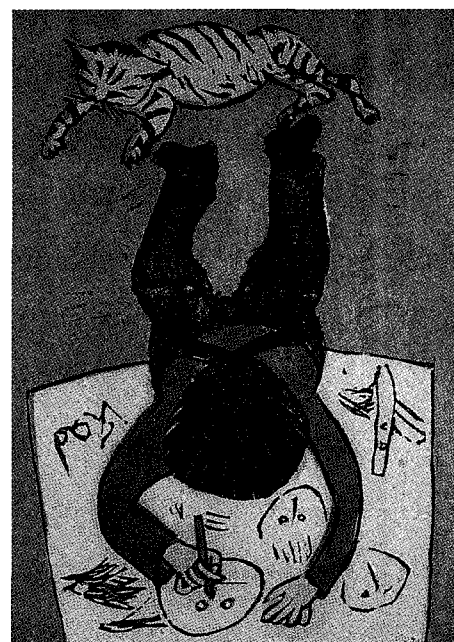
* 所蔵先はすべて、北網圏北見文化センター蔵。

* 寸法は縦×横、または縦×横×厚さ。

* Nos. 101、113は作品名不詳のため、() 内に通称を入れた。



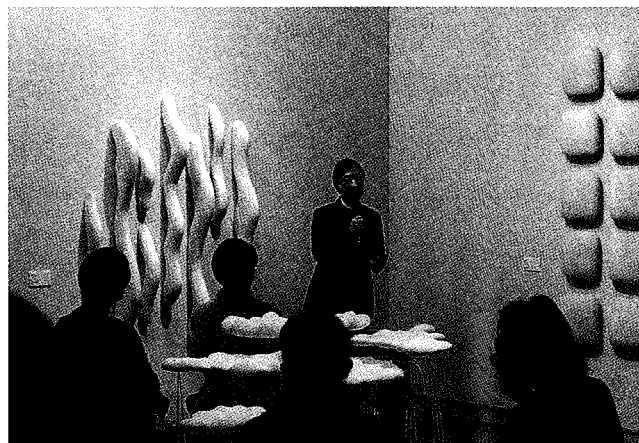
67 香川軍男「北の魚 7 (めぬけ)」



115 景川弘道「腹這いになり絵を描く子ども」

美術講演会／アーティスト・トーク等

各分野の専門家を招いての講演会や、展覧会出品作家の方を
迎えてのトーク等を開催した。



アーティスト・トーク 上野秀実氏

2021（令和3）年度

開催日時	内容・演題	講師	関連展覧会	会場	聴講者数
6月19日(出)	手島圭三郎 アーティスト・トーク	手島圭三郎氏（展覧会出品作家）	手島圭三郎 絵本原画展	当館講堂	緊急事態宣言の発出を受け、延期の上中止
7月24日(出) 午後2時～	美術講演会 「予言者カッサンドルの秘密一謎の 人生とモダン・デザインの出生」	岡部昌幸氏（帝京大学教授、 群馬県立近代美術館特別館長）	カッサンドル・ポスター展	当館講堂	24人
9月8日(休) 午後2時～	プレミアム鑑賞会	中谷有逸氏 （美術家、帯広美術館振興会会員）	カッサンドル・ポスター展	当館講堂、 主展示室	9人
9月23日(休祝) 午後2時～	カッサンドル・カフェ	蘭部容子（当館主任学芸員）、 石黒千栄子（当館副館長）	カッサンドル・ポスター展	当館主展示室、 中庭	緊急事態宣言の発出を受け、中止
11月6日(出) 午後1時～	開館30周年記念美術講演会 「何が私をそうさせた。30年目の告白— 帯広美術館、誕生物語。」	寺嶋弘道氏 （有島記念館館長、当館初代学芸課長）		当館講堂	25人
1月15日(出) 午後2時～	アーティスト・トーク	岡田敦氏、篠田亜希子氏 （展覧会出品作家）	道東アートファイル2022+道東新世代	当館主展示室	44人
1月23日(出) 午後2時～	アーティスト・トーク	古川博己氏、南澤美紀子氏 （展覧会出品作家）	道東アートファイル2022+道東新世代	当館主展示室	28人
2月19日(出) 午後2時～	アーティスト・トーク	磯 優子氏、上野秀実氏 （展覧会出品作家）	道東アートファイル2022+道東新世代	当館主展示室	40人
2月20日(出) 午後2時～	アーティスト・トーク	佐藤真康氏、中村花絵氏 （展覧会出品作家）	道東アートファイル2022+道東新世代	当館主展示室	24人

2022（令和4）年度

開催日時	内容・演題	講師	関連展覧会	会場	聴講者数
7月9日(出) 午後2時～	美術講演会「小林かいちと抒情画の系譜」	永山多貴子氏（郡山市立美術館学芸員）	竹久夢二 小林かいち	当館講堂	20人
7月10日(出) 午前10時～	講演会「版に魅せられて」	荒井善則氏（現代美術家）	新収蔵品展 荒井善則作 品と荒井コレクション	当館講堂	13人
10月8日(出) 午前10時30分～、 午後2時～	講演会「牛飼いと学ぶ 牛の身体や牛乳につ いて知ろう！」	浅野達彦氏 （酪農家、全乳プロジェクト代表）	銀の匙 Silver Spoon 展	帯広市児童会館 実験室	22人
11月5日(出) 午前10時～	講演会「家畜管理学とは？—最新技術と家畜 が出会う場所」	齊藤朋子氏 （株式会社 AIRSTAGE・社員）		当館講堂	9人
11月5日(出) 午後2時～	講演会「空と宙とその間」	中島克仁氏（りくべつ宇宙地球科学館 （銀河の森天文台）・職員）	そら	当館講堂	6人

特別展セミナー

当館学芸員が、展覧会に関連したテーマを設け、出品作品を取り上げながら展覧会の見どころを紹介した。

時間＝午後２時～

会場＝当館講堂（聴講無料）

2021（令和３）年度

開催日	内容・演題	講師	関連展覧会	聴講者数
４月24日(土)*	特別展セミナー	福地大輔（当館学芸課長）	手島圭三郎 絵本原画展	12人
7月17日(土)*	カッサンドル作品の変遷と生涯	蘭部容子（当館主任学芸員）	カッサンドル・ポスター展	8人
12月4日(土)	水木しげる作品の魅力	耳塚里沙（当館学芸員）	水木しげる 魂の漫画展	22人

*緊急事態宣言の発出を受け、2回予定のうち1回のみ実施。

2022（令和４）年度

開催日	内容・演題	講師	関連展覧会	聴講者数
12月18日(日)	香川軍男と景川弘道	蘭部容子（当館主任学芸員）	香川軍男・景川弘道と北見の美術	16人

ギャラリー・ツアー

当館学芸員や関連講師が、展示室をめぐりながら出品作品を解説し、展覧会の見どころを案内した。

2021（令和３）年度

開催日時	内容	講師	関連展覧会	会場	参加者数
10月9日(土) ①午前10時30分～ ②午後2時～	ギャラリー・トーク	原口尚子氏（水木しげる長女）	水木しげる 魂の漫画展	当館主展示室	①15人 ②14人
2月12日(土)、2月26日(土) 午後2時～	ギャラリー・ツアー	蘭部容子（当館主任学芸員）	道東アートファイル2022+道東新世代	当館主展示室	9人

2022（令和４）年度

開催日	内容	講師	関連展覧会	会場	参加者数
4月16日(土)、5月28日(土) 午後2時～	ギャラリー・ツアー	耳塚里沙（当館学芸員）	アートの中の風景	当館主展示室	27人
7月10日(日) 11時30分～12時	ギャラリー・トーク	荒井善則氏（現代美術家）	新収蔵品展 荒井善則作品と荒井コレクション	当館コレクション・ ギャラリー	16人
7月23日(土)、8月20日(土) 午後2時～	ギャラリー・ツアー	蘭部容子（当館主任学芸員）	竹久夢二 小林かいち	当館主展示室	16人
12月17日(土)	オープニング・トーク	松浦葵氏 （北網園北見文化センター学芸員）	香川軍男・景川弘道と北見の美術	当館主展示室	22人

トーク&レクチャー

当館学芸員や外部講師による2日間連続制の講座。展覧会関係者のトークと学芸員のレクチャーを組み合わせ、開催中の展覧会に関連する内容について多角的かつ体系的に知識を深める機会とした。なお、本事業は北海道教育委員会、北海道立生涯学習推進センターが主催する道民カレッジの連携講座としても実施した。

2021（令和3）年度

トーク&レクチャー 「道東アート・ファイリング」

時間＝午後2時～3時

会場＝主展示室、当館講堂



アーティスト・トーク 佐藤真康氏

開催日	内容	講師	関連展覧会	参加者数
1月15日(土)	アーティスト・トーク	岡田敦氏、篠田亜希子氏（展覧会出品作家）	道東アートファイル2022+道東新世代	44人
1月23日(日)	アーティスト・トーク	古川博己氏、南澤美紀子氏（展覧会出品作家）	道東アートファイル2022+道東新世代	28人
2月19日(土)	アーティスト・トーク	磯優子氏、上野秀実氏（展覧会出品作家）	道東アートファイル2022+道東新世代	40人
2月20日(日)	アーティスト・トーク	佐藤真康氏、中村花絵氏（展覧会出品作家）	道東アートファイル2022+道東新世代	24人
1月22日(土)	レクチャー	藺部容子（当館主任学芸員）	道東アートファイル2022+道東新世代	6人

2022（令和4）年度

トーク&レクチャー

会場＝当館主展示室、当館講堂

開催日時	内容	講師	関連展覧会	参加者数
12月17日(土) 午前10時～10時40分	オープニング・トーク	松浦葵氏（北網園北見文化センター学芸員）	香川軍男・景川弘道と北見の美術	22人
12月18日(日) 午後2時～3時*	香川軍男と景川弘道	藺部容子（当館主任学芸員）	香川軍男・景川弘道と北見の美術	16人

*特別展セミナーとしても実施。

ミュージアム・ミステリー

コレクション・ギャラリーの関連事業として、小学1～6年生を対象に、美術に親しんでもらうためのワークショッププログラムを実施。自ら感じ、考えながら作品とふれあう創造的な鑑賞姿勢を導き出すべく企画した。

2021（令和3）年度

ミュージアム・ミステリー2021オータム いったい？りったい！何なんだい？

日 時＝10月23日(土) 午前10時～12時

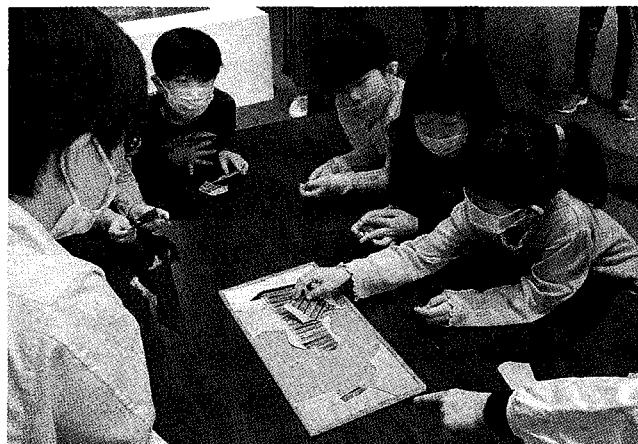
会 場＝当館コレクション・ギャラリー、講堂

参加者＝小学生 計11人

関連展覧会＝コレクション・セレクション～立体～

内 容

コレクション・ギャラリーで出品作品のパズルを参加者皆で協力して完成させた後、担当学芸員による解説を交えながら展示を鑑賞。講堂に移動して、ワイヤーとモール、ウレタンを使って立体作品を制作した。



「いったい？りったい！何なんだい？」

2022（令和4）年度

ミュージアム・ミステリー2022サマー あっち こっち カタチ

日 時＝7月16日(土) 午前10時～12時

会 場＝当館コレクション・ギャラリー、講堂

参加者＝小学生 計8人

関連展覧会＝新収蔵品展 荒井善則作品と荒井コレクション

内 容

コレクション・ギャラリーで、展示作品に注目してもらうために作品の部分探しゲームを行い、その後展示について解説しながら鑑賞した。講堂に移動して画用紙に折り紙等を切り貼りして今の気持ちを表現し、作品完成後に発表した。



「あっち こっち カタチ」

キッズ・ツアー

各特別展の会期中に1回、小学生を主な対象としたギャラリー・ツアーを実施した。対話しながら、子どもたちの集中と自発的な鑑賞を促すよう工夫した。

時間＝午後2時～（約30分）

会場＝当館主展示室（要観覧券）



「アートの中の風景」展 キッズ・ツアー

2021（令和3）年度

開催日	講師	関連展覧会	参加者数
6月5日(土)	福地大輔（当館学芸課長）	手島圭三郎 絵本原画展	緊急事態宣言の発出を受け、中止
8月7日(土)	蘭部容子（当館主任学芸員）	カッサンドル・ポスター展	0人
11月13日(土)	耳塚里沙（当館学芸員）	水木しげる 魂の漫画展	52人
3月12日(土)	蘭部容子（当館主任学芸員）	道東アートファイル2022+道東新世代	3人

2022（令和4）年度

開催日	講師	関連展覧会	参加者数
5月14日(土)	耳塚里沙（当館学芸員）	アートの中の風景	9人
8月6日(土)	蘭部容子（当館主任学芸員）	竹久夢二 小林かいち	8人
9月24日(土)	耳塚里沙（当館学芸員）	銀の匙展	11人
2月4日(土)	耳塚里沙（当館学芸員）	北見の美術	0人

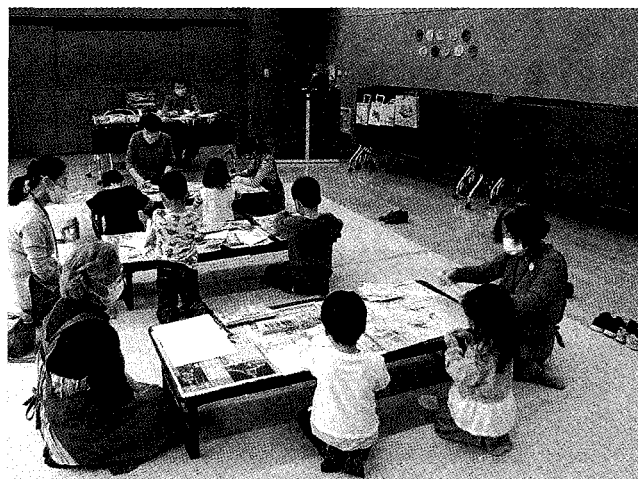
キッズ・ミュージアム

親子、家族連れの来館者を対象とした事業。各展覧会の会期中に1回、託児の日を設け、日常ゆっくりと展覧会を鑑賞する機会の少ない幼児を連れた保護者に、寛いだ鑑賞の機会を提供した。託児の間、子どもたちは工作遊びを楽しんでもらった。なお本事業は、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」との共催で実施。工作遊びの内容検討から準備作業、当日の受付業務、託児、工作補助まで「しらかばの会」ワークショップ部が中心となって運営した。

時間＝午後1時30分～3時30分（受付は3時まで）

会場＝当館講堂（託児無料）

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」



「マイバックをつくろう」

2021（令和3）年度

開催日	工作内容	関連展覧会	参加者数
6月12日(土)	紙版画「森の鳥たち」	手島圭三郎 絵本原画展	緊急事態宣言の発出を受け、中止
9月18日(土)	花・はな	カッサンドル・ポスター展	3人
11月20日(土)	みんなマンガ家！	水木しげる 魂の漫画展	12人
3月5日(土)	ペットボトルで遊ぼう	道東アートファイル2022+道東新世代	6人

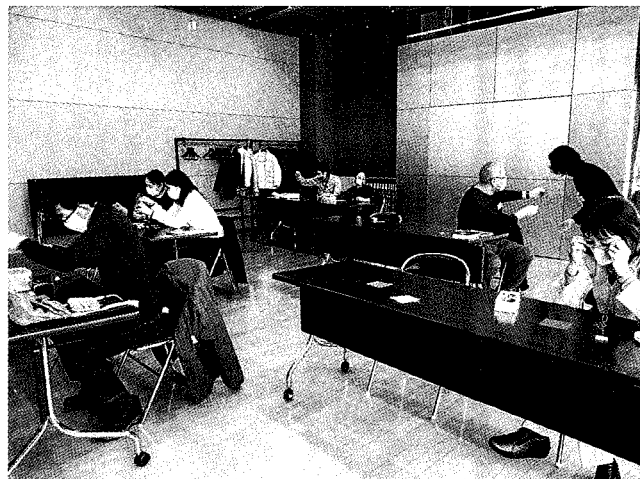
2022（令和4）年度

開催日	工作内容	関連展覧会	参加者数
6月18日(土)	海のなかまたち	アートの中の風景	8人
8月27日(土)	紙版画「森の鳥たち」	竹久夢二 小林かいち	8人
11月19日(土)	マイバックをつくろう	銀の匙 Silver Spoon展	18人
2月25日(土)	ひなまつり ガーランド	香川軍男・景川弘道と北見の美術	6人

ワークショップ等

開催中の展覧会に関連し、また地域イベントと連携し、美術家による造形のワークショップ、技法講座を実施した。

会場＝当館講堂ほか



ちくちくワークショップ「縫って作ろう、ミニ赤玉」

2021（令和3）年度

開催日時	内容	講師	関連展覧会・事業	参加者数
11月3日(木) 午後1時～3時	「横山裕二先生の漫画講座」(漫画制作)	横山裕二氏(漫画家)	水木しげる 魂の漫画展	14人
11月27日(土) 午前10時～12時	ワークショップ「自分だけの妖怪をつくろう！」 (樹脂粘土でマスコット制作) *	高橋由紀雄氏(帯広大谷短期大学講師)	水木しげる 魂の漫画展	33人
2月6日(日) 午後2時～4時	ちくちくワークショップ 「縫って作ろう、ミニ赤玉」(立体作品制作)	南澤美紀子氏 (ニードルワーク・アーティスト)	道東アートファイル2022+道東新世代	10人

*会場は帯広百年記念館

2022（令和4）年度

開催日時	内容	講師	関連展覧会	参加者数
9月23日(金)、 11月3日(木)、 11月23日(木) 午前9時30分～午後5時	「ぬりえの日」(塗り絵制作)	— (セルフ形式)	銀の匙 Silver Spoon展	143人
1月15日(日) 午前10時～午後2時	版画ワークショップ「木版リトグラフに挑戦しよう」 (木版リトグラフ制作)	篠田亜希子氏(版画家)	香川軍男・景川弘道と北見の美術	16人
1月28日(土) 午前10時～12時、 午後2時～4時	「くつした de アニマル・キングダム」 (靴下でバベット制作)	— (セルフ形式)	美術館 de 氷まつり 2023	40人
1月29日(日) ①午後1時～1時30分、 ②1時30分～2時、 ③2時～2時30分、 ④2時30分～3時、 ⑤3時～3時30分、 ⑥3時30分～4時	ワークショップ「鉄たたけます。」 (鉄を叩き磨いて作品制作)	藤沢レオ氏 (彫刻家・金属工芸家)	美術館 de 氷まつり 2023	36人

映画室

映画の上映を行った。

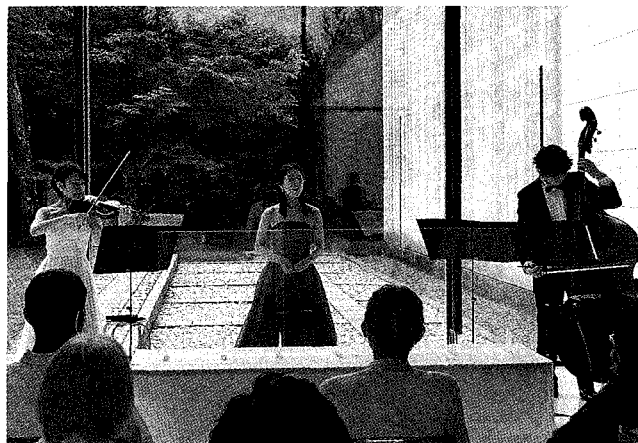
会場＝当館講堂（入場無料）

2021（令和3）年度

開催日時	内容	関連展覧会・事業	入場者数
1月29日(土) 午前11時～、午後1時～*	ミュージアム・シアター「ディリリとバリの時間旅行」(95分)	冬の美術館フェスタ	13人
* 帯広美術館振興会との共催			

コンサート

より幅広い層の市民に美術館に親しんでもらうため、展覧会の内容等にあわせて他団体と連携し、美術館内でコンサートを開催した。



北海道立帯広美術館 開館30周年記念コンサート
「弦楽で歌う音楽と絵画の世界」

2021（令和3）年度

開催日時	内容	出演者	会場	主催	参加者数
8月14日(土) 午前11時～11時40分、 午後2時～2時40分	道銀文化財団 Art Ensemble #12 北海道立帯広美術館 開館30周年記念コンサート 「弦楽で歌う音楽と絵画の世界」	月下愛美氏（ソプラノ）、 鈴木京氏（ヴァイオリン）、 鈴木初氏（コントラバス）	当館ロビー （入場無料）	公益財団法人 道銀文化財団と共催	70人
11月14日(日) 午後1時～1時30分、 2時～2時30分	帯広交響楽団 団員による 美術館コンサート	牧野貴博氏（ヴァイオリン）、 佐藤一恵氏（フルート）、 佐藤祐一氏（チェロ）、 工藤由紀子氏（クラリネット）、 後藤佳子氏（オーボエ）	当館講堂 （入場無料）	水木しげる展実行委員会	34人

2022（令和4）年度

開催日時	内容	出演者	会場	主催	参加者数
8月21日(日) 午前11時～、 午後2時～（各回約60分）	モダン・コンサート	橋詰真理氏（ヴァイオリン、ピアノ）、 橋詰真由美氏（声楽、ピアノ）	当館ロビー （入場無料）	帯広美術館振興会との共催	126人

芸術週間

道立の文化施設では、道民が芸術に親しむ機運を醸成すべく、1999（平成11）年度より文化の日をはさむ7日間を芸術週間として設定した。期間中は幅広い広報活動を行うことで施設や事業の案内、周知に努めるとともに、一週間を通じて開館日とし、各種の教育普及事業を開催。また、コレクション・ギャラリー観覧料を無料とすることで道民の関心を喚起し、利用の促進を図った。

2021（令和3）年度

月 日	実施内容
11月1日(月)	○臨時開館 ○帯広美術館30年ヒストリー (ロビーにて展覧会ポスター展示)(9/22~11/7)
11月2日(火)	
11月3日(水・祝)	○「横山裕二先生の漫画講座」
11月4日(木)	
11月5日(金)	
11月6日(土)	○開館30周年記念美術講演会「何が私をそうさせた。30年目の告白—帯広美術館、誕生物語。」
11月7日(日)	



「帯広美術館30年ヒストリー」

期間中の開催展覧会

コレクション・ギャラリー「コレクション・セクション〜立体〜」/
主展示室「水木しげる 魂の漫画展」

2022（令和4）年度

月 日	実施内容
11月1日(火)	○帯広美術館30年のあゆみ 特別展観覧者数上位15 ポスター展(10/29~11/7)
11月2日(水)	
11月3日(木・祝)	○ぬりえの日
11月4日(金)	
11月5日(土)	○講演会 「家畜管理学とは？—最新技術と家畜が出会う場所」 ○講演会「空と宙とその間」
11月6日(日)	
11月7日(月)	○臨時開館

期間中の開催展覧会

コレクション・ギャラリー「そら」/主展示室「銀の匙 Silver Spoon展」

冬の美術館フェスタ／おびひろ氷まつり協賛事業

例年1月末あるいは2月初めの週末に、帯広美術館が立地する帯広市緑ヶ丘公園を主会場のひとつに、「おびひろ氷まつり」が開催されてきた。おびひろ氷まつり協賛事業は、祭りの来場者に美術館に親しんでもらうべく企画・実施したもの。新型コロナウイルス感染拡大防止のため祭りが縮小され緑ヶ丘公園で行われなかった2021年度には、代替事業として美術館単独で「冬の美術館フェスタ」を開催した。なお本事業は、帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」と共同して実施した。

2021（令和3）年度

冬の美術館フェスタ

開催日＝1月29日(土)～30日(日)

会場＝当館ロビー、主展示室、講堂、緑ヶ丘諸施設ほか

参加者＝計134人

開催展覧会＝道東アートファイル2022＋道東新世代、バルビゾンの風景／十勝の風景

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」、帯広百年記念館、帯広市児童会館、みどりと花のセンター

プログラム

・ミッション in てんらんかい☆

特別展「道東アートファイル2022＋道東新世代」に関連して、作品鑑賞に重点を置いた子ども向けクイズゲームを実施し、作品に親しんでもらうことを図った。クイズを解いた参加者にポストカードやクリアファイルを贈呈した。

日時＝1月29日(土)～30日(日) 午前9時30分～午後4時30分

会場＝当館主展示室（要観覧券）

参加者数＝56人

・緑ヶ丘☆スタンプラリー

緑ヶ丘にある諸施設をめぐるスタンプラリー。全部回り終わった参加者には当館受付でポストカードを贈呈した。

日時＝1月29日(土)～30日(日) 午前9時30分～午後5時

会場＝当館ロビー、帯広百年記念館、帯広市児童会館、みどりと花のセンター（参加無料）

参加者数＝60人



ミッション in てんらんかい☆

・ミュージアム・シアター「ディリリとパリの時間旅行」

日時＝1月29日(土) 午前11時～、午後1時～（95分）

会場＝当館講堂（入場無料）

参加者数＝13人

・ミュージアム・ツアー

美術館のガイドツアー。特別展のほか、収蔵庫や地下などの美術館の裏側を巡った。

日時＝1月30日(日) 午後1時～（約60分）

会場＝当館主展示室ほか（要観覧券）

参加者数＝5人

2022（令和4）年度 おびひろ氷まつり協賛事業

美術館 de 氷まつり 2023

開催日＝1月27日(金)～29日(日)

会場＝当館ロビー、主展示室、講堂、緑ヶ丘諸施設、氷まつり会場ほか

参加者＝計387人

開催展覧会＝香川軍男・景川弘道と北見の美術、アニマル・キングダム

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」、帯広百年記念館、帯広市児童会館、みどりと花のセンター

プログラム

・ミッション in てんらんかい☆

特別展「香川軍男・景川弘道と北見の美術」に関連して、作品鑑賞に重点を置いた子ども向けクイズゲームを実施し、作品に親しんでもらうことを図った。クイズを解いた参加者にポストカードやクリアファイルを贈呈した。

日時＝1月27日(金)～30日(日) 午前9時30分～午後4時30分

会場＝当館主展示室（要観覧券）

参加者数＝118人

・緑ヶ丘公園スタンプラリー

緑ヶ丘にある諸施設と氷まつり会場をめぐるスタンプラリー。全部回り終わった参加者には当館受付でポストカードを贈呈した。

日時＝1月27日(金)～30日(日) 午前9時30分～午後4時30分

会場＝当館ロビー、帯広百年記念館、帯広市児童会館、みどりと花のセンター、氷まつり会場（参加無料）

参加者数＝187人

・くつした de アニマル・キングダム

コレクション・ギャラリー「アニマル・キングダム」に関連して、靴下で動物のパペットを制作する自由参加型ワークショップを実施した。

日時＝1月28日(土) 午前10時～12時、午後2時～4時

会場＝当館ロビー（参加無料）

参加者数＝40人

・ミュージアム・ツアー

美術館のガイドツアー。特別展のほか、収蔵庫や地下などの美術館の裏側を巡った。

日時＝1月28日(土) 午後2時～（約60分）

会場＝当館主展示室ほか（要観覧券）

参加者数＝6人

・ワークショップ「鉄たたけます。」

当館入り口前の広場で熱い鉄を叩き、講堂で表面を磨いてキーホルダーを制作するワークショップを開催した。

日時＝1月29日(日)

①午後1時～1時30分 ②1時30分～2時

③2時～2時30分 ④2時30分～3時

⑤3時～3時30分 ⑥3時30分～4時

講師：藤沢レオ氏（彫刻家・金属工芸家）

会場＝美術館前広場、当館講堂（参加無料）

参加者数＝36人



ワークショップ「鉄たたけます。」

団体オリエンテーション

2021（令和3）年度

月日	事業名	講師	内容	備考
随時	オリエンテーション（帯広美術館概要と展覧会の紹介）	当館職員	手島圭三郎絵本原画展 カッサンドル・ポスター展 水木しげる 魂の漫画展 道東アートファイル2022+道東新世代	参加人数56名（3回実施） ※5月18日～6月20日、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館 参加人数 88名（4回実施） 参加人数 1,423名（35回実施） 参加人数 5名（1回実施）

2022（令和4）年度

月日	事業名	講師	内容	備考
随時	オリエンテーション（帯広美術館概要と展覧会の紹介）	当館職員	アートの中の風景 竹久夢二 小林かいち 銀の匙 Silver Spoon展 香川軍男・景川弘道と北見の美術	参加人数52名（3回実施） 参加人数 133名（4回実施） 参加人数 1231名（31回実施） 参加人数 0名（0回実施）

セルフガイド（クイズ）

コレクション・ギャラリーおよび主展示室で開催中の展覧会について、出品作品数点に関するクイズを作成し、希望する観覧者に配布した。それぞれの設問は、主として小学校中学年を対象とし、作品の主題や技法、造形要素等に注意を喚起することで、作品鑑賞の一助となるように努めた。

2021（令和3）年度

関連展覧会	展覧会会期	会場	利用者数
子どものイメージ	4月17日(土)～6月27日(日)*	コレクション・ギャラリー	171人
手島圭三郎 絵本原画展	4月17日(土)～6月27日(日)*	主展示室	198人
版の王国	7月17日(土)～9月26日(日)	コレクション・ギャラリー	404人
カッサンドル・ポスター展	7月17日(土)～9月26日(日)	主展示室	358人
コレクション・セレクション～立体～	10月9日(土)～12月19日(日)	コレクション・ギャラリー	2,465人
水木しげる 魂の漫画展	10月9日(土)～12月19日(日)	主展示室	4,277人
バルビゾンの風景／十勝の風景	1月12日(水)～3月13日(日)*	コレクション・ギャラリー	63人
道東アートファイル2022+道東新世代	1月12日(水)～3月13日(日)*	主展示室	74人

* 緊急事態宣言の発出を受け、5/17～6/20臨時休館。

* 大雪のため1/12は臨時休館。

2022（令和4）年度

関連展覧会	展覧会会期	会場	利用者数
版画 1970年代	4月16日(土)～6月26日(日)	コレクション・ギャラリー	205人
アートの中の風景	4月16日(土)～6月26日(日)	主展示室	226人
新収蔵品展	7月9日(土)～9月4日(日)	コレクション・ギャラリー	183人
竹久夢二 小林かいち	7月9日(土)～9月4日(日)	主展示室	255人
そら	9月17日(土)～12月4日(日)	コレクション・ギャラリー	1,325人
アニマル・キングダム	12月17日(土)～3月12日(日)	コレクション・ギャラリー	83人
香川軍男・景川弘道と北見の美術	12月17日(土)～3月12日(日)	主展示室	59人

教員研修プログラム

小学校・中学校・高等学校等の教員に長期休業期間中の自己研修の機会を提供するとともに、美術館施設を活用した学習や美術の鑑賞事業についての実践的なヒントを提供するために、教員研修プログラムを実施した。

研修内容は、当館で展覧会ごとに作成・使用しているセルフガイド（クイズ）を活用したグループワークを中心に据えた。併せて、館内諸施設の見学やボランティア活動の体験を行い、美術館活動全般について広く研修できるように留意した。

会場＝当館講堂（入場無料）

2021（令和3）年度

受入期間＝1月10日（月・祝）

受入人数＝1人

月 日	午前（10：00～12：00）			昼休	午後（13：00～16：00）			
1月10日（月・祝）	9：40	10：00	11：00		13：00	14：30	15：30	16：00
	受付	開会／講義 ・帯広美術館の運営、事業概要	展覧会オリエンテーション、施設見学 ・バックヤードツアー等		ワークショップ ・鑑賞ツールを用いた美術館活用実習	協議	アンケート まとめ	閉会

小学校・中学校・高等学校等の教員に長期休業期間中の自己研修の機会を提供するとともに、美術館施設を活用した学習や美術の鑑賞事業についての実践的なヒントを提供するために、教員研修プログラムを実施した。

研修内容は、R4から実施開始したオンラインアート教室事業についてを中心に据え、オンライン研修と実地研修を行い、参加者の便宜をはかった。併せて、館内諸施設の見学を行い、美術館活動全般について広く研修できるように留意した。

会場＝当館講堂（入場無料）

2022（令和4）年度

受入期間＝8月4日（木） 10：30～12：00、13：30～15：00

受入人数＝3人（①オンライン研修2名、②実地研修1名）

月 日	①オンライン研修 午前（10：30～12：00）				②実地研修 午後（13：30～15：00）			
8月4日（木）	10：15	10：30	11：50		13：15	13：30	14：30	15：20
	受付	開会／講義 講義 ・オンラインアート教室事業について ・学校と美術館の連携について ・意見交換・質疑応答	まとめ 閉会		受付	講義 ・オンラインアート教室事業について ・学校と美術館の連携について	施設見学 ・展覧会鑑賞 ・バックヤード	まとめ 閉会

受入期間＝1月13日（金） 10：30～12：00

受入人数＝0人（オンライン研修）

出張アート教室／オンラインアート教室

小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の学校関係者に道立美術館等を学習の場として広く認識してもらうこと、また美術館等の所蔵作品の有効利用を図ることを目的として、各道立美術館等が主催となって実施した事業。学芸員が学校に館の所蔵作品を持参し、児童、生徒に実物を見せながらわかりやすく鑑賞の手ほどきを行った。

R4年度から、出張アート教室に替わって、道立美術館と学校をオンラインでつなぎ、遠隔地の児童・生徒に対する鑑賞機会の拡充や美術作品への理解促進をはかる（ア）「道立美術館オンラインアート教室」が開始し、計4校に対して実施した。帯広美術館では、これと並行して、学校以外の社会教育機関なども対象に含めた独自の（イ）「帯広美術館オンラインアート教室」を開始し、計4校1施設に対して実施した。



北海道帯広柏葉高等学校 オンラインアート教室

2021（令和3）年度

実施日	学校名・学年	授業名・内容	担当学芸員	聴講者数
10月19日(火)	北海道清水高等学校 第1学年	「郷土の美術にふれる」 （能勢真美《門のある風景》を持参し、能勢や十勝の美術について紹介）	蘭部容子（当館主任学芸員）	27名

2022（令和4）年度

（ア）オンラインアート教室（文化財・博物館課）

実施日	学校名・学年	授業名・内容	担当学芸員	参加者数
8月23日(火)	北海道帯広柏葉高等学校 （定時制）	特別展「竹久夢二 小林かいち」の鑑賞	蘭部容子（当館主任学芸員）	5名
10月12日(水)	北見市立三輪小学校 6学年	アートカードを使って、作品について思ったことを話そう	耳塚里沙（当館学芸員）	80名
11月8日(火)	帯広市明星小学校 3学年、4学年	アートカードを使って、作品について思ったことを話そう	耳塚里沙（当館学芸員）	64名（3学年） 64名（4学年）
12月21日(水)	北海道帯広盲学校 中学部3年生	コレクション・ギャラリー「そら」の鑑賞	蘭部容子（当館主任学芸員）	1名

（イ）帯広美術館オンラインアート教室

実施日	学校名・学年	授業名・内容	担当学芸員	参加者数
7月20日(火)	帯広市立帯広第一中学校 美術部	特別展「竹久夢二 小林かいち」の鑑賞	齊藤千鶴子（当館学芸課長）	30名
8月22日(月)	本別町立勇足中学校 特別支援学級	コレクション・ギャラリー「新収蔵品展」の鑑賞	齊藤千鶴子（当館学芸課長）	1名
10月5日(水)	士幌町立士幌町中央中学校 3学年	コレクション・ギャラリー「そら」の鑑賞	蘭部容子（当館主任学芸員）	60名（北海道造形教育 連盟との連携事業）
1月27日(金)	鶴居村寿大学 （鶴居村教育委員会）	特別展「香川軍男・景川弘道と北見の美術」の鑑賞、 館の案内など	齊藤千鶴子（当館学芸課長）	37名
2月22日(水)	中札内村立上札内小学校	アートカードを使って、作品について思ったことを話そう	齊藤千鶴子（当館学芸課長）	14名

学校教育との連携

中学校や高校の「職場体験学習」などの授業を受け入れ、美術館教育と学校教育との連携を図った。各授業では美術館の施設や活動などについて、当館職員が適宜、説明や指導にあたるとともに、美術館業務やボランティア活動の体験も行った。また、教員との意見交換も含めた研修の機会も設けた。

2021（令和3）年度

実施日	連携期間（学校名等）	事業名（内容）	人数
6月24日(木)、25日(金)	北海道帯広三条高校	出前授業（科目：自己実現）	33名
8月25日(木)～27日(金)	北海道帯広農業高等学校	インターンシップ	1名
11月5日(金)	音更町立下音更中学校	インターンシップ	2名
11月11日(木)	北海道帯広豊学校中学部	インターンシップ	2名
1月15日(土)	帯広大谷短期大学	「博物館展示論」展示見学	12名

2022（令和4）年度

実施日	学校名等	事業名（内容）	人数
8月24日(木)～26日(金)	北海道帯広農業高等学校	インターンシップ	1名
9月28日(木)～29日(金)	北海道足寄高等学校	インターンシップ	1名
10月19日(木)	帯広市立帯広第一中学校	インターンシップ	3名
11月4日(金)	音更町立下音更中学校	インターンシップ	5名
11月16日(木)～17日(金)	帯広市立川西中学校	インターンシップ	1名
7月中旬	帯広畜産大学、北海道農業大学校、 北海道帯広農業高等学校、 北海道更別農業高等学校、 北海道音更高等学校、北海道士幌高等学校、 北海道清水高等学校	アンケート依頼「農業の学び舎」	313名
9月23日(金・祝)、 11月3日(木・祝)、 11月23日(水・祝)	北海道帯広三条高等学校	ボランティア活動「ぬりえの日」	20名
10月15日(土)、16日(日)	北海道帯広農業高等学校	生徒による生産品販売「とかち農祭」	30名
10月19日(木)、20日(金)、 22日(土)	北海道帯広三条高等学校	対話型鑑賞授業（科目：自己表現）	47名

開館30周年記念

2021（令和3）年度

開館30周年記念事業

- ・道銀文化財団 Art Ensemble #12 北海道立帯広美術館
開館30周年記念コンサート「弦楽で歌う音楽と絵画の世界」
開催日＝8月14日(土)
午前11時～11時40分、午後2時～2時40分
会場＝当館ロビー（入場無料）
参加者数＝70人
- ・帯広美術館30年ヒストリー
1991（平成3）年からの30年間の展覧会ポスターを当館ロビーに展示。
開催日＝9月22日(木)～11月7日(日)
会場＝当館ロビー（入場無料）
- ・開館30周年記念収蔵品図録発行
2011（平成23）年～2021（令和3）年に収蔵した作品を紹介。
発行日＝10月8日(金)
- ・開館30周年記念美術講演会「何が私をそうさせた。30年目の告白ー帯広美術館、誕生物語。」
30周年を記念して、美術館の開館当時を振り返る講演会を開催。
開催日＝11月6日(土) 午後1時～
講師＝寺嶋弘道氏（有島記念館館長、当館初代学芸課長）
会場＝当館講堂（聴講無料）
参加者数＝25人

開館30周年特別企画

1. 帯美といっしょの誕生日おめでとう〔通年〕
 - ・1991（平成3）年生まれの方、9月22日生まれの方は特別展招待
 - ・1991（平成3）年9月22日生まれの方に記念品プレゼント
2. 開館30周年サンクスウィーク
開館記念日である9月22日を含む1週間をサンクスウィークと位置づけ、各日企画を実施。
 - ・9月20日(月・祝)：敬老の日にちなみ、65歳以上の方は「カッサンドル展」を優待割引
 - ・9月22日(水)：来場者全員常設展無料、「カッサンドル展」優待割引、先着30名に30周年記念品プレゼント
 - ・9月23日(木・祝)：来場者全員常設展無料、「カッサンドル展」優待割引
 - ・9月24日(金)～26日(日)：来場者全員常設展無料、「カッサンドル展」優待割引、各日先着30名に「カッサンドル展」ポストカードプレゼント

開館30周年ロゴマークの制定

帯広美術館エントランスの印象的な屋根の形を取り入れ、開館30周年を意味する「30TH」を表記したデザイン。当館が発行した広報印刷物や刊行物等に掲載した。

その他

1. 開館30周年記念クリアファイル限定販売（当館ボランティア「しらかばの会」）
2. 開館30周年フェンス看板設置〔通年〕

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	寄贈者
2021017	版画	両角 修	No.43	1973(昭和48)頃	木版、紙	58.5×59.5	荒井善則氏
2021018	版画	アレク・ジョーンズ	Dream T-Shirt	1964	シルクスクリーン、紙	73.0×54.0	荒井善則氏
2021019	版画	李 禹煥	キャフェにて(銅版画文集『東の扉』より)	1998	アクアチント、紙	36.0×30.0	荒井善則氏
2021020	版画	李 禹煥	山つつじ(銅版画文集『東の扉』より)	1998	アクアチント、紙	36.0×30.0	荒井善則氏
2021021	版画	李 禹煥	紙屑(銅版画文集『東の扉』より)	1998	アクアチント、紙	36.0×30.0	荒井善則氏
2021022	版画	ジョルジュ・ルオー	「辻々に売春の灯がともる…」(憂鬱と理想95) (『悪の華』のために版刻された14図より)	1927 (1966年印刷)	エリオグラヴィュール、アクアチ ント、ドライ・ポイント、紙	34.0×24.0	荒井善則氏
2021023	版画	徐 承元	同時性 03-723	2003	リトグラフ、紙	60.0×79.5	荒井善則氏
2021024	版画	尹 東天	単色連作 2	2012	シルクスクリーン、紙	110.5×76.5	荒井善則氏

購入

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
2021001	彫塑	富谷 智	shell-shelter	2001 (平成13)	鉄、ステンレス	幅260.0×奥行130.0×高250.0cm

2022 (令和 4) 年度 作品収集状況

【分野別】

区 分	前年度末 作品点数		本年度収集点数			2022(令和4)年度末 所蔵点数		受託・保管作品			保 管 点 数	比 率
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	2022年度	計		
油 彩	91	10.7%	0	0	0	91	10.7%	30	0	30	121	13.5%
日 本 画	10	1.2%	0	0	0	10	1.2%	1	0	1	11	1.2%
水 彩・素 描	35	4.1%	0	0	0	35	4.1%	12	0	12	47	5.2%
版 画	389	45.8%	0	0	0	389	45.8%	1	0	1	390	43.4%
彫 塑	18	2.1%	0	0	0	18	2.1%	1	0	1	19	2.1%
工 芸	1	0.1%	0	0	0	1	0.1%	0	0	0	1	0.1%
デ ザ イ ン	255	30.0%	0	0	0	255	30.0%	0	0	0	255	28.4%
写 真	50	5.9%	0	0	0	50	5.9%	5	0	5	55	6.1%
合 計	849	100.0%	0	0	0	849	100.0%	50	0	50	899	100.0%

【収集区分別】

区 分	前年度末 作品点数		本年度収集点数			所蔵 点数	比 率	受託・保管作品			作 品 総 数	
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	2022年度	計		
道 東 の 美 術	312	36.7%	0	0	0	312	36.7%	36	0	36	348	38.7%
プ リ ン ト ア ー ト	696	82.0%	0	0	0	696	82.0%	5	0	5	701	78.0%
西 洋 の 美 術	76	9.0%	0	0	0	76	9.0%	6	0	6	82	9.1%
区 分 外	12	1.4%	0	0	0	12	1.4%	4	0	4	16	1.8%

* 複数の収集区分に重複する作品があるため、構成比の合計は100%を超える。

図版目録

凡例

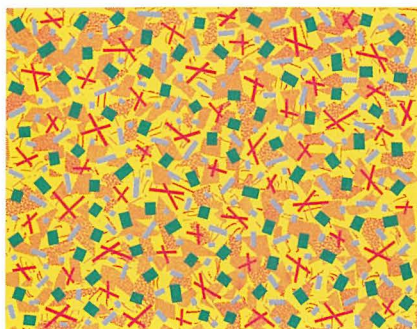
1. この目録には、2021（令和3）年4月1日から2023（令和4）年3月31日までに北海道立帯広美術館に収蔵された作品を収録した。
2. 各作品は、材質・形状により、次の分野に分類した。
 1. 版画
 2. 彫塑
3. 作品は各分野ごとに作家の姓の50音順に配列した。同一作家の作品が各分野に2点以上ある場合は、制作年順に配列した。
4. 各作品のデータ記載事項と順序は、次の通りである。
作家名、作家名欧文、生没年、作品名、作品名欧文、制作年、技法材質、寸法、初出展覧会（開催年／会場／受賞等）、収集年度・収集の経緯、作品番号（収集区分）
5. 寸法はセンチメートルを単位とし、平面作品は縦×横、立体作品は幅×奥行×高さを示した。
6. 収集区分は、次の3つの収集方針に基づいて分類した。
 1. 道 東 の 美 術：十勝・釧路・根室・オホーツクの北海道東部4管内にゆかりの作家・作品と関連する作品
 2. プリントアート：近現代を主とし国内外の版画やポスターを中心とした作品
 3. 西 洋 の 美 術：バルビゾン派をはじめ田園風景・農村風俗を主題とした作品

版 画

荒井 善則
ARAI Yoshinori
1949（昭和24）～

Traces of the Tape-Summer Time

1988（昭和63）
シルクスクリーン、紙
57.0×72.8
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021002（プリントアート）



荒井 善則
ARAI Yoshinori
1949（昭和24）～

Traces of the Tape-Summer Time

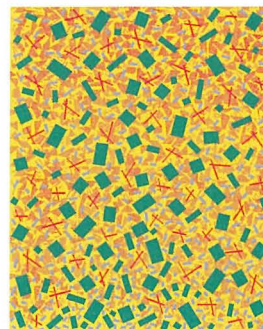
1988（昭和63）
シルクスクリーン、紙
57.0×72.8
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021003（プリントアート）



荒井 善則
ARAI Yoshinori
1949（昭和24）～

Traces of the Tape-Summer Time

1988（昭和63）
シルクスクリーン、紙
50.0×40.0
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021004（プリントアート）



荒井 善則
ARAI Yoshinori
1949（昭和24）～

Traces of the Tape-Summer Time

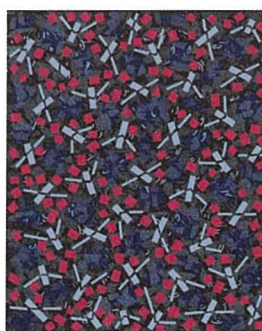
1988（昭和63）
シルクスクリーン、紙
50.0×40.0
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021005（プリントアート）



荒井 善則
ARAI Yoshinori
1949（昭和24）～

Traces of the Tape-Summer Time

1988（昭和63）
シルクスクリーン、紙
49.7×39.7
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021006（プリントアート）



荒井 善則
ARAI Yoshinori
1949（昭和24）～

Snowy Morning

1992（平成4）
シルクスクリーン、布
201.0×90.0
「ソウルサッポロ」展（1992/ソウル市立美術館、韓国）
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021007（プリントアート）



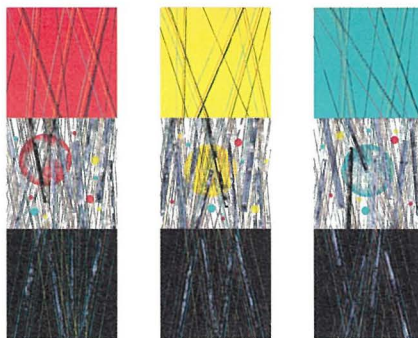
荒井 善則
ARAI Yoshinori
1949 (昭和24) ~
Snowy Morning

1992 (平成4)
シルクスクリーン、布
201.0×90.0
「ソウルーサッポロ」展 (1992/ソウル市立美術館、韓国)
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021008 (プリントアート)



荒井 善則
ARAI Yoshinori
1949 (昭和24) ~
Soft Landing to Season

2016 (平成28)
シルクスクリーン、モノタイプ、紙
各82.0×27.5 (3点組)
個展 (2017/旭川デザインギャラリー)
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021009 (プリントアート)



磯見 輝夫
ISOMI Teruo
1941 (昭和16) ~

東の風
East Wind
1986 (昭和61)
木版、紙
72.0×120.0
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021010 (プリントアート)



柄澤 齊
KARASAWA Hitoshi
1950 (昭和25) ~

果実
Fruit
1986 (昭和61)
木口木版、紙
21.0×24.0
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021011 (プリントアート)



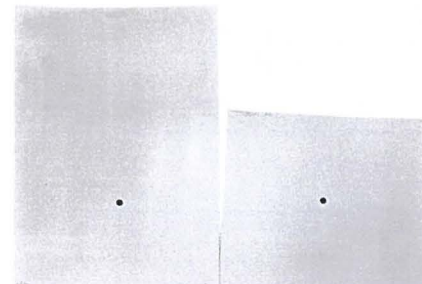
黒崎 彰
KUROSAKI Akira
1937 (昭和12) ~2019 (令和元)

失われた楽園 2
Lost Paradise 2
1972 (昭和47)
木版、シルクスクリーン、紙
79.5×54.5
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021012 (プリントアート)



島 州一
SHIMA Kuniichi
1935 (昭和10) ~2018 (平成30)

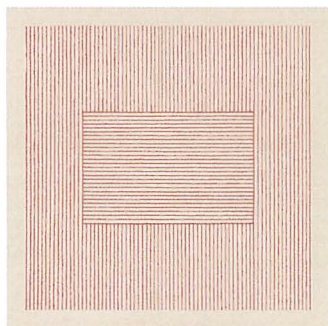
(題不明)
(Title Unknown)
1977 (昭和52)
版画、紙
51.5×76.0
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021013 (プリントアート)



田辺 和郎
TANABE Kazuro
1937 (昭和12) ~

DISTANCE OR ONE

1986 (昭和61)
シルクスクリーン、紙
40.5×40.0
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021014 (プリントアート)



深沢 幸雄
FUKAZAWA Yukio
1924 (大正13) ~2017 (平成29)

天空を計る
Measure the Sky

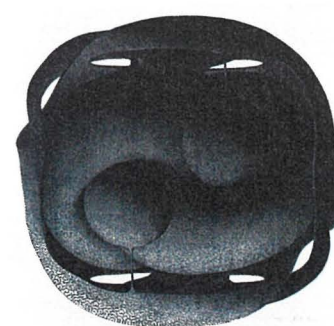
1979 (昭和54)
アクアチント、マジックインク、ルーレット、メゾチント、
ソフト・グラウンド・エッチング、ドライポイント、紙
75.0×48.0
日本版画協会 第47回版画展 (1979/東京都美術館)
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021015 (プリントアート)



両角 修
MOROZUMI Osamu
1948 (昭和23) ~

No.43

1973 (昭和48) 頃
木版、紙
58.5×59.5
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021017 (プリントアート)



藤浪 理恵子
FUJINAMI Rieko
1960（昭和35）～

エバの系譜
Genealogy of Eve

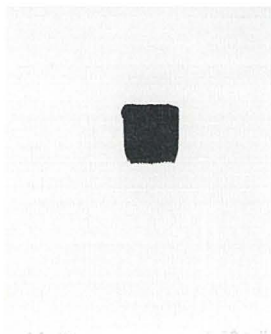
1990（平成2）
銅版、ミクストメディア、紙
エバの系譜：20.0×8.0 エバ・カドモス：36.0×24.0 盲目のレアー：36.0×24.0
マルタ：36.0×23.0 幼生メネシス：36.0×23.5
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021016（プリントアート）



李 禹煥
LEE Ufan
1936～

カフェにて（銅版画文集『東の扉』より）
At the Café (from Portfolio of Original Aquatint Prints "HIGASHI NO TOBIRA")

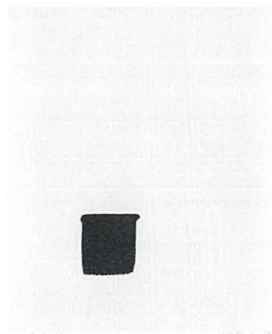
1998
アクアチント、紙
36.0×30.0
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021019（プリントアート）



李 禹煥
LEE Ufan
1936～

山つつじ（銅版画文集『東の扉』より）
Yamatsutsuji (from Portfolio of Original Aquatint Prints "HIGASHI NO TOBIRA")

1998
アクアチント、紙
36.0×30.0
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021020（プリントアート）



アレン・ジョーンズ
Allen JONES
1937～

Dream T-Shirt

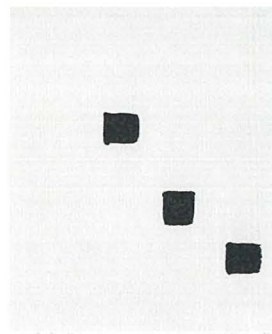
1964
シルクスクリーン、紙
73.0×54.0
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021018（プリントアート）



李 禹煥
LEE Ufan
1936～

紙屑（銅版画文集『東の扉』より）
Wastepaper (from Portfolio of Original Aquatint Prints "HIGASHI NO TOBIRA")

1998
アクアチント、紙
36.0×30.0
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021021（プリントアート）



ジョルジュ・ルオー
Georges ROUAULT
1871～1958

「辻々に売春の灯がともる…」（憂鬱と理想95）
（『悪の華』のために版刻された14図より）
《THE PROSTITUTION LIGHTS UP THE STREETS...》
（FOURTEEN ENGRAVED PLATES FOR THE FLOWERS OF EVIL）

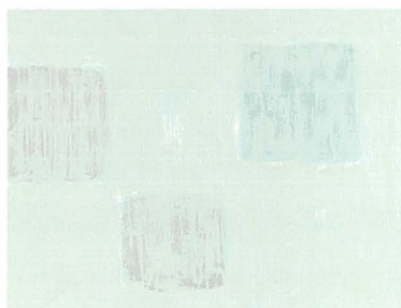
1927（1966年印刷）
エリオグラヴィール、アクアチント、ドライ・ポイント、紙
34.0×24.0
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021022（プリントアート）



徐 承元
SUH Seung-Won
1941～

同時性 03-723
Simultaneity 03-723

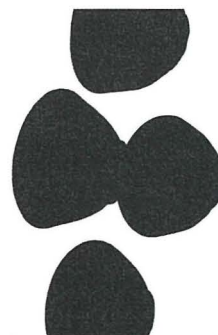
2003
リトグラフ、紙
60.0×79.5
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021023（プリントアート）



尹 東天
YOON Donchun
1957～

単色連作 2
Monochrome Series 2

2012
シルクスクリーン、紙
110.5×76.5
令和3年度・荒井善則氏寄贈
2021024（プリントアート）



彫 塑

富谷 智
TOMIYA Satoru
1962 (昭和37) ~

shell-shelter

2001 (平成13)
鉄、ステンレス
260.0×130.0×250.0
Plow Part3 富谷智彫刻展
(2001年、NC Art Gallery、京橋、東京)
令和3年度・購入
2021001 (道東の美術)





美術作品の貸出

2021（令和3）年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
版画	一原有徳	木の葉（柏）	北海道立釧路芸術館	2021年4月9日～	「Botanical Kingdom 花と樹の王国」展 （2021年4月24日～6月30日北海道立釧路芸術館にて開催）
版画	一原有徳	木の葉（槇）		2021年7月3日	
版画	一原有徳	木の葉（辛夷）			
版画	太田三郎	Seed Project マメグンバイナズナ 1992年8月6日香川県小豆島寒霞溪			
版画	太田三郎	Seed Project ナナカマド 1992年12月30日北海道小樽市幸			
版画	太田三郎	Seed Project クジャクソウ 1993年6月4日東京都中央区築地			
版画	太田三郎	Seed Project イヌムギ 1993年6月12日東京都練馬区北町			
版画	太田三郎	Seed Project ヤマノイモ 1993年11月3日東京都練馬区北町			
版画	太田三郎	Seed Project センダングサ 1993年12月11日東京都練馬区高松			
版画	太田三郎	Seed Project シロバナタンポポ 1994年4月24日岡山県津山市北園町			
版画	太田三郎	Seed Project チカラシバ 1994年10月14日岡山県津山市山北			
版画	太田三郎	Seed Project ツワブキ 1995年1月3日岡山県津山市北園町			
版画	太田三郎	Seed Project ヘリクリサム 1995年7月26日山形県山形市霞城公園			
油彩	神田日勝	画室 D	神田日勝記念美術館	2021年6月14日～	「画家たちの座標—アトリエは語る—」展 （2021年7月7日～9月30日まで神田日勝記念美術館にて開催）
油彩	神田日勝	画室 E *		2021年9月30日	
日本画	羽生輝	晩照（悠々釧路湿原）	北海道立釧路芸術館、 北海道立近代美術館	2021年4月9日～ 2022年6月30日	「日本画家 羽生輝展 悠々の岬を望む」 （2021年10月9日～2022年6月26日に北海道立釧路芸術館、 北海道立近代美術館にて開催）
油彩	神田日勝	瘦馬 *	北海道立旭川美術館	2021年12月8日～ 2022年3月25日	「神田一明、日勝展」 （2021年12月18日～2022年3月13日まで北海道立旭川美術館にて開催）
油彩	神田日勝	画室 D			
油彩	神田日勝	画室 E *			
油彩	神田日勝	人と牛 B *			
油彩	能勢眞美	疎林初秋	北海道立旭川美術館	2021年12月8日～ 2022年3月25日	「北海道の美術 1950～70年代」 （2021年12月18日～2022年3月13日まで北海道立旭川美術館にて開催）

2022（令和4）年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
油彩	神田日勝	画室 E * *	帯広百年記念館	2022年6月21日～	「百年記念館40年のアートコレクション展」 （2022年6月25日～7月18日帯広百年記念館にて開催）
日本画	六郎田天鈴	春曉崇座献 「エベレスト鈴湖生誕寿舞曲」 * *		2022年7月22日	

* は帯広市寄託作品。 * は帯広市寄託作品の一時返却。

特別観覧

2021（令和3）年度

内 訳	撮 影	複 写	熟 覧	原版使用	画像データ使用	その他	合 計
件 数	0	0	0	1	3	0	4

2022（令和4）年度

内 訳	撮 影	複 写	熟 覧	原版使用	画像データ使用	その他	合 計
件 数	0	0	0	0	4	0	4

貸館事業

貸館事業に関しては2021（令和3）年度・2022（令和4）年度ともに該当なし

名 簿

北海道立帯広美術館協議会委員名簿（2021（令和3）年3月31日現在）

役職名	氏 名	現 職
会 長	加賀 学	池田町教育委員会教育長
副会長	能戸 貴英	帯広市立帯広第一中学校校長
委 員	吉田 真弓	帯広大谷短期大学副学長
委 員	石崎 庸之	帯広美術館ボランティアしらかばの会会員
委 員	水口 誠	帯広商工会議所産業振興部次長
委 員	松岡 準志	日本放送協会帯広放送局局長
委 員	持田 誠	浦幌町立博物館学芸員
委 員	後藤真美子	元北海道社会教育委員
委 員	土井 裕子	釧路市女性団体連絡協議会事務局長
委 員	原田 純子	根室市社会教育委員の会議委員長
委 員	大河原茂美	—
委 員	中村 博明	—

※委員の任期は2021（令和3）年6月27日～2023（令和5）年6月26日まで

北海道立帯広美術館職員名簿

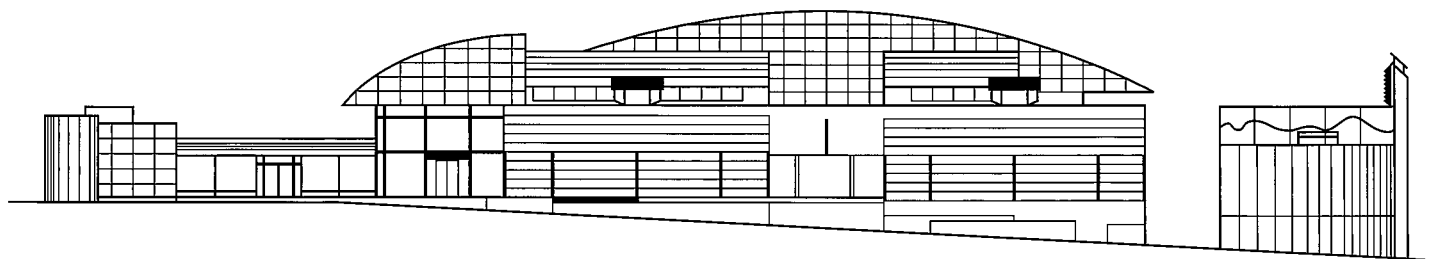
2021（令和3）年度（2022（令和4）年3月31日現在）

役職名	氏 名	発令年月日
館長	野崎 弘幸	2019（平成31）年4月1日
副館長	石黒千栄子	2021（令和3）年4月1日
総務課長	（副館長兼務）	
主査	早坂 隆広	2020（令和2）年4月1日
主事	砂子澤まりあ	2021（令和3）年4月1日
学芸課長	福地 大輔	2019（令和元）年6月1日
主任学芸員	蘭部 容子	2017（平成29）年4月1日
学芸員	耳塚 里沙	2020（令和2）年4月1日
主事（非常勤）	高田 佳子	2021（令和3）年4月1日
主事（非常勤）	山崎 千里	2021（令和3）年4月1日
主事（非常勤）	千葉みりあ	2021（令和3）年4月1日
主事（非常勤）	工藤詩恵理	2021（令和3）年4月1日
主事（非常勤）	松本 恵子	2021（令和3）年4月1日
主事（非常勤）	幡生 静	2021（令和3）年4月1日
主事（非常勤）	飯塚 真規	2021（令和3）年4月1日

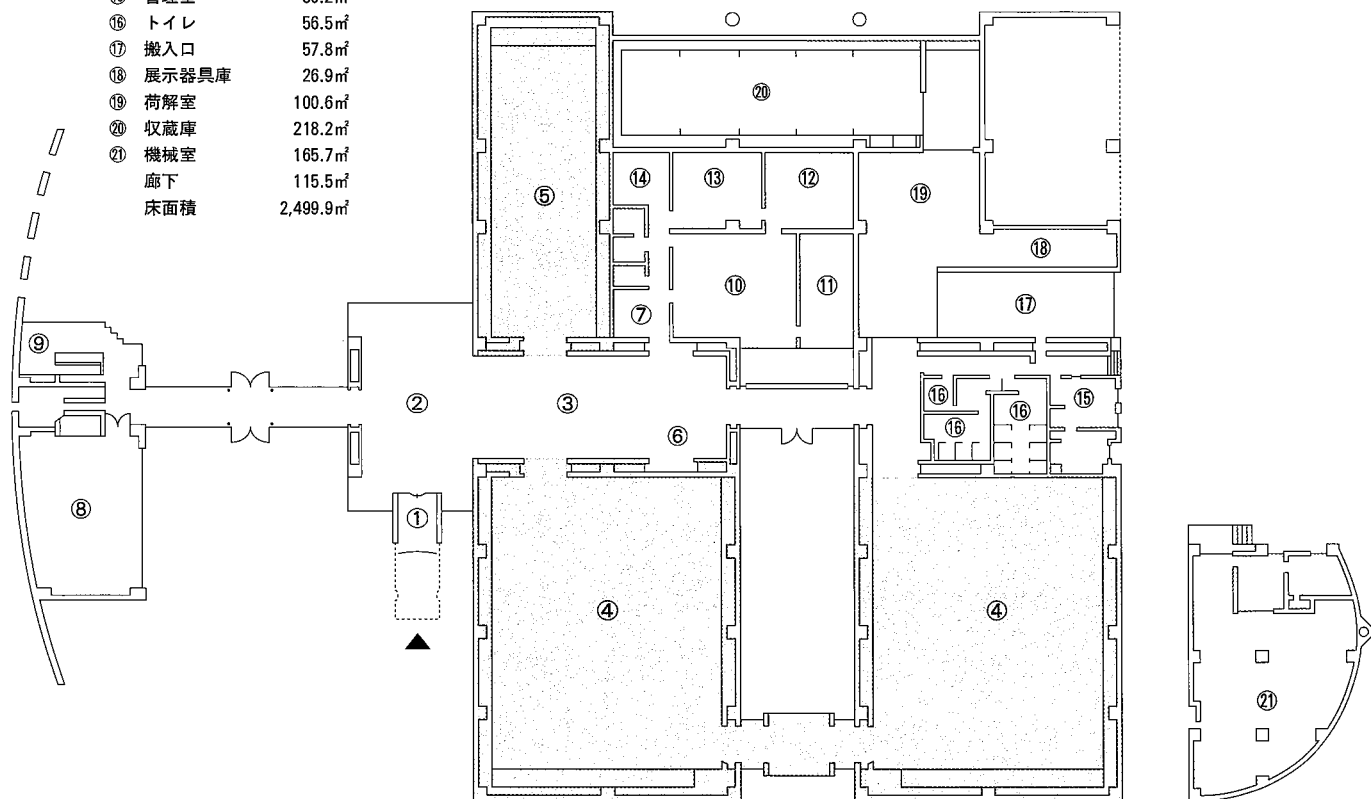
2022（令和4）年度（2023（令和5）年3月31日現在）

役職名	氏 名	発令年月日
館長	野崎 弘幸	2019（平成31）年4月1日
副館長	石黒千栄子	2021（令和3）年4月1日
総務課長	（副館長兼務）	
主査	吉田 昌代	2022（令和4）年4月1日
主事	砂子澤まりあ	2021（令和3）年4月1日
学芸課長	齊藤千鶴子	2022（令和4）年4月1日
主任学芸員	蘭部 容子	2017（平成29）年4月1日
学芸員	耳塚 里沙	2020（令和2）年4月1日
主事（非常勤）	高田 佳子	2022（令和4）年4月1日
主事（非常勤）	山崎 千里	2022（令和4）年4月1日
主事（非常勤）	千葉みりあ	2022（令和4）年4月1日
主事（非常勤）	工藤詩恵理	2022（令和4）年4月1日
主事（非常勤）	松本 恵子	2022（令和4）年4月1日
主事（非常勤）	幡生 静	2022（令和4）年4月1日
主事（非常勤）	飯塚 真規	2022（令和4）年4月1日

館内案内図



①	風除室	12.1㎡
②	ロビー	123.1㎡
③	ホール	209.9㎡
④	主展示室	841.9㎡
⑤	常設展示室	209.5㎡
⑥	売店	
⑦	授乳コーナー	5.3㎡
⑧	講堂	98.4㎡
⑨	喫茶コーナー	36.7㎡
⑩	事務室	72.3㎡
⑪	館長室	32.9㎡
⑫	資料室	36.0㎡
⑬	会議室	35.7㎡
⑭	準備室	14.7㎡
⑮	管理室	30.2㎡
⑯	トイレ	56.5㎡
⑰	搬入口	57.8㎡
⑱	展示器具庫	26.9㎡
⑲	荷解室	100.6㎡
⑳	収蔵庫	218.2㎡
㉑	機械室	165.7㎡
	廊下	115.5㎡
	床面積	2,499.9㎡



展示部門
 管理・事務部門



建築概要

●位 置	帯広市緑ヶ丘2番地1
●構 想 設 計	アトリエアク（公開設計競技最優秀）
●基 本 設 計	アトリエアク・大洋共同企業体
●実 施 設 計	アク・日本設計・谷津共同企業体
●工事施工者	
建 築	宮坂・萩原・曾根・市川・大道共同企業体（1、2期）
電気設備	相互電業㈱（1期）
空調調和衛生設備	森設備工業㈱（1期）
電力設備	相互・柴野・誠和・テーエス・長島共同企業体（2期）
通信設備	北口・アサヒ・振興・扶桑・樋口企業共同体（2期）
衛生設備	フジ・梶山・中林 共同企業体（2期）
空調調和設備	森・三洋・勝平・道東・浅岡共同企業体（2期）
●総工事費	約13億4千700万円
●工 期	起工 1989（平成元）年10月9日 竣工 1991（平成3）年3月25日
●敷地面積	7,000㎡
●建物面積	建面積 2,499.99㎡ 延面積 3,521.60㎡
●構造概要	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
●仕 上	
（外装）	
外 壁	大理石（ライムストーン） コンクリート打放し小叩仕上 アルミパネル
屋 根	アルミ亜鉛メッキ鋼板葺
屋 上	露出アスファルト防水トップコート仕上
（内装）	
ロビー・ホール床	テラゾーブロック
主展示室床	フローリング
常設展示室床	タイルカーペット
ロビー・ホール壁	大理石（ライムストーン） 合成樹脂系軽量骨材吹付
展 示 室 壁	石膏ボード、一部ラワン合板下地クロスEP仕上
ロビー・ホール天井	合成樹脂系軽量骨材吹付
展示室天井	岩綿吸収板 EP 仕上



設備概要

●電 器 設 備	
受変電設備	受電電圧 6.6KV 変圧器容量 450KVA
非常電源設備	ディーゼル機関 123PS 3,000RPH 発電機 98KVA 3相 200V
動 力 設 備	防災用動力 排煙機 11KW×3 消化ポンプ 5.5KW×3
電 灯 設 備	主展示室 LED照明（調光式）、ハロゲンランプ コレクション・ギャラリー 退色止蛍光灯（調光式）、ハロゲンランプ ロビー 間接照明 蛍光灯 講 堂 LED照明
電 話 設 備	電子ボタン電話
放 送 設 備	防災一般兼用アンプ 160W
テレビ共聴設備	OCTV（帯広ケーブルTV）による共聴
火災報知設備	P1級受信機
視聴覚設備	上降式スクリーン 1式 音声・映像ラック 1式 映写設備（16mmフィルム、35mmスライド）1式 液晶プロジェクター 1式
●機 械 設 備	
空調調和設備	
設定温湿度	主展示室、特別展示室、収蔵庫、展示ケース 年間 22℃（20～24℃） 55％（50～60％） *（ ）内は可変調節範囲、設定精度は温度±2℃ 湿度±5％
熱源機器	
空冷チリングユニット	冷却能力 240,000Kcal/H
吸収式冷温水発生器	冷却能力 100USRT 暖房能力 253,000Kcal/H
温水器	暖房能力 500,000Kcal/H
空調調和機	
主展示室	2系統
常設展示室、荷解室	1系統
展示ケース	1系統
収蔵庫	1系統
ロビー、ホール	1系統
管理諸室	1系統
衛生設備	
給水設備	市水道使用
排水設備	市下水道放流
給湯設備	電器温水器
消火設備	屋内消火栓設備、ハロン消火設備

沿革

1987（昭和62）年 7 月	道東地域道立地方美術館設置調査費計上
1988（昭和63）年 2 月	帯広市への道立地方美術館設置を決定
1988（昭和63）年 4 月	帯広美術館設置基本構想策定
1988（昭和63）年 5 月	帯広美術館構想設計競技実施
1988（昭和63）年10月	帯広美術館構想設計競技入選作品決定
1989（平成元）年 3 月	基本設計完了
1989（平成元）年 8 月	実施設計完了
1989（平成元）年10月	建設工事着工
1991（平成 3）年 3 月	建設工事竣工
1991（平成 3）年 4 月	北海道立美術館条例の一部改正により、北海道立帯広美術館設置 北海道立帯広美術館職員を発令、組織発足 初代館長 室田浩志 発令
1991（平成 3）年 5 月	博物館法に基づく博物館登録原簿に登録
1991（平成 3）年 6 月	北海道博物館協会加入承認
1991（平成 3）年 7 月	全国美術館会議加入承認
1991（平成 3）年 9 月	北海道立帯広美術館落成・開館記念式典開催 屋外彫刻除幕、一般公開
1992（平成 4）年 3 月	日本博物館協会加入承認
1992（平成 4）年 5 月	第17回日本建築学会北海道建築賞受賞 受賞者：鈴木敏司、笹栗達夫（㈱アトリエアク）、小林英嗣（北海道大）
1992（平成 4）年 6 月	照明普及賞受賞
1992（平成 4）年12月	第 9 回帯広市都市景観賞（建物）受賞
1994（平成 6）年 4 月	二代館長 阿部 皎 発令
1995（平成 7）年12月	第 5 回公共建築賞受賞
1996（平成 8）年 6 月	入館者50万人達成（1996（平成 8）年 6 月11日）
1997（平成 9）年 1 月	開館 5 周年記念式開催
1997（平成 9）年 4 月	三代館長 長谷川吉廣 発令
1999（平成11）年 7 月	四代館長 上原修平 発令
2001（平成13）年 4 月	五代館長 小野寺浩 発令
2001（平成13）年10月	開館10周年記念式開催
2004（平成16）年 9 月	入館者100万人達成（2004（平成16）年 9 月26日）
2007（平成19）年 6 月	六代館長 吉井 亮 発令
2011（平成23）年11月	開館20周年記念式典開催
2013（平成25）年 4 月	七代館長 石堂普之 発令
2013（平成25）年11月	入館者150万人達成（2013（平成25）年11月30日）
2019（平成31）年 4 月	八代館長 野崎弘幸 発令
2020（令和 2）年 9 月	入館者200万人達成（2020（令和 2）年 9 月30日）
2021（令和 3）年10月	開館30周年記念式典開催（2021（令和 3）年10月 8 日）

観覧者数一覧

2021（令和3）年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A=F+G (1日あたり)	個 人				団 体/前 売/リピーター/相 互				優 待 割 引				共 通 券				有料入館者計 F+B+C+D+E (/A)	無料招待者 G (/A)	
				一 般 (/B)	高大生 (/B)	小中生 (/B)	計 B	一 般 (/C)	高大生 (/C)	小中生 (/C)	計 C	一 般 (/D)	高大生 (/D)	小中生 (/D)	計 D	一 般 (/E)	高大生 (/E)	小中生 (/E)	計 E			
コレクション・ ギャラリー		4月17日 ～ 3月13日 (240日)	22,383 93人	1,608 (94%)	60 (4%)	42 (2%)	1,710	133 (85%)	24 (15%)	0 (0%)	157					2,895 (92%)	213 (7%)	29 (1%)	3,137	5,004 (22%)	17,379 (78%)	
特 別 展	手島圭三郎展	4月17日 ～ 6月27日 (62日)	3,064 49人	723 (98%)	12 (2%)	0 (0%)	735	132 (79%)	36 (21%)	0 (0%)	168	427 (99%)	5 (1%)	0 (0%)	432	389 (95%)	20 (5%)	0 (0%)	409	1,744 (57%)	1,320 (43%)	
		7月17日 ～ 9月26日 (62日)	3,061 49人	314 (90%)	33 (10%)	0 (0%)	347	213 (94%)	13 (6%)	0 (0%)	226	404 (92%)	37 (8%)	0 (0%)	441	655 (85%)	116 (15%)	0 (0%)	771	1,785 (58%)	1,276 (42%)	
	水木しげる展	10月9日 ～ 12月19日 (63日)	33,217 527人	10,106 (97%)	271 (3%)	1 (0%)	10,378	5,454 (97%)	113 (2%)	84 (1%)	5,651	3,425 (94%)	96 (3%)	106 (3%)	3,627	1,373 (79%)	67 (4%)	295 (17%)	1,735	21,391 (64%)	11,826 (36%)	
		道東 アートファイル	1月12日 ～ 3月13日 (53日)	2,129 34人	326 (96%)	14 (4%)	0 (0%)	340	178 (54%)	58 (18%)	95 (29%)	331	143 (99%)	1 (1%)	0 (0%)	144	478 (92%)	39 (8%)	0 (0%)	517	1,332 (63%)	797 (37%)
			計	4回 (240日)	41,471 173人	11,149 (97%)	330 (3%)	1 (0%)	11,460	5,977 (94%)	220 (3%)	179 (3%)	6,376	4,399 (95%)	139 (3%)	106 (2%)	4,644	2,895 (84%)	242 (7%)	295 (9%)	3,432	26,252 (63%)
	合 計			63,854 266人	12,757 (97%)	390 (3%)	43 (0%)	13,170	6,110 (94%)	244 (4%)	179 (3%)	6,533	4,399 (95%)	139 (3%)	106 (2%)	4,644	5,790 (88%)	455 (7%)	324 (5%)	6,569	31,256 (49%)	32,598 (51%)

2022（令和4）年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A=F+G (1日あたり)	人				団 体/前 売/リピーター/相 互				優 待 割 引				共 通 券				有料入館者計 F+B+C+D+E (/A)	無料招待者 G (/A)
				一 般 (/B)	高大生 (/B)	小中生 (/B)	計 B	一 般 (/C)	高大生 (/C)	小中生 (/C)	計 C	一 般 (/D)	高大生 (/D)	小中生 (/D)	計 D	一 般 (/E)	高大生 (/E)	小中生 (/E)	計 E		
コレクション・ ギャラリー		4月16日 ～ 3月12日 (245日)	16,420 67人	1,474 (91%)	143 (9%)	0 (0%)	1,617	138 (93%)	11 (7%)	0 (0%)	149					3,053 (93%)	219 (7%)	0 (0%)	3,272	5,038 (31%)	11,382 (69%)
特 別 展	アートの中の 風景	4月16日 ～ 6月26日 (63日)	2,949 47人	346 (96%)	16 (4%)	0 (0%)	362	88 (66%)	46 (34%)	0 (0%)	134	130 (92%)	11 (8%)	0 (0%)	141	920 (96%)	43 (4%)	0 (0%)	963	1,600 (54%)	1,349 (46%)
		7月9日 ～ 9月4日 (50日)	4,816 96人	1,093 (97%)	36 (3%)	0 (0%)	1,129	403 (61%)	73 (11%)	188 (28%)	664	585 (98%)	15 (3%)	0 (0%)	600	779 (89%)	97 (11%)	0 (0%)	876	3,269 (68%)	1,547 (32%)
	銀の匙 Silver Spoon 展	9月17日 ～ 12月4日 (69日)	16,373 237人	4,236 (93%)	330 (7%)	0 (0%)	4,566	3,310 (98%)	77 (2%)	0 (0%)	3,387	1,052 (95%)	56 (5%)	0 (0%)	1,108	912 (94%)	55 (6%)	0 (0%)	967	10,028 (61%)	6,345 (39%)
		香川軍男・ 景川弘道と 北見の美術	12月17日 ～ 3月12日 (69日)	1,834 27人	189 (97%)	6 (3%)	0 (0%)	195	118 (81%)	27 (19%)	0 (0%)	145	130 (97%)	4 (3%)	0 (0%)	134	442 (95%)	24 (5%)	0 (0%)	466	940 (51%)
	計	4回 (245日)	25,972 106人	5,864 (94%)	388 (6%)	0 (0%)	6,252	3,919 (91%)	223 (5%)	188 (4%)	4,330	1,897 (96%)	86 (4%)	0 (0%)	1,983	3,053 (93%)	219 (7%)	0 (0%)	3,272	15,837 (61%)	10,135 (39%)
合 計			42,392	7,338	531	0	7,869	4,057	234	188	4,479	1,897	86	0	1,983	6,106	438	0	6,544	20,875	21,517
			173人	(93%)	(7%)	(0%)		(91%)	(5%)	(4%)		(96%)	(4%)	(0%)		(93%)	(7%)	(0%)		(49%)	(51%)

**2021（令和3）年－2022（令和4）年度
北海道立帯広美術館年報**

発行日 2024（令和6）年2月20日

発行者 北海道立帯広美術館

〒080-0846

帯広市緑ヶ丘2番地

Tel. (0155)22-6963

印刷所 中西印刷株式会社

© Hokkaido Obihiro Museum of Art 2024

